

I-O DATA

LAN DISK

Network Attached Storage

HDL-CE シリーズ

画面で見るマニュアル



もくじ

安全のために.....	1-4	システムを管理する.....	9-52
使用上のご注意.....	1-6	管理者パスワードを変更する.....	9-52
Windows から本製品にアクセスする.....	2-14	ファームウェアを更新する.....	9-53
Windows から Magical Finder でセットアップする.....	2-9	システムログを確認する.....	9-54
Windows から本製品にアクセスする.....	2-14	省電力機能を使う.....	9-55
Windows から Magical Finder で設定画面を開く.....	2-17	LAN DISK の名前を変更する.....	9-56
高速読みモードに設定する.....	2-18	日付と時刻を設定する.....	9-57
共有フォルダーを使う.....	3-19	ネットワークを設定する.....	9-58
共有フォルダーとは?.....	3-19	シャットダウン / 再起動する.....	9-59
ユーザーを登録する.....	3-20	ランプの明るさを設定する.....	9-60
共有フォルダーを作成する.....	3-21	出荷時設定に戻す.....	10-61
共有フォルダーの設定を変更・削除する.....	3-22	出荷時設定への戻し方.....	10-61
共有フォルダー使用上の注意.....	3-23	ランプ・ブザー別の対応.....	11-63
バックアップする.....	4-24	仕様.....	12-64
スケジュールバックアップ.....	4-24	ハードウェア仕様.....	12-64
クイックコピー.....	4-27	各部の名称・機能.....	12-65
外出先から本製品にアクセスする (リモートリンク 2)... ..	5-29	動作環境.....	12-66
リモートリンク 2 とは.....	5-29	出荷時設定一覧.....	12-67
リモートリンク 2 の設定をする.....	5-31	文字制限一覧.....	12-68
外出先のパソコンからアクセスする.....	5-32	ログ一覧.....	12-69
iPhone、iPad からアクセスする.....	5-36	設定画面のリファレンス.....	13-71
Android 端末からアクセスする.....	5-42	機器情報・設定.....	13-71
iTunes サーバーとして利用する.....	6-47	共有.....	13-75
iTunes サーバー.....	6-47	USB.....	13-77
iTunes から再生する.....	6-48	サービス.....	13-78
USB 機器を共有する (net.USB)	7-49	バックアップ.....	13-79
net.USB を使えるようにする.....	7-49	その他.....	13-80
net.USB を利用する.....	7-50		
ハードディスクをチェックする.....	8-51		
チェックディスクでチェックする.....	8-51		

困ったときには..... 14-81

本製品起動時のトラブル.....	14-83
セットアップ時のトラブル.....	14-84
本製品へのアクセス時のトラブル.....	14-90
設定画面に関するトラブル.....	14-94
本製品の IP アドレスについて.....	14-97
ファイルの保存について.....	14-98
ランプやブザーについて.....	14-99
iTunes サーバー機能使用時のトラブル.....	14-100
リモートリンク 2 機能使用時のトラブル.....	14-102
内蔵および外付ハードディスクについて.....	14-103
タイムサーバー機能使用時のトラブル.....	14-104
パソコンのネットワーク設定について.....	14-105

アフターサービス..... 15-109

お問い合わせについて.....	15-109
修理について.....	15-110

安全のために

お使いになる方への危害、財産への損害を未然に防ぎ、安全に正しくお使いいただくための注意事項を記載しています。ご使用の際は、必ず記載事項をお守りください。

● 警告および注意表示	
 危険	この表示の注意事項を守らないと、死亡または重傷を負う危険が生じます。
 警告	この表示の注意事項を守らないと、死亡または重傷を負うことがあります。
 注意	この表示の注意事項を守らないと、けがをしたり周辺の物品に損害を与えたりすることがあります。

● 絵記号の意味	
	禁止
	指示を守る

危険

-  **本製品を修理・改造・分解しない**
火災や感電、破裂、やけど、動作不良の原因になります。

警告

-  **雷が鳴り出したら、本製品や電源ケーブルには触れない**
感電の原因となります。
-  **ぬらしたり、水気の多い場所で使用しない**
火災・感電の原因となります。
・お風呂場、雨天、降雪中、海岸、水辺でのご使用は、特にご注意ください。
・水の入ったもの（コップ、花瓶など）を上に乗らないでください。
-  **本製品の小さな部品を乳幼児の手の届くところに置かない**
誤って飲み込み、窒息するおそれがあります。万一、飲み込んだと思われる場合は、ただちに医師にご相談ください。
-  **本製品の周辺に放熱を妨げるような物を置かない**
火災の原因となります。
-  **本製品の取り付け、取り外し、移動は、必ずパソコン本体・周辺機器および本製品の電源を切り、コンセントからプラグを抜いてから行う**
電源コードを抜かずに行うと、感電の原因になります。
-  **煙がでたり、変なおいや音がしたら、すぐに使用を中止する**
そのまま使用すると火災・感電の原因となります。
-  **故障や異常のまま、接続しない**
本製品に故障や異常がある場合は、必ず接続している機器から取り外してください。
そのまま使用すると、火災・感電・故障の原因となります。

●電源 (AC アダプター・ケーブル・プラグ) について



AC アダプターや接続ケーブルは、添付品または指定品のもの以外を使用しない

ケーブルから発煙したり火災の原因になります。



AC100V (50/60Hz) 以外のコンセントに接続しない

発熱、火災の恐れがあります。



ケーブルにものをのせたり、引っ張ったり、折り曲げ・押しつけ・加工などは行わない

火災。感電の原因になります。



ゆるいコンセントに接続しない

電源プラグは、根元までしっかりと差し込んでください。根元まで差し込んでもゆるみがあるコンセントにはつながらないでください。発熱して火災の原因になります。



電源プラグを抜くときは電源ケーブルを引っ張らない

電源プラグを持って抜いてください。電源ケーブルを引っ張るとケーブルに傷が付き、火災や感電の原因になります。



添付の AC アダプターや接続ケーブルは、他の機器に接続しない

添付の電源ケーブルおよび AC アダプターは本機専用です。他の機器に取り付けると、火災や感電の原因となることがあります。



煙が出たり、変な臭いや音がしたら、すぐにコンセントからプラグを抜く

そのまま使用すると火災・感電の原因になります。



じゅうたん、スポンジ、ダンボール、発泡スチロールなど、保温・保湿性の高いものの近くで使用しない

火災の原因になります。



熱器具のそばに配線しない

ケーブル被覆が破れ、接触不良などの原因になります。



注意



本製品を踏まない

破損し、ケガの原因となります。特に、小さなお子様にはご注意ください。



人が通行するような場所に配線しない

足を引っ掛けると、ケガの原因になります。



長時間にわたり一定個所に触れ続けない

本製品を一定時間使うと、本製品が熱く感じる場合があります。

安全設定機関の仕様に準拠するように設計されていますので、適切な使用環境で安全面での問題は起こりません。ただし、長時間にわたり一定個所に触れ続けると、低温やけどを起こす恐れがあります。

使用上のご注意

本製品は精密機器です。突然の故障等の理由によってデータが消失する場合があります。

万一に備え、本製品内に保存された重要なデータについては、必ず定期的に「バックアップ」を行ってください。

本製品または接続製品の保存データの毀損・消失などについて、弊社は一切の責任を負いません。また、弊社が記録内容の修復・復元・複製などをすることもできません。なお、何らかの原因で本製品にデータ保存ができなかった場合、いかなる理由であっても弊社は一切その責任を負いかねます。

バックアップとは

本製品に保存されたデータを守るために、別の記憶媒体（HDD・BD・DVD など）にデータの複製を作成することです。（データを移動させることは「バックアップ」ではありません。同じデータが2か所にあることを「バックアップ」と言います。）
万一、故障や人為的なミスなどで、一方のデータが失われても、残った方のデータを使えますので安心です。不測の事態に備えるために、必ずバックアップを行ってください。

故障を防ぐためのご注意

●本製品は以下のような場所で保管・使用しないでください。

《使用時 / 保管時》

- ・振動や衝撃の加わる場所 ・直射日光のあたる場所 ・湿気やホコリが多い場所
- ・温度差の激しい場所 ・熱の発生する物の近く（ストーブ、ヒーターなど）
- ・強い磁力電波の発生する物の近く（磁石、ディスプレイ、スピーカー、ラジオ、無線機など）
- ・水気の多い場所（台所、浴室など） ・傾いた場所
- ・腐食性ガス雰囲気中（Cl₂、H₂S、NH₃、SO₂、NO_x など） ・静電気の影響の強い場所

《使用時のみ》

- ・保温、保湿性の高いものの近く（じゅうたん、スポンジ、ダンボール、発泡スチロールなど）
- ・製品に通気孔がある場合は、通気孔がふさがりやすい場所

●本製品は精密部品です。以下の注意をしてください。

- ・落としたり、衝撃を加えない
- ・本製品の上に水などの液体や、クリップなどの小部品を置かない
- ・重いものを上にのせない
- ・本製品のそばで飲食・喫煙などをしない

●アクセスランプ点灯 / 点滅中に電源を切ったり、パソコンをリセットしないでください。

故障の原因になったり、データが消失するおそれがあります。

●本体内部に液体、金属、たばこの煙などの異物が入らないようにしてください。

お手入れについて

- 本体についた汚れなどを落とす場合は、柔らかい布で乾拭きしてください。
- 洗剤で汚れを落とす場合は、必ず中性洗剤を水で薄めてご使用ください。
- ベンジン、アルコール、シンナー系の溶剤を含んでいるものは使用しないでください。
- 市販のクリーニングキットを使用して、本製品のクリーニング作業を行わないでください。故障の原因になります。

家庭環境で使用する場合のご注意

この装置は、クラスA情報技術装置です。この装置を家庭環境で使用すると電波妨害を引き起こすことがあります。この場合には使用者が適切な対策を講ずるよう要求されることがあります。

VCCI-A

廃棄や譲渡の際のご注意

データ消去ソフト等利用し、データを完全消去してください。

- ハードディスクに記録されたデータは、OS 上で削除したり、ハードディスクをフォーマットするなどの作業を行っただけでは、特殊なソフトウェアなどを利用することで、データを復元・再利用できてしまう場合があります。その結果として、情報が漏洩してしまう可能性もありますので、情報漏洩などのトラブルを回避するために、データ消去のソフトウェアやサービスをご利用いただくことをおすすめします。
※ハードディスク上のソフトウェアについて
ハードディスク上のソフトウェア（OS、アプリケーションソフトなど）を削除することなくハードディスクを譲渡すると、ソフトウェアライセンス使用許諾契約に抵触する場合があります。
- 本製品を廃棄する際は、地方自治体の条例にしたがってください。

使用上のご注意

- 本製品は、USB 接続・LAN 接続に対応しています。USB 接続モードと LAN 接続モードを同時に使うことはできません。
- USB 接続モード、LAN 接続モードの両方で同じフォルダーを使用したい場合は、LAN 接続モードでフォルダーを作成してください。
USB 接続モードで作成したフォルダーは、LAN 接続モードでは使用できません。
- 本製品内蔵ハードディスクは、NTFS でフォーマットされています。LAN 接続モードでは、NTFS の各種属性（暗号ファイル・圧縮ファイル等）には対応していません。
- 本製品を USB 接続モード時にフォーマットしないでください。フォーマットを行う場合は、LAN 接続モードで行ってください。
- 本製品はハードディスクの中にサポートソフトが入っています。フォーマットを実行するとサポートソフトも消去されます。
フォーマットを行った場合は、弊社ホームページ (<http://www.iodata.jp/lib/>) からサポートソフトをダウンロードしてください。
- 設定画面で表示されるハードディスク使用領域と Windows からネットワークドライブに割り当てしてプロパティから見た使用領域の値は大きく異なります。
本製品で使用するファームウェアの表示における仕様で、ハードディスク側には問題はありません。正しい使用領域は、本製品の設定画面からご確認ください。
- 本製品に対してチェックディスクを行う場合は、対応 OS の Windows パソコンへ USB 接続モードで接続して行ってください。
- Windows と Mac OS で共有する場合、Windows 上から見ると、見覚えの無いファイルやフォルダーが見える場合があります。これは、Mac OS で、フォルダーを作成したりファイルをコピーした際に、作成したファイル（フォルダー）の他に、別のファイル（フォルダー）が作成されるためです。
このファイル（フォルダー）には、Mac OS ユーザー用の必要な情報が書き込まれていますので、削除しないでください。
- Mac OS の TimeMachine 機能でのご利用は保証外となります。

LAN 接続モード時のご注意

- 本製品は、DHCP サーバーがある環境では、自動的に DHCP サーバーより IP アドレスが割り当てられるため、本製品の IP アドレスを設定する必要はありません。ただし、DHCP サーバーのない環境（パソコンにそれぞれ固定の IP アドレスを設定している環境）では、ネットワークに応じた IP アドレスを設定する必要があります。
- 本製品はローカルネットワーク上でご利用ください。また、インターネット経由でのアクセスにつきましては、Remote Link2 機能のみの動作保証となります。
本製品にグローバル IP アドレスを割り当て、直接インターネットに公開すると非常に危険です。ルーターを設置するなどして、インターネットから攻撃を受けないようにするなど、お客様にてセキュリティ確保を行ってください。
- 同じネットワークに本製品を複数台導入する場合は、本製品の [IP アドレス] を別のものに変更する必要があります。
- 複数のパソコンを接続する場合は、ハブ（ルーターなど）が必要となります。
- 無線 LAN 搭載のパソコンから本製品に接続する場合は、無線アクセスポイントが必要となります。
- LAN 接続モードでご使用の場合は、本製品の時刻を正しく合わせておく必要があります。インターネットに接続可能な環境で、起動時にタイムサーバーと同期する設定でのご使用をおすすめします。

ネットワークで共有する場合の注意

■ファイアウォールソフトをお使いの場合、本製品へアクセスできない場合があります。その場合、ファイアウォールソフト側で、65番、137～139番、445番のポートにアクセス許可する設定を行ってください。

■接続可能端末数について

本製品にネットワーク経由で接続可能な端末数について、Windowsでは制限は設けておりませんが、同時接続台数が増加するとパフォーマンスが低下します。

Windows パソコン	推奨する同時接続台数は8台まで（ネットワークドライブの割り当ても同様です。）
Mac OS パソコン	推奨する同時接続台数は8台まで（最大16台まで）

■本製品に保存できるファイルやフォルダー名は、以下の文字数までとなっています。

Windows パソコン	半角255文字（全角85文字）まで ※使用する文字によっては、使用可能な文字数が少なくなる場合があります。
Mac OS パソコン	半角255文字（全角85文字）まで

■Remote Link2 機能

同時接続クライアント数は、3クライアントまでです。

USB 接続モード時のご注意

■USB 2.0 インターフェイスでの動作は、弊社製 USB 2.0 インターフェイスにおいて確認を行っております。

その他のインターフェイスとの動作対応については、各インターフェイスメーカーにお問い合わせください。

■USB 2.0 でご使用いただくには、USB ポートおよび OS が USB 2.0 に対応している必要があります。

対応していない場合は、USB 1.1 として動作します。

■本製品を添付の USB ケーブルでパソコンに接続する場合、以下のフォルダーおよびファイルが表示されますが、消去しないでください。また、本製品を USB 接続モード時にフォーマットしないでください。

[disk]、[SupportSoft]、[Autorun.inf]、[EasySetup.ini]、

■USB 接続モードで保存したデータを、LAN 接続モードでも使用したい場合は、LAN 接続モードで作成された共有フォルダー（[disk]、[iTunes] など）にデータを保存してください。

・[disk]、[iTunes] フォルダーは公開用の共有フォルダーです。Remote Link 2 で公開するコンテンツのみ保存してください。

・disk \iTunes フォルダーは iTunes サービス公開用のフォルダーです。iTunes で公開するコンテンツのみ保存してください。
ネットワーク接続時に他のパソコンの iTunes からデータを参照できます。

■USB 接続モード時は、USB[HOST] ポートに USB 機器を接続しても使用できません。

■Mac OS でご使用の場合、USB 接続モード時は対応しておりません。LAN 接続モードでご利用ください。

セットアップする

ここでは、製品添付の【セットアップガイド】記載以外のセットアップ方法について説明しています。

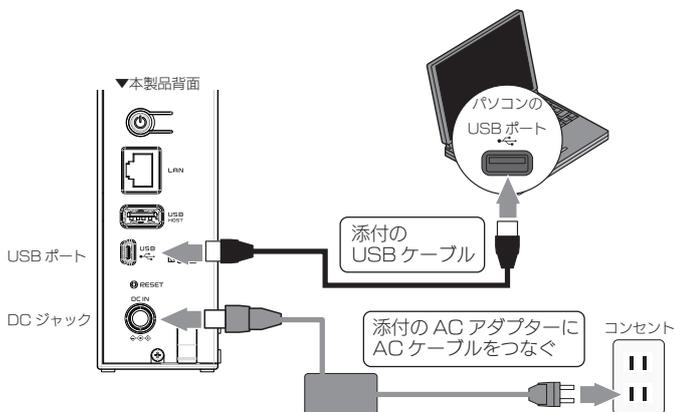
Windows から Magical Finder でセットアップする

① Magical Finder をコピーする

1 パソコンを起動します。



2 本製品添付の USB ケーブルを本製品背面の USB ポートに接続し、もう一方をパソコンの USB ポートに接続します。
AC アダプターと AC ケーブルを接続し、本製品とコンセントに接続します。

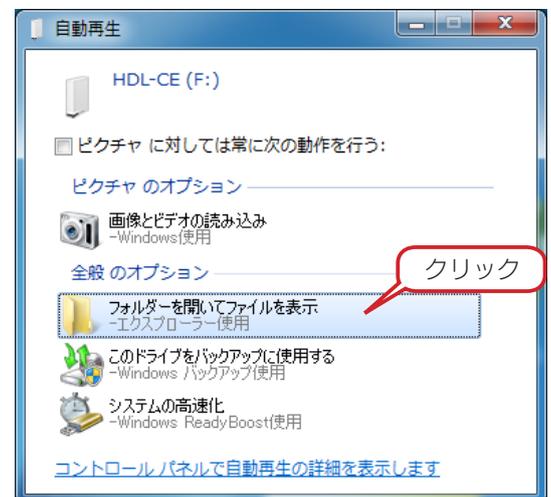


3 本製品背面の電源ボタンを押します。

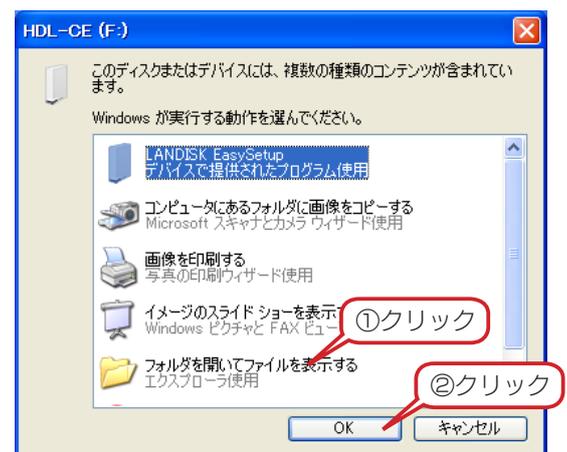


4 本製品が認識されると画面が表示されますので、[フォルダーを開いてファイルを表示]を選択します。
([OK] ボタンがある場合はクリックします。)

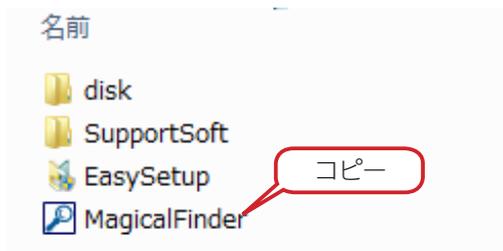
▼ Windows 7、Vista の場合



▼ Windows XP の場合

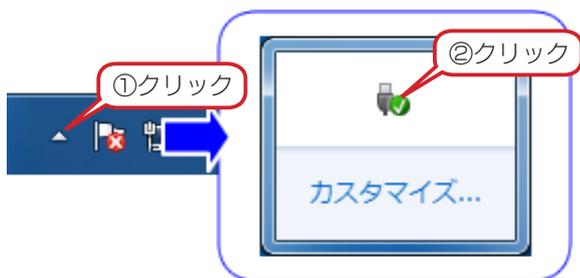


5 [Magical Finder] をデスクトップにコピーします。

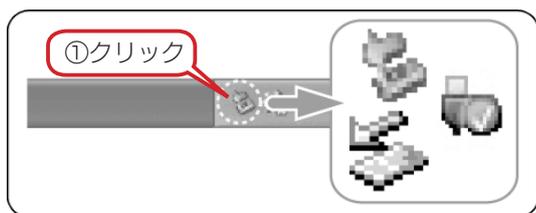


6 本製品をパソコンから取り外します。
①画面右下のアイコンをクリックします。
② Windows 7の場合は、表示された取り外しアイコンをクリックします。
Windows 7以外の場合は、表示された「USB 大容量記憶装置デバイス」より本製品の表示をクリックします。
※複数の機器を接続している場合は、ドライブ文字で判断してください。

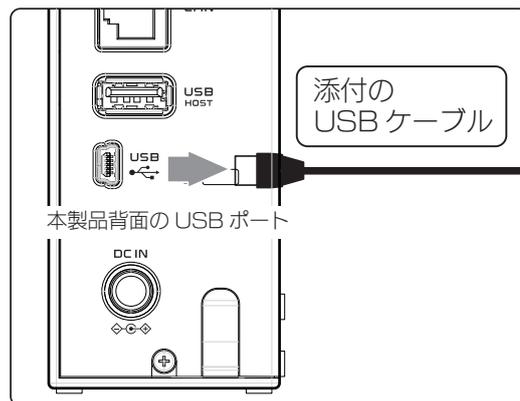
▼ Windows 7 の場合



▼ Windows 7 以外の場合



7 パソコンと本製品背面の USB ポートから、USB ケーブルを取り外します。



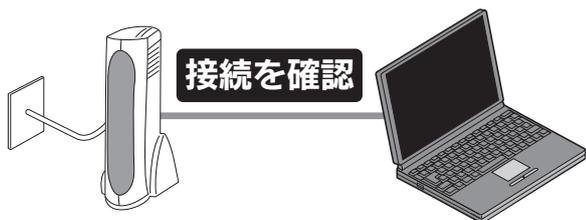
以上でコピーは完了しました。
②へお進みください。

ご注意

- 取り外しができない場合、起動中のソフトウェアを終了して再度お試しください。
- ※それでも取り外しができない場合は、パソコンの電源を切ってから取り外してください。

②ネットワークに導入する

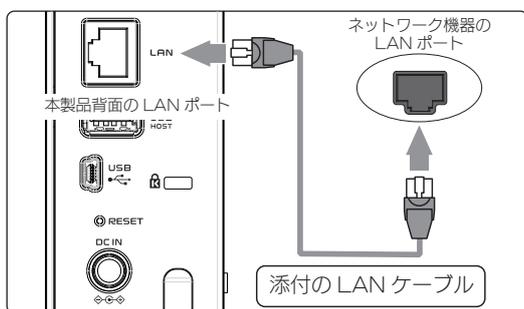
- 1 ネットワーク内のルーターなどが正常に動作していることを確認します。



ルーターやハブなどのネットワーク機器

設定に使用するパソコン

- 2 本製品添付の LAN ケーブルを本製品背面の LAN ポートに接続し、もう一方をルーターやハブなどのネットワーク機器に接続します。



- 3 「ピッ」と音が鳴り、本製品の STATUS ランプが緑色に点滅します。起動が完了すると、「ピー」と音が鳴り、STATUS ランプが緑色に点灯します。完全に起動するまでお待ちください。

以上でネットワークへの導入は完了しました。

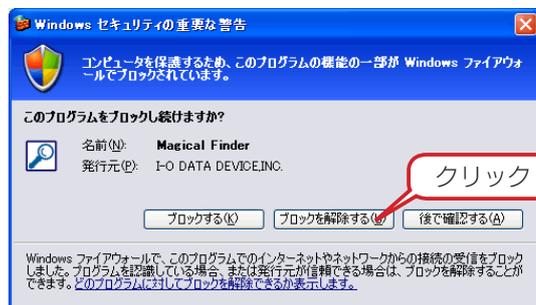
③へお進みください。

③本製品を設定する

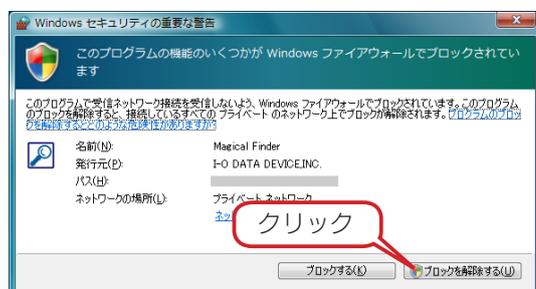
- 1 デスクトップ上にコピーした [Magical Finder] をダブルクリックして起動します。

ご注意

- 以下の画面が表示された場合は、[ブロックを解除する] をクリックしてください。



- 以下の画面が表示された場合、[ブロックを解除する] をクリックしてください。その後 [ユーザーアカウント制御] の表示がされた場合は、[続ける] をクリックしてください。



- 以下の画面が表示された場合は、[アクセスを許可する] をクリックしてください。



- 2 自動で本製品が検索されます。本製品の STATUS ランプの色を確認してください。

緑色で点灯している場合

次に、3へお進みください。

赤色で点滅している場合

次ページの【IP 設定】を行ってください。
その後、3へお進みください。

ご注意

●本製品が検索されない！

対処1 30秒ほど待ってから[情報の更新]ボタンをクリックしてください。

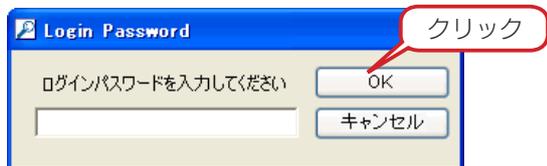
対処2【Magical Finderで本製品が検索されない】(14-86ページ)をご覧ください。

IP設定

①[IP設定]ボタンをクリックします。

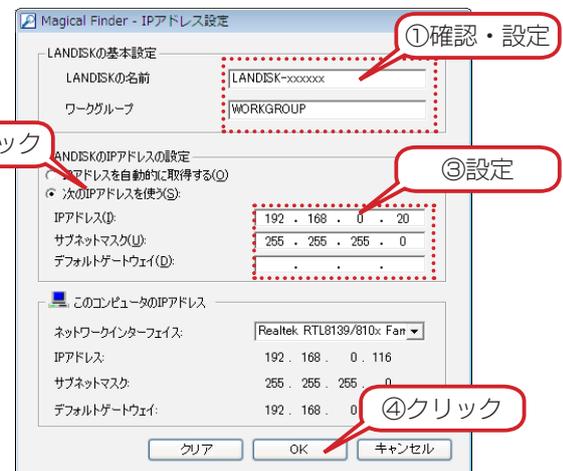


②パスワード入力を求められますが、何も入力せずに[OK]ボタンをクリックします。



③[LANDISKの名前][ワークグループ]を確認します。
次に、[LANDISKのIPアドレスの設定]で、お使いのネットワークに合わせたIPアドレスを設定後、[OK]ボタンをクリックします。

※画面の詳細は次ページをご覧ください。



ご注意

ネットワーク内にDHCPサーバーがあるのに点滅している場合は、以下の手順を行ってみてください。

①いったん、本製品の[電源]ボタンを押して本製品の電源を切ります。

②DHCPサーバーが正しく動作していること、本製品とネットワーク機器がLANケーブルで正しく接続されていることを確認します。

③[電源]ボタンを押して、再度本製品の電源を入れます。

※DHCPサーバーがあるかどうかの確認方法については、【現在のネットワーク環境にDHCPサーバーがあるかわからない】(14-84ページ)をご覧ください。

3 [ブラウザ]ボタンをクリックします。



4 [ユーザー名]に[admin]を入力し、[OK]ボタンをクリックします。
※[パスワード]は出荷時には設定されていないので、入力不要です。



5 設定画面が表示されますので、必要に応じて設定してください。
設定画面については、【設定画面のリファレンス】(13-71ページ)をご覧ください。

これで初期設定は完了です。

IP アドレス設定画面

LAN DISK の基本設定		
LAN DISK の名前	ネットワーク上〔マイネットワーク〕あるいは〔ネットワークコンピュータ〕など〕に表示される本製品の名称です。 下の【注意：LAN DISK の名前について】をご覧ください。 ※使用できる文字には制限があります。【文字制限一覧】（12-68 ページ）をご覧ください。 ※変更する場合は、必ずメモしてください。	
ワークグループ	"ワークグループ" はパソコンの "ワークグループ名" と一致しなければなりません。（パソコンのワークグループ名を確認してください。） ただし、ワークグループの名前が一致していない場合でも本製品にアクセスすることは可能です。 ※使用できる文字には制限があります。 【文字制限一覧】（12-68 ページ）をご覧ください。	
LAN DISK の IP アドレス設定		
IP アドレスを自動的に取得する	ネットワーク内に DHCP サーバーがある場合にチェックします。	
次の IP アドレスを使う	固定の IP アドレスを使う場合にチェックします。	
	IP アドレス	本製品に設定する IP アドレスを入力します。 ※使用しているネットワークのセグメント (IP アドレスのグループ) をご確認の上、他のネットワーク機器やパソコンの IP アドレスと重複しないように設定してください。
	サブネットマスク	パソコンと同じサブネットマスクを入力します。 画面の [このコンピュータの IP アドレス] 欄の [サブネットマスク] と同じ値を入力します。
	デフォルトゲートウェイ	パソコンと同じデフォルトゲートウェイを入力します。 画面の [このコンピュータの IP アドレス] 欄の [デフォルトゲートウェイ] と同じ値を入力します。表示されていない場合、入力する必要はありません。
このコンピュータの IP アドレス		
ネットワークインターフェイス	パソコンのネットワークインターフェイス (LAN アダプター名など) を表示します。	
IP アドレス	パソコンの IP アドレスを表示します。	
サブネットマスク	パソコンのサブネットマスクを表示します。	
デフォルトゲートウェイ	パソコンのデフォルトゲートウェイを表示します。通常、ルーターの IP アドレスが設定されています。設定されていない場合、表示されません。	

ご注意：LAN DISK の名前について

本製品は、出荷時設定として製品ごとに [LANDISK-xxxxxx] の名前が設定されています。
(xxxxxx は、MAC アドレスの下 6 桁)
MAC アドレスは、本製品底面のシールに記載されています。
※ MAC アドレスは、0～9 の数字と A～F までのアルファベットで構成されています。

Windows から本製品にアクセスする

アクセス方法は OS により異なります。ご使用の OS のページをご覧ください。

ここでは、製品添付の【セットアップガイド】記載以外のアクセス方法について説明しています。

【Windows 7 からアクセスする】(2-14 ページ)

【Windows Vista からアクセスする】(2-15 ページ)

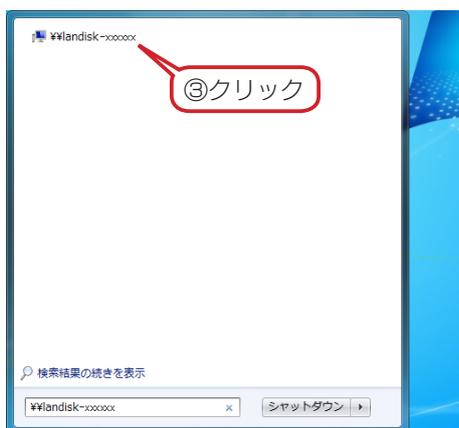
【Windows XP からアクセスする】(2-16 ページ)

Windows 7 からアクセスする

1 [スタート]をクリックし、[プログラムとファイルの検索]をクリック後、「¥landisk-xxxxxx」と入力します。検索された「landisk-xxxxxx」を選択します。
※ xxxxxx は、MAC アドレスの下 6 桁です。
【ご注意:LAN DISK の名前について】(2-13 ページ)をご覧ください。
※本製品の「LAN DISK の名前」を変更した場合は、¥の後に変更した名前を入力してください。



② LAN DISK の名前を入力します。
※本製品の [LAN DISK の名前] を変更されている場合には、本製品に設定した名前を入力してください。

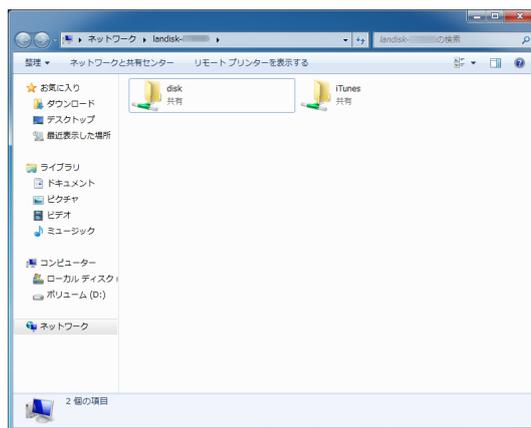


ご注意

LANDISK-xxxxxx が検索されない!

⇒【[コンピューターの検索]で [landisk-xxxxxx] が見つからない】(14-91 ページ)をご覧ください。

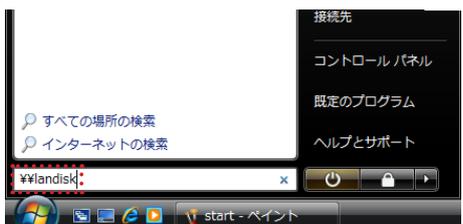
2 →本製品の共有フォルダーの一覧が表示されます。表示された [disk] フォルダー内にファイルを書き込むことができます。このフォルダー内にファイルを書き込んで、他のユーザーと共有することができます。



正常に共有フォルダーのウィンドウが表示されたら、共有フォルダーとして使用できます。

Windows Vista からアクセスする

1 [スタート] をクリックし、[検索の開始] をクリック後、「¥¥landisk-xxxxxx」と入力し [Enter] キーを押します。
※ xxxxxx は、MAC アドレスの下 6 桁です。
【ご注意: LAN DISK の名前について】(2-13 ページ) をご覧ください。
※本製品の「LAN DISK の名前」を変更した場合は、¥¥の後に変更した名前を入力してください。



ご注意
LANDISK-xxxxxx が検索されない！
⇒【[コンピューターの検索] で [landisk-xxxxxx] が見つからない】(14-91 ページ) をご覧ください。

2 本製品の共有フォルダーの一覧が表示されます。
[disk] フォルダーをダブルクリックします。



3 表示された [disk] フォルダー内にファイルを書き込むことができます。
このフォルダー内にファイルを書き込んで、他のユーザーと共有することができます。



正常に共有フォルダーのウィンドウが表示されたら、共有フォルダーとして使用できます。

Windows XP からアクセスする

ご注意

- 本製品の 3.0T バイト以上の機種では、LAN 接続モードのみ対応となります。

1 [スタート] → [マイネットワーク] → [コンピュータの検索] をクリックします。



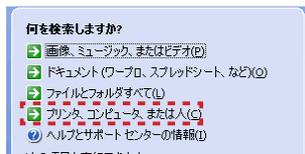
表示に [マイネットワーク] がない場合は、以下の手順を行います。

① [スタート] → [検索] をクリックします。

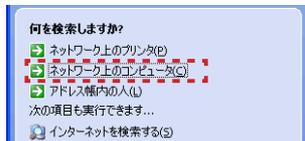
※ Windows Search 画面が起動した場合、[ここをクリックして検索コンパニオンを使用します。]を選択してください。



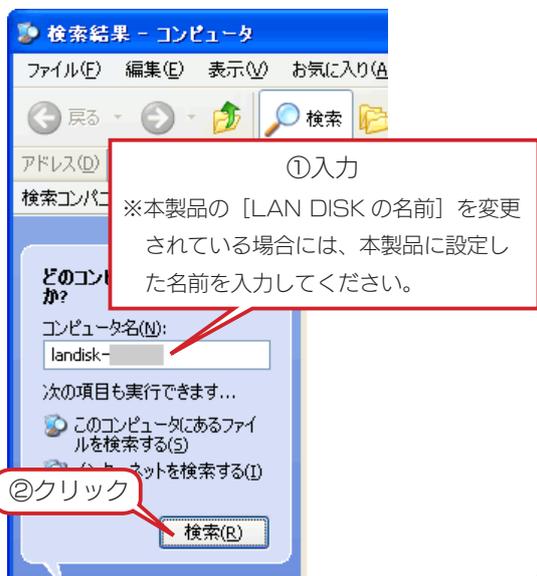
② "何を検索しますか?" で [プリンタ、コンピュータ、または人] をクリックします。



③ "何を検索しますか?" で [ネットワーク上のコンピュータ] をクリックします。



2 [コンピュータ名] に「landisk-xxxxxx」と入力し、[検索] ボタンをクリックします。
※ xxxxxx は、MAC アドレスの下 6 桁です。
【ご注意:LAN DISK の名前について】(2-13 ページ) をご覧ください。



ご注意

LANDISK-xxxxxx が検索されない!

⇒【コンピュータの検索】で [landisk-xxxxxx] が見つからない (14-91 ページ) をご覧ください。

3 「LAN DISK CE Series」が検索されますので、ダブルクリックします。
⇒ [disk] [iTunes] フォルダが表示されます。



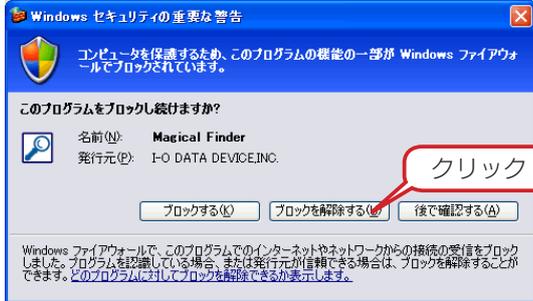
表示された [disk] [iTunes] フォルダ内にファイルを書き込むことができます。

Windows から Magical Finder で設定画面を開く

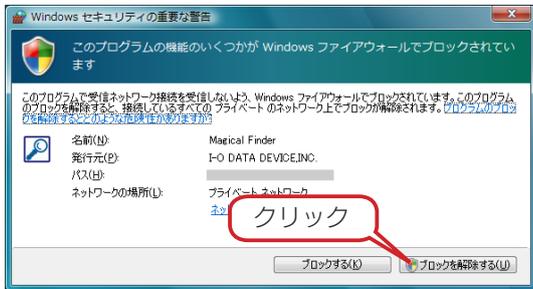
1 デスクトップ上にコピーした [Magical Finder] をダブルクリックして起動します。

ご注意

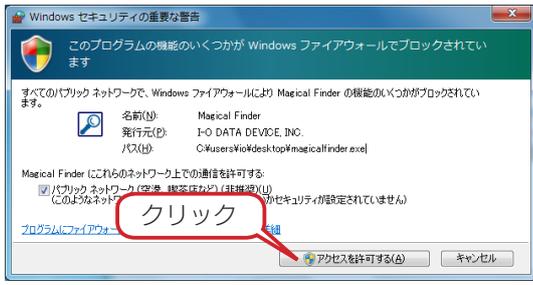
●以下の画面が表示された場合は、[ブロックを解除する] をクリックしてください。



●以下の画面が表示された場合、[ブロックを解除する] をクリックしてください。その後 [ユーザーアカウント制御] の表示された場合は、[続行する] をクリックしてください。



●以下の画面が表示された場合は、[アクセスを許可する] をクリックしてください。



2 自動で本製品が検索されますので、[ブラウザ] ボタンをクリックします。
※本製品の電源が ON になってから、検索されるまでに約 1 ~ 2 分かかる場合があります。



ご注意

●本製品が検索されない！
対処1 30 秒ほど待ってから [情報の更新] ボタンをクリックしてください。
対処2 【Magical Finderで本製品が検索されない】(14-86 ページ) をご覧ください。

3 [ユーザー名] に「admin」と入力後、[OK] ボタンをクリックします。
※出荷時は管理者パスワードは設定されていません。設定画面で設定できます。



ご注意

「管理者パスワードが違います」と表示された！
対処:【パスワード認証に失敗し設定画面を表示できない】(14-96 ページ) をご覧ください。

しばらくすると、設定画面の起動メニュー画面が表示されます。

高速読込モードに設定する

本製品には、LAN 接続モード時での読み込み時に、ファイル転送速度が速くなる「高速モード」を搭載しています。以下の手順にて設定してください。

※出荷時設定では通常モード（NTFS）に設定されています。

ご注意

- フォーマット形式が変更になりますので、保存されているデータが削除されます。バックアップを行ってから設定変更を行ってください。
- USB 接続モードでは高速モードはご利用できません。USB 接続モードをご利用の場合は通常モード（NTFS）でご利用ください。

1 設定画面の  をクリックし、[ドライブ情報]をクリックして、内蔵ハードディスクの[パーティション管理]をクリックします。

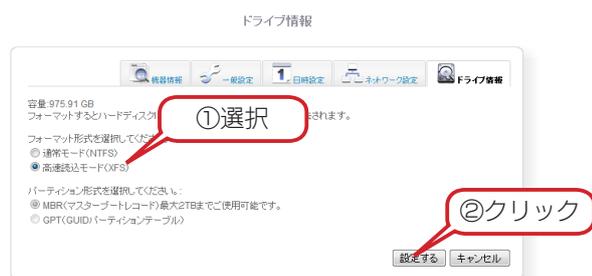


①クリック



2 フォーマット形式で[高速モード(XFS)]を選択し、[設定する]ボタンをクリックします。

※パーティションスタイルは自動で設定されますので、通常選択する必要はありません。本製品の 3.0TB 以上の機種のみ、MBR 形式と GPT 形式の選択が可能です。



以上で設定は完了です。

共有フォルダーを使う

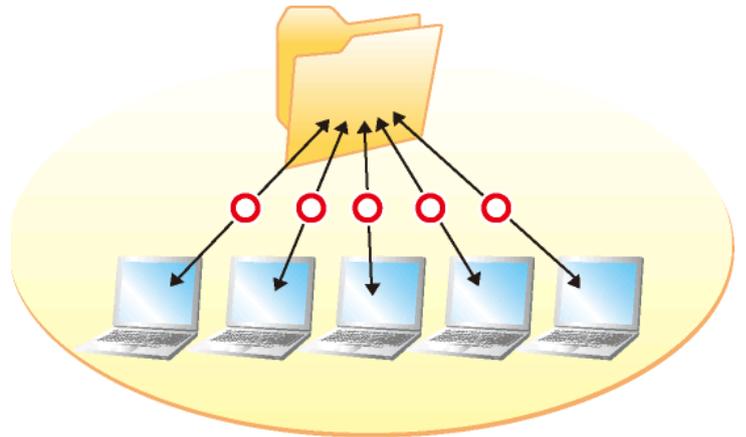
共有フォルダーとは？

本製品の設定画面上で作成できる「共有」（アクセス権限）には以下の2つ（全共有、ユーザー共有）の種類があります。

●全共有（すべてのユーザーを許可）

ネットワークに接続されているすべてのパソコンから自由にファイルの読み書きができる共有です。

ネットワークにログオン時のユーザー名やパスワードに関係なく、そのままアクセスできますので、ユーザー管理を行う必要がありません。



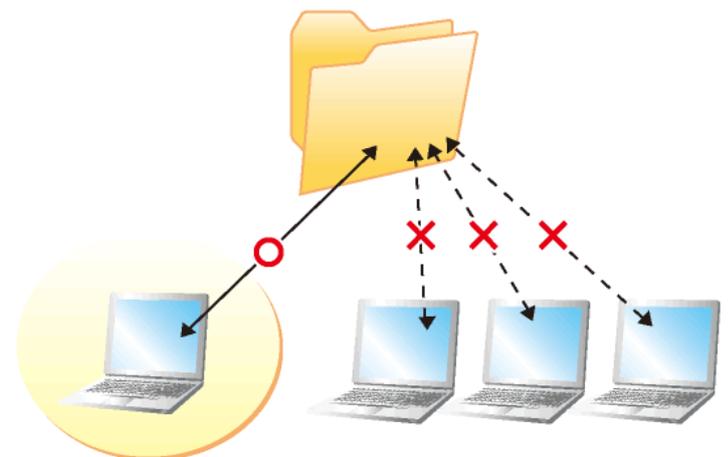
●ユーザー共有（指定したユーザーのみ許可）

特定のユーザーのみが読み書きできる共有です。

この共有にアクセスするためには、ネットワークにログオン時に特定ユーザーのユーザー名、パスワードの入力が必要です。

特定のユーザー以外でも共有フォルダーの存在を知ることができますが、中に入ってファイルを見たり、ファイルやフォルダーを作成することはできません。

本製品でこの共有を作成するためには、まず本製品にユーザー登録が必要です。



ネットワーク上から本製品に作成した、あるいは作成されている共有フォルダーを通して、ネットワーク上の複数台のパソコンでファイルを共有することができます。

本製品出荷時には、本製品に接続できるすべてのユーザーが読み書きできる [disk]、[iTunes] という共有フォルダーがあります。新規に共有フォルダーを作成することもできます。

共有フォルダー名	説明
disk	本製品出荷時にすでに作成されている内蔵ハードディスクの共有フォルダーです。 アクセス権限は [全てのユーザーを許可] として作成されているため、すべてのユーザーからアクセスできます。
iTunes	本製品出荷時にすでに作成されている iTunes サービス公開用の共有フォルダーです。 iTunes で公開するコンテンツのみ入れてください。 アクセス権限は [全てのユーザーを許可] として作成されているため、すべてのユーザーからアクセスできます。

ご注意

- 共有フォルダーのアクセス権限設定に関係なく、USB 接続モードではすべての共有フォルダーにアクセスできますのでご注意ください。
- 本製品に作成する共有フォルダーには、[全てのユーザー] [指定ユーザー] でアクセス制限を設定することができます。
- 本製品に登録可能なユーザー数は最大 20 人まで、共有フォルダー数は最大 20 個までとなります。
- ユーザー名には数字のみの名称は設定できません。
- 共有名に、スペースは使用できません。
- 共有名、ユーザー名(小文字のみ)、パスワードはすべて、半角英数字(ASCII 文字)のみが有効となります。
※設定時に使用できる文字や文字数には制限があります。【文字制限一覧】(12-68 ページ)

ユーザーを登録する

特定のユーザーのみがアクセスできる共有フォルダーを作成する場合、あらかじめユーザーを登録する必要があります。

ステップ1：アクセスユーザーを確認する

登録するユーザーのネットワークにログオン時の [ユーザー名] と [パスワード] を確認し、メモします。(確認した [ユーザー名] と [パスワード] を、後で設定画面に登録します。)

ご注意

[ユーザー名] [パスワード] を後で設定画面で登録しますが、設定できる文字には、以下の制限があります。

【文字制限一覧】(12-68 ページ) をご覧ください。

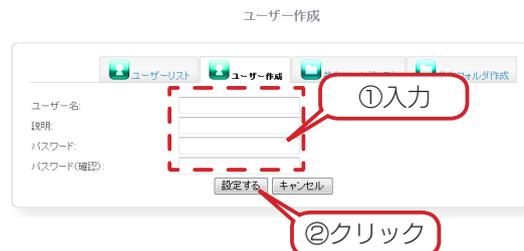
ステップ2：本製品にユーザーを登録する

メモした [ユーザー名] と [パスワード] を、本製品の設定画面でユーザーとして登録します。

- 1 設定画面の  をクリックし、[ユーザー作成] をクリックします。



- 3 ステップ1でメモした [ユーザー名] を [ユーザー名] 欄に入力します。
メモした [パスワード] を、[パスワード]、[パスワード(確認)] 欄に入力後、[設定する] ボタンをクリックします。
→登録したユーザーが、追加されます。



以上でユーザーの登録は完了です。

共有フォルダーを作成する

ここでは、アクセス権を設定する場合の手順を説明します。

- 1 設定画面の  をクリックし、[共有フォルダー作成] をクリックします。

共有フォルダー作成

共有フォルダー名:

説明:

アクセス権設定: 共有 指定したユーザーのみ許可

有効なユーザー

ユーザー名	読み書き許可	読み取り専用	アクセス不可
user1	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>
user2	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>



①クリック



- 2 [共有フォルダー名] を入力し、[アクセス権限設定] で、[設定したユーザーのみ許可] を選択します。
※誰でもアクセスできるようにする場合は、[共有] を選択します。

共有フォルダー作成

共有フォルダー名:

説明:

アクセス権設定: 共有 指定したユーザーのみ許可

有効なユーザー

ユーザー名	読み書き許可	読み取り専用	アクセス不可
user1	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>
user2	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>



- 3 ユーザーのアクセス権を設定し、[設定する] ボタンをクリックします。
→共有フォルダーが追加されます。

共有フォルダー作成

共有フォルダー名:

説明:

アクセス権設定: 共有 指定したユーザーのみ許可

有効なユーザー

ユーザー名	読み書き許可	読み取り専用	アクセス不可
user1	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>
user2	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>



以上で共有フォルダーの作成は完了です。

共有フォルダーの設定を変更・削除する

共有フォルダーの設定（[共有フォルダー名]、[コメント]、[アクセス権]）を変更することができます。

共有フォルダーの設定を変更する

- 1 設定画面の  をクリックし、[共有フォルダーリスト] をクリックします。



- 2 設定の変更をする共有フォルダーの[変更]ボタンをクリックします。
⇒共有フォルダー作成の画面が表示され、設定内容を変更できます。



以上で共有フォルダーの設定が変更されました。

共有フォルダーを削除する

ご注意

- 共有フォルダーを削除すると、共有フォルダー内に保存されているファイルも削除されます。

- 1 設定画面の  をクリックし、[共有フォルダーリスト] をクリックします。



- 2 削除をする共有フォルダーの[削除]ボタンをクリックします。
⇒削除の確認画面が表示されますので、[OK]ボタンをクリックすると削除されます。



以上で共有フォルダーが削除されました。

ご注意

[disk]、[iTunes] フォルダーは、リモートリンク 2 機能や iTunes サーバー機能時にアクセスするフォルダーです。通常は削除しないでください。削除してしまった場合は、以下の手順で復元してください。

- ①設定画面の  をクリックし、[共有フォルダーリスト] をクリックします。
 - ②リスト下の [デフォルトの共有を作成] ボタンをクリックします。
- これで削除した [disk][iTunes] フォルダーが復元されました。

共有フォルダー使用上の注意

● Windows 7、Vista での制限・注意事項

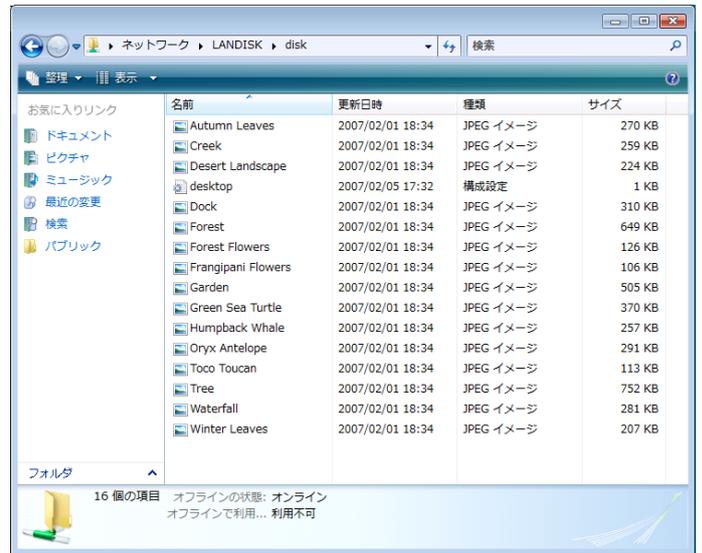
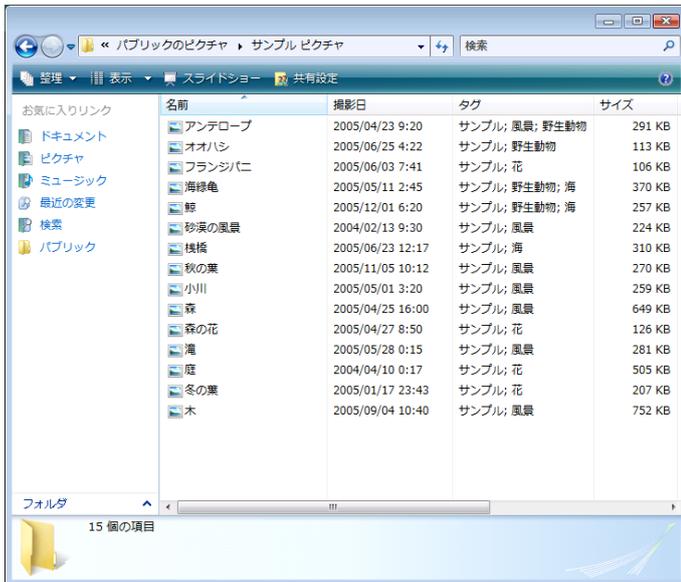
- Windows 7、Vista の「ファイルのバックアップ」機能について

Windows 付属の「ファイルのバックアップ」機能で、バックアップの保存先として本製品の共有フォルダーを指定することはできません。

- Windows 7、Vista 上の表示と共有フォルダー上の表示の違いに関する注意

Windows に標準インストールされるサンプルピクチャフォルダーのファイルは、Windows 上では画面例 (左) のように表示されています。

画面例左のサンプルピクチャを共有フォルダー上にコピーすると、画面例 (右) のように全く名前が異なって表示されます。



実際のファイル名は、LAN DISK 共有フォルダーで表示されるアルファベット文字のファイル名で正しいようですが、Windows 上のサンプルピクチャのフォルダーはファイルの表示設定が、実ファイル名表示しない設定がデフォルト設定になっています。このように名前=ファイル名ではないフォルダー表示設定が Windows では可能ですので、注意してください。

● ファイル名やフォルダー名の文字制限

本製品に保存できるファイルやフォルダー名は、OS により以下の文字数までとなっています。

【Windows の場合】半角 255 文字 (全角 85 文字) まで

※使用する文字種によっては上記の数値よりも少なくなる場合があります。

※ Windows 7、Vista では従来の Windows と比較し、扱える文字数が増えています。

よって Windows 7、Vista でのみ使用可能な文字を共有フォルダーに保存するファイル名やフォルダー名に使用した場合、従来の Windows で参照すると文字が正しく表示されない場合があります。

Windows 7、Vista と従来の Windows との間で文字表示について問題が発生しないようにするには Microsoft 社の公開情報 (http://www.microsoft.com/japan/windows/products/windowsvista/jp_font/default.mspx) にある、「JIS X 0213:2004 対応と新日本語フォント「メイリオ」について」に沿った対応をして頂く必要があります。

【Mac OS の場合】Mac OS X では半角 255 文字 (全角 85 文字) まで

● 使用できるファイルサイズについて

特に制限はありません。

● USB 接続モード、LAN 接続モードでお使いの際の注意

USB 接続モード、LAN 接続モードの両方で同じフォルダーを使用したい場合は、LAN 接続モードで作成した「共有フォルダー」をご使用ください。

USB 接続モードで「共有フォルダー」以下に作成したフォルダー以外は、LAN 接続モードでは使用できません。

バックアップする

スケジュールバックアップ

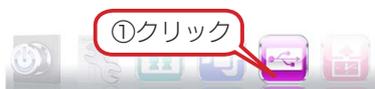
あらかじめ指定した本製品の共有フォルダーを、外付け USB ハードディスクや、同じネットワーク内にある他の HDL-CE に指定曜日指定時刻に定期的にバックアップすることができます。バックアップ先は、バックアップデータ量の 2 倍以上の空き容量が必要になります。

外付け USB ハードディスク にバックアップする場合

ステップ 1 USB ポートを設定する

出荷時 USB[HOST] ポートの動作モードは、[無効] に設定されています。以下の手順でポートの設定を変更してください。

1 設定画面の  をクリックし、[USB ポート] をクリックします。

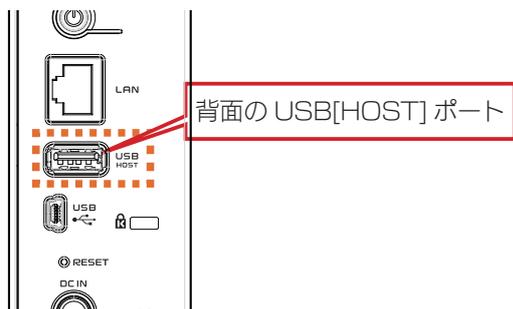


2 「スケジュールバックアップ」を選択し、[設定する] ボタンをクリックします。



ステップ2 外付け HDD を接続する

背面の USB[HOST] ポートに外付け USB ハードディスクを取り付けます。



ステップ3 バックアップスケジュールを設定する

1 設定画面の  をクリックし、[バックアップ設定] をクリックします。



2 バックアップ設定をします。
①バックアップ元を選択します。
② [USB へのバックアップ] を選択します。
③ [スケジュール設定] でバックアップを実行する曜日と時間を設定します。
④ [バックアップ設定を保存] ボタンをクリックします。



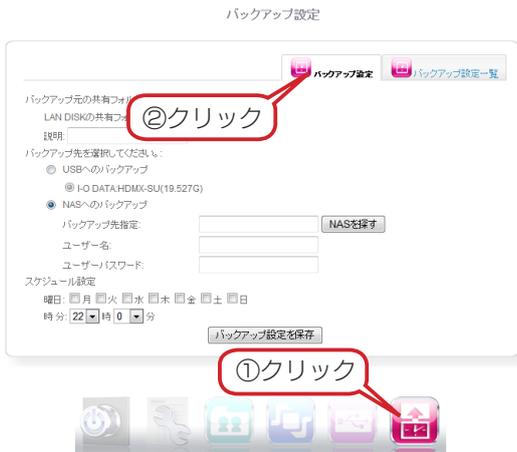
ご注意

- スケジュール設定を行う場合は、必ず本製品の時刻設定を行ってください。
- 他のスケジュールと重ならないようご注意ください。

これでスケジュールバックアップの設定は完了しました。

他の HDL-CE にバックアップする場合

1 設定画面の  をクリックし、[バックアップ設定] をクリックします。



2 バックアップ元を選択し、[NAS へのバックアップ] を選択します。



3 [NAS を探す] ボタンをクリックし、同一ネットワークに接続されている HDL-CE シリーズと共有フォルダーを選択し、[OK] ボタンをクリックします。



4 選択した共有フォルダーに、アクセス権の設定をしている場合は、[ユーザー名] と [パスワード] を入力します。
※全共有設定の場合は、入力不要です。



5 バックアップする時間を [スケジュール設定] で設定し、[バックアップスケジュールを設定] ボタンをクリックします。



これでスケジュールバックアップの設定は完了しました。

スケジュールを確認する

- 1 設定画面の  をクリックし、[バックアップ設定一覧] をクリックします。



スケジュールバックアップの設定リストが表示されます。

スケジュールの変更・削除をする

- 1 設定画面の  をクリックし、[バックアップ設定一覧] をクリックします。



- 2 [変更] ボタンをクリックすると、スケジュール設定画面が表示され、設定内容を変更できます。
[削除] ボタンをクリックすると、バックアップスケジュールが削除されます。



- スケジュールバックアップしたデータについて
データは、コピー先共有フォルダーの下に自動で作成される [backup] フォルダー内にコピーされます。
さらにその下に順に [バックアップ元共有フォルダー名] フォルダーを作成し、[コピー時点の年月日時刻] フォルダーを作成し、そのフォルダー内にバックアップ元共有フォルダーに保存されたデータがコピーされます。

[バックアップ先共有フォルダー]-[backup]-[バックアップ元共有フォルダー名]-[年月日時刻]

バックアップが成功すると、最新の [年月日時刻] フォルダーのみ残り、古い [年月日時刻] フォルダーはすべて削除されます。
バックアップが失敗した場合は、バックアップが失敗した最新の [年月日時刻] フォルダー、および古い [年月日時刻] フォルダーは残されます。

クイックコピー

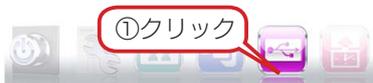
クイックコピー機能は、デジカメや USB メモリーを USB[HOST] ポートに接続することで、USB[HOST] ポートに接続したデジカメや USB メモリーのデータを、あらかじめ指定されている本製品の共有フォルダーにコピーすることができます。

クイックコピー機能は、本製品の USB[HOST] ポートの動作モードが [クイックコピー] となっている場合のみ動作します。

ステップ 1 USB ポートを設定する

出荷時 USB[HOST] ポートの動作モードは、[無効] に設定されています。以下の手順でポートの設定を変更してください。

1 設定画面の  をクリックし、[USB ポート] をクリックします。



2 「クイックコピー」を選択し、[設定する] ボタンをクリックします。



ステップ 2 コピー先を設定する

デジカメや USB メモリーのデータをコピーする共有フォルダーを設定します。

※出荷時設定では、[disk] フォルダーに設定されています。

1 設定画面の  をクリックし、[クイックコピー] をクリックします。



2 コピー先の共有フォルダーを選択し、[設定する] ボタンをクリックします。



ステップ2 クイックコピー機能を使う

USB[HOST]ポートに挿すだけで、本製品にデジカメやUSBメモリーのデータをコピーすることができます。

ご注意

- 必ず、USB[HOST]ポートに接続してください。

- 1 本製品のUSB[HOST]ポートにデジカメやUSBメモリーを接続します。自動的にコピーを開始します。コピー中は、STATUSランプが点滅します。



- 2 “ピピピ”と音が鳴り、STATUSランプが点滅から点灯に変わったらコピー完了です。デジカメやUSBメモリーを取り外してください。

以上でコピーは完了です。

●データコピー先について

データは、コピー先（出荷時は内蔵ハードディスクの[disk]）の共有フォルダーの下に、自動で作成される[quick copy]フォルダー内にコピーされます。

さらにその下に順に「コピー時点の[年月日時刻]」を元にしたフォルダー」フォルダーを作成し、そのフォルダー内に接続したデジカメやUSBメモリーのデータがコピーされます。

[指定したディスク共有フォルダー]-[quick copy]-[年月日時刻]

複数のデジカメ・USBメモリーをコピーする場合にも、データは[年月日時刻]フォルダーで区別されますので、上書きされることはありません。

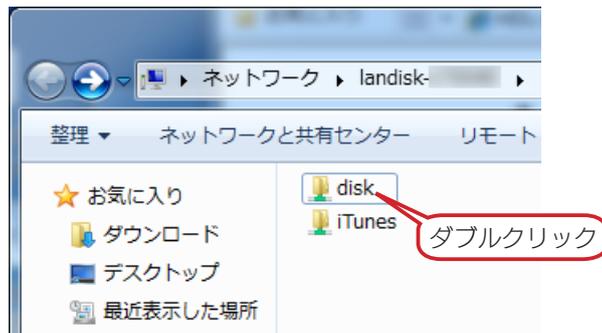
ステップ3 コピーしたデータを確認する

デジカメやUSBメモリーのデータが正しくコピーされているかを確認します。

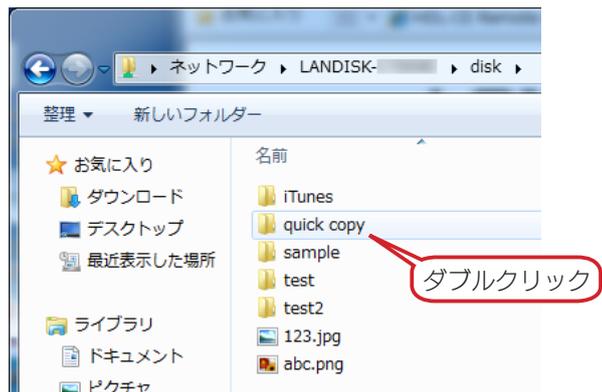
データを本製品内蔵ハードディスクの[disk]共有フォルダーにコピーした場合での確認例を説明します。

- 1 ネットワーク上から、本製品にアクセスし、共有フォルダーを表示させます。

- 2 [disk]フォルダーをダブルクリックします。



- 3 [quick copy]フォルダーが作成されていることを確認後、ダブルクリックします。



- [quick copy]フォルダーについて
クイックコピーを行った場合に自動で作成されるフォルダーです。

- 4 年月日時刻のフォルダーが作成されていることを確認後、ダブルクリックし、ファイルがコピーされているかご確認ください。
→コピーしたファイルやフォルダーが表示されます。

- 年月日時刻フォルダーについて
クイックコピーを行った場合に、[quick copy]フォルダーの下に、デジカメ・USBメモリーのデータコピーを開始した年月日・時刻を元にして、自動で作成されるフォルダーです。
例えば、[20110713150145]の場合は、2011年07月13日15時01分45秒にコピーを開始したフォルダーという意味です。

外出先から本製品にアクセスする (リモートリンク 2)

リモートリンク 2 とは



リモートリンク 2 は、外出先でパソコンやスマートフォン などから、本製品の「disk」、[iTunes] フォルダに保存されているファイルにアクセスできる機能です。

※新規で作成された共有フォルダは、リモートリンク 2 の公開対象フォルダに設定することはできません。

ご注意

- ご利用にはプロバイダよりグローバル IP が配布される環境が必要です。
- 複数のルーターが存在している環境ではご利用いただけない場合があります。
- 本製品は「iobb.net」以外のダイナミック DNS サービスには対応していません。
- アクセスしようとしているサーバーと同じ LAN 内でのパソコンからはドメイン名ではアクセスできません。外部の別のネットワークからドメイン名でアクセスできる事をご確認ください。
サーバーと同じ LAN 内から接続する場合には、ローカル IP アドレスでアクセスしてください。
- リモートリンク 2 機能をご利用になる場合は、FTTH(光)、ADSL、CATV 等のブロードバンド回線をご用意ください。
- 高ビットレートの動画コンテンツ (8Mbps 以上) は正常に再生できない場合があります。
- リモートリンク 2 機能は、お客様のご利用環境、通信環境、接続回線の混雑状況により映像が乱れる、途切れる、見えない等の品質劣化が生じる場合があります。あらかじめご了承ください。
- ルーターの設定を変更、または再起動をした場合、本製品を再起動する必要があります。

再生または開くことができるファイル形式再生または開くことができるファイル形式

	ブラウザ版 (画面左下のプレビュー可能な形式)	iOS 版 再生可能な形式 (フォトビューア)	Android 版 再生可能な形式 (フォトビューア)
対応機器	Internet Explorer7/8/9 以降 Safari 3.0 以降	iOS4.2 以降 iPhone 4/3GS/3G iPad2/iPad iPod Touch 4G/3G/2G	Android 2.1 以降 動作確認済み機器は弊社ホームページ ご覧ください。(http://www.iodata.com)
画像ファイル	jpg, jpeg, png, gif, bmp	jpg, jpeg, png, gif	jpg, jpeg, png, gif, bmp
音楽ファイル	mp3, wav	mp3, m4a, wav	mp3, m4a, wav, midi, ogg ※お使いの端末にインストールしたプ レイヤーにより異なる場合がありま す。
動画ファイル	flv	mov, mp4, m4v, 3gp	mp4, m4v, 3gp ※お使いの端末にインストールしたプ レイヤーにより異なる場合がありま す。
ドキュメントファイル	ブラウザで直接閲覧できません。 ※いったんダウンロードしてからパソ コンにインストールしたソフトで閲 覧できます。	doc, docx, xls, xlsx, ppt, pptx, pdf, txt, rtf, htm, html, vcf, key, numbers, pages	doc,xls,pdf,txt ※お使いの端末にインストールした ビューアにより異なる場合がありま す。

ご注意

- 上記形式のファイルを再生したり開く場合、お使いの機種のパレイヤープログラムを利用しています。
- お使いの機種のパレイヤーによってはファイルの再生したり開くことができない場合があります。

リモートリンク 2 の設定をする

この設定は、LAN DISK と同一 LAN 内のパソコンで操作してください。

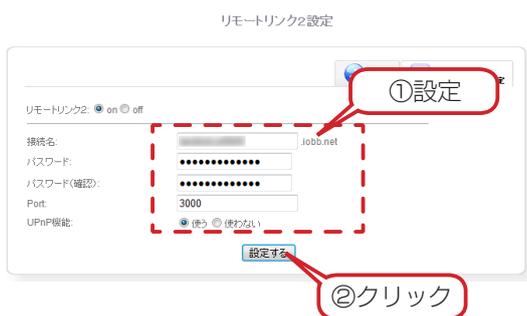
- 1 設定画面の  をクリックし、[リモートリンク 2 設定] をクリックします。



- 2 [リモートリンク 2] で、[on] を選択します。



- 3 [接続名]、[パスワード]、[パスワード(確認)]を入力し、[UPnP 機能]を[使う]にチェックします。
※ UPnP 機能を使う場合は、[Port] の設定は不要です。



以上で設定は完了です。

ご注意

- 外出先から本製品にアクセスするには、本製品にユーザー、ユーザーパスワードを登録する必要があります。あらかじめユーザー登録をしておいてください。
ユーザー登録方法は、【ユーザーを登録する】(3-20 ページ)をご覧ください。

UPnP 機能でポート設定ができない場合

- 一部環境では、お使いのルーターに対して、LAN DISK の設定画面から UPnP 機能を使用してポートが設定できないことがあります。
以下の画面のようなメッセージが表示された場合、次の【対処】をしてください。



【対処】

- ① 設定画面の [リモートリンク 2 設定] を開きます。
- ② [Port] ポート番号を確認します。(初期値：3000)
- ③ [UPnP 機能] を [使わない] に変更します。
- ④ [設定する] ボタンをクリックします。



- ⑤ [機器情報] で本製品の [IP アドレス] を確認します。



- ⑥ ご利用のルーターにて、本製品の IP アドレスに対して、②で確認したポート番号 (初期値：3000) を開放する設定をします。
※ 設定方法は、ルーターの取扱説明書、または、ルーターメーカーにご確認ください。
※ [ポートの開放] は、ルーターにより [ポートフォワーディング] や [仮想サーバー] などと表記される場合があります。
これで設定は完了です。

外出先のパソコンからアクセスする

以下は、外出先などのリモートアクセスするパソコンで操作します。

アクセスする前に、Web ブラウザーのキャッシュおよび cookie のクリアをしておくことをおすすめします。

アクセスする

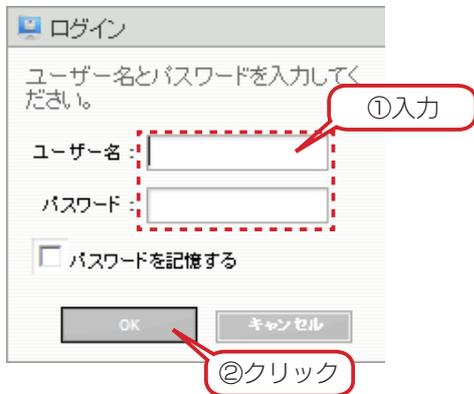
1 製品添付の【セットアップガイド】内【Windows から設定する (LAN 接続)】で、デスクトップに作成された [Remote Link 2] を起動します。
※ Mac OS など、アイコンがない場合は、
<http://rm2.iobb.net> にアクセスします。



2 設定画面の [リモートリンク 2] で設定した接続名を入力し、[接続する] ボタンをクリックします。



3 ユーザー登録にて登録した [ユーザー名] と [パスワード] を入力し、[OK] ボタンをクリックします。



ユーザー名 パスワード	本製品の設定画面の [ユーザー作成] で設定した [ユーザー名] と [パスワード] を入力します。
----------------	--

ユーザー情報

ユーザー名
説明
パスワード
パスワード(確認)

設定する キャンセル

ご注意

●パスワードは、[リモートリンク 2] で登録したパスワードとは異なりますのでご注意ください。

以下の画面が表示されたら、本製品へアクセスできました。



Adobe Flash Player について

リモートリンク 2 機能をご利用になる場合は、「Adobe Flash Player」がパソコンにインストールされている必要があります。画面上部にエラーが表示された場合は、「Adobe Flash Player」をインストールしてください。

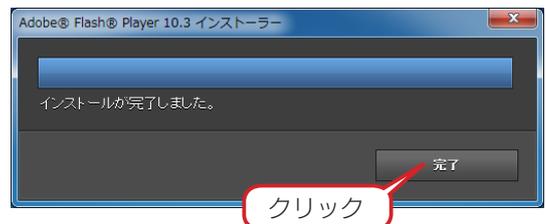
①メッセージ部分をクリックします。



②使用許諾契約を確認の上、[同意しました] にチェックし、[インストール] をクリックします。



③以下の画面が表示されたら、[完了] ボタンをクリックします。



以上でインストールは完了しました。再度アクセスし、メッセージが表示されていないことを確認してください。

ファイルをアップロード / ダウンロードする

パソコン本体のファイルを本製品にアップロードしたり、本製品の[disk]フォルダーに保存されているファイルを外出先のパソコンにダウンロードすることができます。

アップロード	外出先のパソコンから本製品にファイルを転送する
ダウンロード	公開フォルダー内のファイルを外出先のパソコンに保存

ご注意

- ファイル名が同じの場合は、上書き保存されますので、ご確認の上保存してください。

▼アップロードする場合

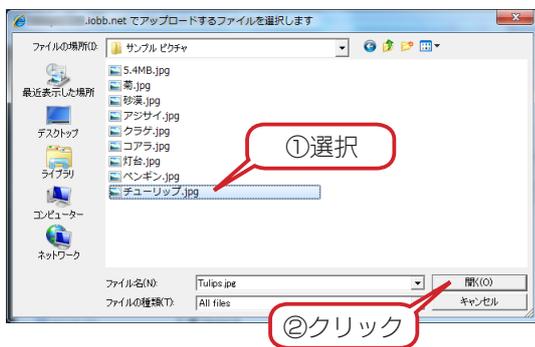
1 [アップロード] ボタンをクリックします。



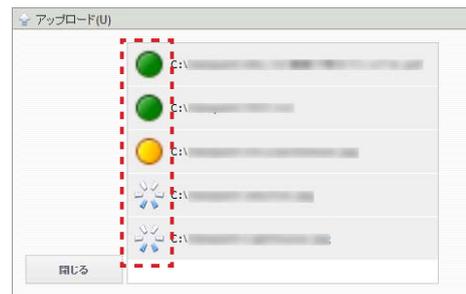
2 [お使いのコンピューターを閲覧] ボタンをクリックします。



3 アップロードするファイルを選択し、[開く] ボタンをクリックします。



4 [アップロード] ボタンをクリックすると、アップロードを開始します。ファイル名左側のボタンが黄色から緑に変わると、アップロードは完了です。



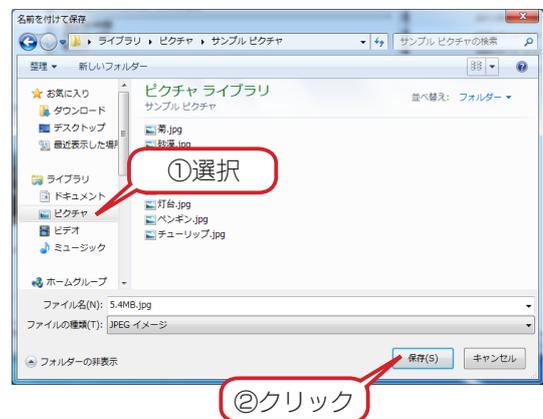
これでアップロードは完了です。

▼ダウンロードする場合

1 ダウンロードするファイルを選択し、[ダウンロード] ボタンをクリックします。



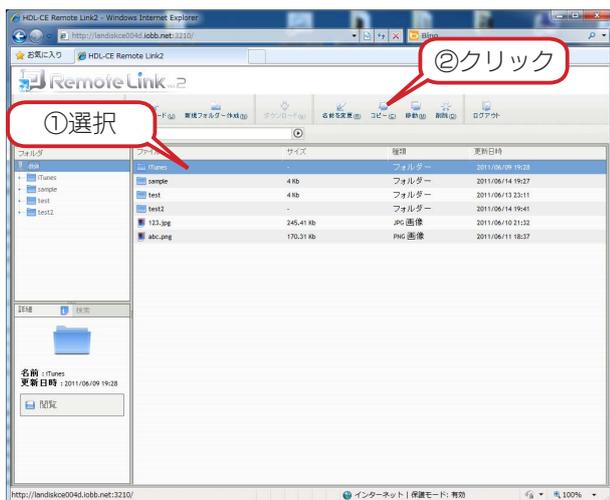
2 保存先を指定し、[保存] ボタンをクリックします。



これでダウンロードは完了です。

ファイルをコピーする

- 1 コピーするファイルを選択し、[コピー] ボタンをクリックします。



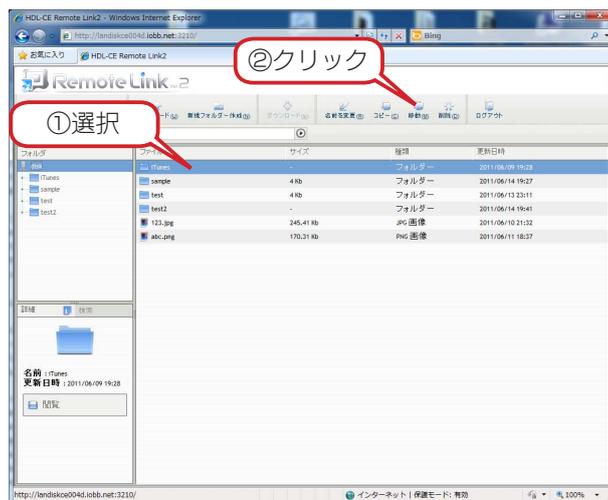
- 2 コピー先のフォルダーを選択し、[OK] ボタンをクリックします。



これでファイルのコピーは完了です。

ファイルを移動する

- 1 移動するファイルを選択し、[移動] ボタンをクリックします。

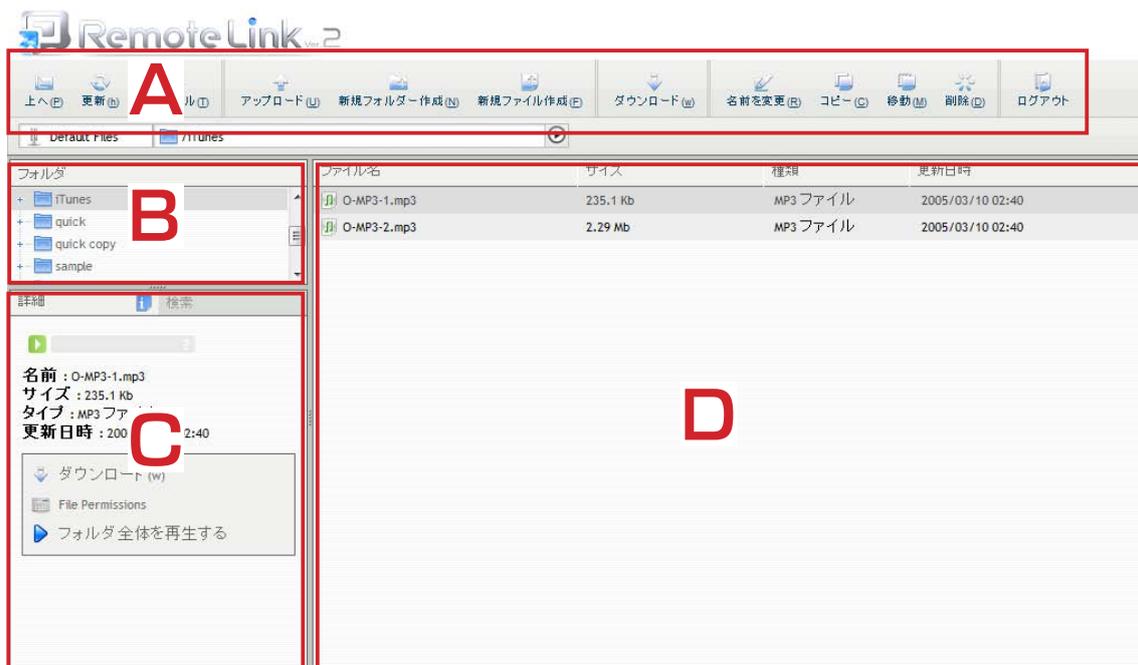


- 2 移動先のフォルダーを選択し、[OK] ボタンをクリックします。



これでファイルの移動は完了です。

[リモートリンク 2] 画面のリファレンス (パソコンの場合)



A 機能アイコン	上へ	ひとつ上のフォルダーを表示します。
	リフレッシュ	表示内容を最新の状態に更新します。
	リスト/サムネイル	表示状態を、リスト/サムネイルに切り替えることができます。
	アップロード	パソコンに保存されているファイルを本製品にアップロードします。
	新規ディレクトリ作成	本製品の共有フォルダー (disk フォルダ) 内に、新規フォルダーを作成します。
	新規ファイル作成	テキストファイルを作成することができます。
	ダウンロード	本製品に保存されているファイルをパソコンにダウンロードします。
	名前を変更	フォルダーやファイルの名前を変更します。
	コピー	ファイルのコピーを作成します。
	移動	ファイルを別のフォルダーに移動することができます
	削除	ファイルを削除します。
ログアウト	ログアウトします。	
B フォルダ表示		[disk] フォルダの内部をツリー形式で表示させます。
C ファイル操作画面	詳細タブ	ファイルの詳細を表示します。画像の場合はサムネイルを表示したり、ファイルに対する操作もここから行えます。
	検索タブ	ファイル名や拡張子などで、ファイルの検索ができます。
D ファイル表示		フォルダ表示で選択されているフォルダの内部を表示します。

iPhone、iPad からアクセスする

以下は、リモートアクセスする iPhone、iPad で操作します。

アプリを入手する

AppStore から「Remote Link 2 for CE」アプリをインストールします。

1 [AppStore] アイコンをタップします。



2 [iodata] で検索し、[Remote Link 2 for CE] をインストールします。



これでインストールは完了です。

外出先からアクセスするために登録する

ここでは、外出先から本製品にアクセスするために、[Remote Link 2] で追加する方法について説明しています。

1 [Remote Link 2 for CE] アイコンをタップします。



2 [Remote Link 2] をタップします。



3 本製品で設定した内容を入力し、[完了] をタップします。



接続先	本製品の設定画面の [Remote Link 2] で設定した [接続名] を入力します。 
ユーザー名 パスワード	本製品の設定画面の [ユーザー作成] で設定した [ユーザー名] と [パスワード] を入力します。 

接続先に本製品（LAN DISK の名前）が表示されます。
これで本製品を接続先に追加できました。

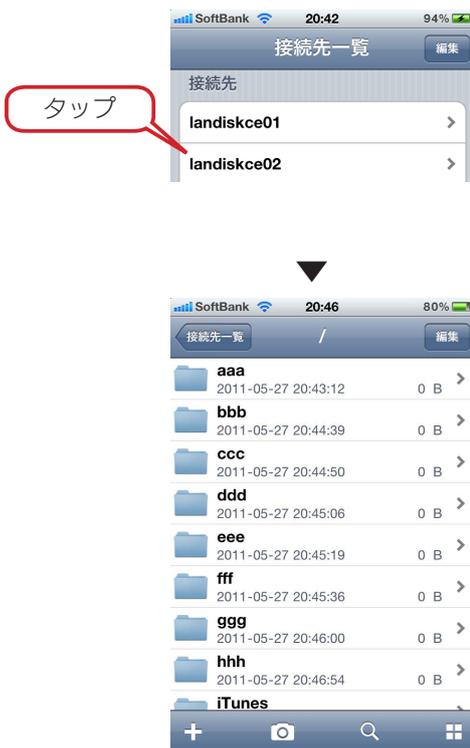


外出先からアクセスする

1 [Remote Link 2 for CE] アイコンをタップします。



2 登録した接続先をタップします。



これで、本製品へアクセスできました。
ファイルをタップすると、再生できます。

本製品と同じ LAN 内で使用するために登録する

ここでは、自宅など、本製品と同じ LAN 内で使用する場合は、
[自動設定] をおこないます。
※無線 LAN 環境が必要です。

1 [Remote Link 2 for CE] アイコンをタップします。



2 [自動設定] をタップします。



3 自動検索された「LANDISK-xxxxxx」をタップします。
※ xxxxxx は、MAC アドレスの下 6 桁です。
※本製品の [LAN DISK の名前] を変更した場合は、変更後の
名前が表示されます。



4 [ユーザー名]、[パスワード] を入力し、[OK] をタップします。



ユーザー名 パスワード 本製品の設定画面の [ユーザー作成] で設定した [ユーザー名] と [パスワード] を入力します。



接続先に本製品（LAN DISK の名前）が表示されます。
これで本製品を接続先に追加できました。



本製品と同じ LAN 内からアクセスする

1 [Remote Link 2 for CE] アイコンをタップします。



2 登録した接続先をタップします。



これで、本製品へアクセスできました。
ファイルをタップすると、再生できます。

ファイルをアップロードする

iPhone、iPad で撮った写真を本製品にアップロード
(iPhone、iPad から本製品にファイルを転送) できます。

1 画面下の  をタップします。
→アップロード先のフォルダー画面を開きます。

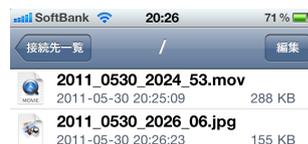


2 アップロードするファイルを選択し、画面の指示にしたがいます。



写真またはビデオを撮影	今すぐ写真やビデオを撮影して、アップロードします。
カメラロールから選択	iPhone や iPad に保存されている写真をアップロードします。

これで、本製品へアップロードは完了です。
アップロードしたファイルは、アップロードした日付時刻の
ファイル名で表示されます。



ファイルダウンロードする

本製品の [disk] フォルダに保存されているファイルを iPhone、iPad にダウンロード（公開フォルダ内のファイルを保存）することができます。

1 [編集] ボタンをタップします。



2 ダウンロードするファイルをタップします。



3 [ダウンロード] ボタンをタップします。



これで、ダウンロード完了です。

ダウンロードしたファイルは、メニュートップの [ダウンロードしたファイル] をタップすると表示されます。



[リモートリンク 2] 画面のリファレンス (iPhone、iPad の場合)

メイン画面



▼接続先

登録した本製品のリストが表示されます。

項目	内容
接続先の追加	接続先の追加方法は、「新しい接続の追加」をご確認ください。
HDL-CE へ接続	登録した本製品のリストから、接続する本製品をタップします。 本製品に接続すると、ユーザー名とパスワードの入力画面が表示されます。本製品の共有フォルダーにアクセス可能なユーザー名とパスワードを入力すると、本製品の [disk] フォルダーに保存したファイルにアクセスできるようになります。
接続先の削除	接続先を削除するには、「接続先一覧」画面右上の [削除] ボタンをタップし、削除する接続先の  ボタンをタップし、[削除] ボタンをタップします。

▼ダウンロードしたファイル

iPhone, iPod Touch, iPad にダウンロードして保存したファイルが表示されます。保存したファイルをタップすると開くことができます。

▼新しい接続の追加

項目	内容	
RemoteLink2	接続する本製品の「Remote Link 2」設定画面で登録した「ホスト名」を入力すると、登録できます。	
自動設定	LAN 内の本製品を自動的に検出します。 接続先として登録する本製品をタップし、「自動設定」画面の右上にある [完了] ボタンをタップすると登録できます。ここで登録した接続先は LAN 内でのみアクセスできます。	
手動設定	接続先として登録する本製品の [接続名]、[ホスト名]、[ポート番号] を手動で入力します。	
	接続名	接続先リストに表示される文字列を設定します。
	ホスト名	接続先として登録する本製品の「Remote Link 2」設定画面で設定した「ホスト名」、または、IP アドレスを入力します。 IP アドレスを設定した場合は、LAN 内でのみアクセスできます。
ポート番号	接続先として登録する本製品の「Remote Link 2」設定画面で設定した「ポート番号」を入力します。	

▼その他

「Remote Link 2 for CE」についての情報が表示されます。

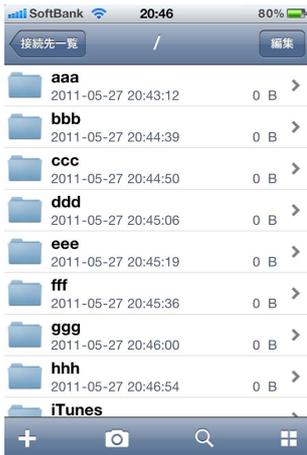
項目	内容
Help	ヘルプを表示します。
About	バージョン情報を表示します。

ファイルリスト画面



項目	内容	
接続先一覧	タップすると接続先一覧画面（起動画面）に戻ります。	
編集	タップすると編集モードに入ります。編集モードでは、ファイルやフォルダーに対して次の操作ができます。	
	ファイルやフォルダーの削除	削除するファイルやフォルダーの  ボタンをタップし、[削除] ボタンをタップします。
	名前の変更	フォルダー名の入力画面が表示されます。フォルダー名の変更ができます。
	フォルダーの操作	コピー
移動	フォルダーの選択画面が表示されます。フォルダーの移動先を選択し、[完了] をタップすると、フォルダーが移動します。	

ファイルリスト画面 (つづき)



項目	内容	
ファイルの操作	名前の変更	ファイル名の入力画面が表示されます。ファイル名の変更ができません。
	コピー	フォルダーの選択画面が表示されます。ファイルのコピー先を選択し、[完了]をタップすると、ファイルがコピーされます。
	移動	フォルダーの選択画面が表示されます。ファイルの移動先を選択し、[完了]をタップすると、ファイルが移動されます。
	ダウンロード	ファイルのダウンロードが開始されます。 ダウンロードしたファイルは、iPhone, iPod Touch, iPadに保存されます。 本アプリ起動画面の[ダウンロードしたファイル]をタップすると、リストが表示されます。 ダウンロード可能なファイルサイズは20MB未満です。
	共有	※画像ファイル選択時のみ表示されます。 選択した画像ファイルをe-Mailで送信、または、Facebookに送信し、Facebookで共有することができます。Facebookに送信するには、Facebookのアカウントの入力が必要です。
フォルダー追加	画面下の + ボタンをタップすると、フォルダー名の入力画面が表示されます。 作成するフォルダー名を入力して [OK] ボタンをタップすると、フォルダーが作成されます。	
	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content;"> <p>フォルダー名を入力してください。</p> <p>Name <input style="width: 100%;" type="text"/></p> <p>Cancel OK</p> </div>	
ファイルのアップロード	画面下の 📷 ボタンをタップすると、写真またはビデオを撮影、またはカメラロールから選択し、本製品にアップロードすることができます。	
表示ファイル種別	画面下の 🔍 ボタンをタップすると、選択したファイル種別のみ表示できます。 [すべてのファイル]、[写真] ファイルのみ、[音楽] ファイルのみ、[ビデオ] ファイルのみを設定できます。	
サムネイル表示	画面下の 🖼️ ボタンをタップすると、現在のフォルダーに保存された写真ファイルのサムネイルを表示することができます。 サムネイル表示の状態、サムネイルアイコンをクリックすると、スライドショーモードになります。スライドショー表示間隔はデフォルト 3 秒です。 ※スライドショー表示間隔を変更するには、iOS の [設定] を開き、[Remote Link 2 for CE] → [SlideShow Speed] でお好みの速度に設定してください。	
		前の写真に戻ります。
		スライドショーを開始します。
		次の写真に進みます。

Android 端末からアクセスする

以下は、リモートアクセスする Android 端末で操作します。

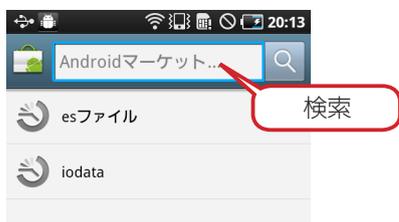
アプリを入手する

AndroidMarket から「Remote Link 2 for CE」アプリをインストールします。

1 マーケットアイコンをタップします。



2 [iodata] で検索し、[Remote Link 2 for CE] をインストールします。



これでインストールは完了です。

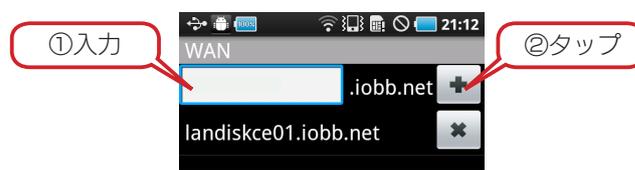
外出先からアクセスするために登録する

ここでは、外出先から本製品にアクセスするために、あらかじめ設定しておきます。

1 [Remote Link 2 for CE] アイコンをタップします。



2 本製品で設定した接続先を入力し、[+] をタップします。



接続先	本製品の設定画面の [Remote Link 2] で設定した [接続名] を入力します。 リモートリンク2設定 リモートリンク2: ● on ○ off 接続名: [redacted] .iobb.net パスワード: ●●●●●●●● パスワード(確認): ●●●●●●●● Port: 3000 UPnP機能: ● (使) ○ (使わない)
-----	--

[WAN] に本製品 (LAN DISK の名前) が表示されます。
これで本製品を接続先に追加できました。

外出先からアクセスする

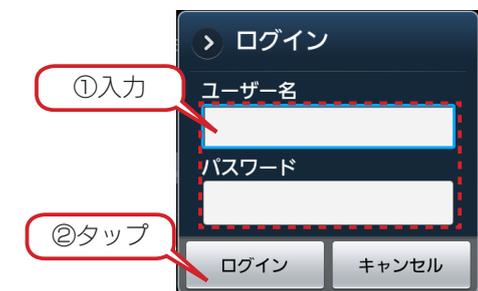
1 [Remote Link 2 for CE] アイコンをタップします。



2 登録した接続先をタップします。



3 [ユーザー名]、[パスワード]を入力し、[ログイン]をタップします。



ユーザー名 パスワード	本製品の設定画面の[ユーザー作成]で設定した[ユーザー名]と[パスワード]を入力します。
----------------	--

これで、本製品へアクセスできました。
ファイルをタップすると、再生できます。

本製品と同じ LAN 内からアクセスする

自宅など、本製品と同じ LAN 内で使用する場合に使用します。
※無線 LAN 環境が必要です。

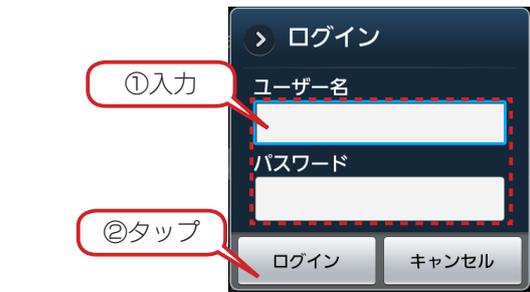
1 [Remote Link 2 for CE] アイコンをタップします。



2 [LAN] に表示されたアクセスする本製品の LANDISK 名をタップします。



4 [ユーザー名]、[パスワード]を入力し、[ログイン]をタップします。



ユーザー名 パスワード	本製品の設定画面の[ユーザー作成]で設定した[ユーザー名]と[パスワード]を入力します。
----------------	--

これで、本製品へアクセスできました。
ファイルをタップすると、再生できます。

ファイルをアップロードする

Android 端末で撮った写真を本製品にアップロード (Android 端末から本製品にファイルを転送) できます。

- 1 [NAS] タブをタップし、アップロード先のフォルダを表示させます。



- 2 [ローカル] タブをタップします。



- 3 アップロードするファイルにチェックを付け、ボタンをタップします。
※複数選択できます。



これで、アップロードは完了です。

ファイルダウンロードする

本製品の [disk] フォルダに保存されているファイルを Android 端末にダウンロード (公開フォルダ内のファイルを保存) することができます。

- 1 [NAS] タブをタップします。

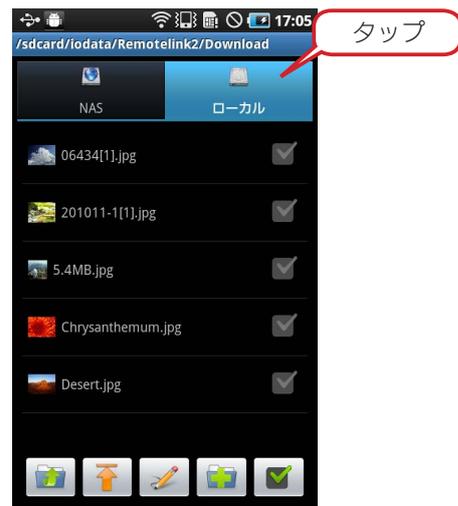


- 2 ダウンロードするファイルをチェックし、ボタンをタップします。
※複数選択できます。



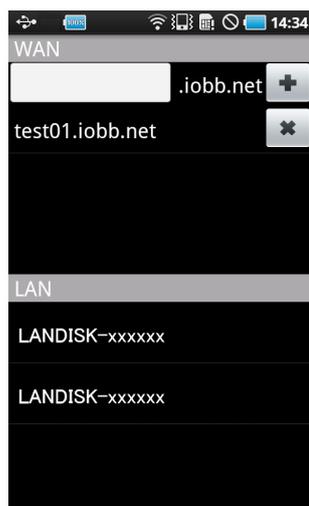
これでダウンロードは完了しました。

ダウンロードしたファイルは [ローカル] タブをタップすると表示されます。



[リモートリンク 2] 画面のリファレンス (Android 端末の場合)

メイン画面



▼ WAN

登録した本製品のリストが表示されます。

項目	内容
接続先の登録	接続する本製品の「Remote Link 2」設定画面で登録した[ホスト名]を入力し、 ボタンをタップすると、接続先リストに登録することができます。
HDL-CE へ接続	登録した本製品のリストから、接続する本製品をタップします。 共有フォルダーにアクセス可能なアカウント（ユーザー名とパスワード）を入力すると、[disk] フォルダーにアクセスできるようになります。
接続先の削除	接続先を削除するには、接続先リストの削除する接続先の ボタンをタップします。

▼ LAN

LAN 内の本製品を、自動的に検出します。

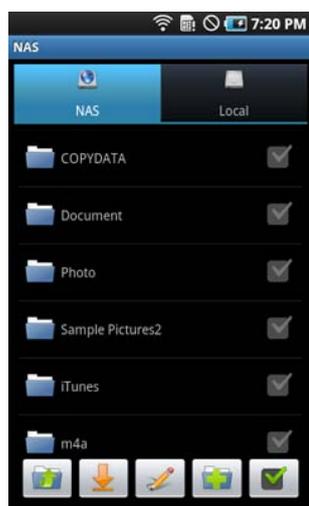
項目	内容
LAN 内の HDL-CE へ接続	接続する本製品をタップし、共有フォルダーにアクセス可能なアカウント（ユーザー名とパスワード）を入力すると、[disk] フォルダーにアクセスできるようになります。 ここで表示された接続先は LAN 内でのみアクセスできます。

▼その他

「Remote Link 2 for CE」についての情報が表示されます。

項目	内容
Help	ヘルプを表示します。
About	バージョン情報を表示します。

ファイルリスト画面



▼デバイス選択

項目	内容
NAS	現在接続している本製品のファイルリストを表示します。
ローカル	Android 端末に保存されているファイルリストを表示します。

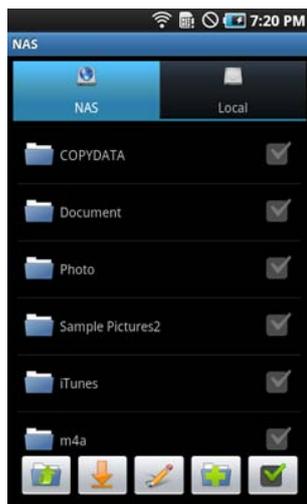
▼ファイルリスト

項目	内容
再生 開く	ファイルリストから、ビデオ、音楽、画像ファイルを選んでタップすると再生できます。 また、テキストファイルや Microsoft Office ファイル、PDF ファイルを開くこともできます。 再生や、開くことができるファイル形式については、【再生または開くことができるファイル形式再生または開くことができるファイル形式】(5-30 ページ) をご覧ください。
共有	ファイルリストでファイル名をプレス（長押し）すると、そのファイルを E-Mail に添付、または Facebook に送信することができます。Facebook に送信するには、Facebook のアカウントの入力が必要です。

▼ボタン

項目	内容
戻る	ひとつ上のフォルダーに戻ります。
ダウンロード	接続した本製品に保存されているファイルを Android 端末の SD カードにダウンロードできます。
アップロード	Android 端末に保存されているファイルを、接続した本製品にアップロードできます。

ファイルリスト画面 (つづき)



▼ボタン

項目	内容
	以下の操作を行うことができます。
 コピー	ファイルリストで、ファイルやフォルダーにチェックをつけ、ボタンをタップし、[コピー]をタップします。 このあと、コピー先フォルダーに移動してからボタンをタップし、[貼り付け]をタップすると、選択したファイルやフォルダーをコピーできます。
 編集	 切り取り
	ファイルリストで、ファイルやフォルダーにチェックをつけ、ボタンをタップし、[切り取り]をタップします。 このあと、移動先フォルダーに移動してからボタンをタップし、[貼り付け]をタップすると、選択したファイルやフォルダーを移動できます。
	 貼り付け
	[コピー]または、[切り取り]をご覧ください。
	 削除
	ファイルリストで、ファイルやフォルダーにチェックをつけ、ボタンをタップし、[削除]をタップすると、選択したファイルやフォルダーを削除できます。
	 名前の変更
	ファイルリストで、ファイルやフォルダーにチェックをつけ、ボタンをタップし、[名前の変更]をタップすると、名前を入力画面が表示され、ファイル名やフォルダー名の変更ができます。
 フォルダーの新規作成	フォルダー名を入力画面が表示され、作成するフォルダー名を入力して [OK] ボタンをタップすると、フォルダーが作成されます。
 すべて選択	現在表示されているファイルリストのすべてのファイル、フォルダーを選択状態 (チェックをつける) にします。

ピクチャーリスト表示



表示する画像ファイルをファイルリストでタップするとピクチャーリスト表示します。

ピクチャーリスト表示は、プレビューエリアとサムネイルエリア (画面下) があります。

プレビューエリアでは現在選択されている画像ファイルを表示します。

サムネイルエリアでは、現在選択されているフォルダーにあるすべての画像ファイルのサムネイルを表示します。

▼スライドショーモード

ピクチャーリスト表示の状態、Android 端末のメニューボタンをタップすると、以下のメニューが表示されます。

項目	内容
スライドショー開始	スライドショーを開始します。
スライドショー停止	スライドショーを停止します。
スライドショー表示間隔の設定	スライドショーの表示間隔を設定します。

iTunes サーバーとして利用する

iTunes サーバー

iTunes サーバーとは、本製品の [iTunes] フォルダに保存されている音楽ファイルを、iTunes をインストール済みのネットワーク接続されたパソコン上で再生することができます。

●本製品に必要な iTunes

Windows の場合 iTunes7 以降

Mac OS X の場合 iTunes7 以降または 6.0.5

iTunes は apple 社のホームページ (<http://www.apple.com/jp/itunes/download/>) より入手することができます。

● iTunes Server で公開できるファイルフォーマット

本製品は以下のファイル拡張子のファイルのみ可能です。

種類	ファイル拡張子
音楽	mp3 m4a

*ファイルによっては、上記ファイル拡張子でも再生できない場合があります。

ご利用になる前に、以下をご確認ください。

ご注意

- 公開しているフォルダ内のファイル数は、合計 1 万ファイル以内でご利用ください。
- 公開しているフォルダ内にファイルの追加・削除を行った場合、最新状態を iTunes に反映するには、データベースの更新操作が必要です。データベースの更新中は、iTunes から再生できません。
- 公開する共有に含まれるファイル数が多い場合には、iTunes からの接続に時間がかかる場合があります。
- iTunes 再生中に本製品上の再生中のファイルや、ファイルのある共有フォルダを削除したり移動させたりしないでください。
- 同時再生を行ったり、再生中にパソコンから本製品へファイルコピーなどの操作をした場合やバックアップ処理などが起動している場合、再生するファイルによっては動画がコマ落ちしたり、音とびしたりすることがあります。
- MP3 の ID3 タグ情報の文字は、UTF-16 のエンコーディングに対応しています。
UTF-16 以外の形式でエンコードされた ID3 タグ情報は、iTunes 上で曲名、アーティスト名、アルバム名などの情報が文字化けして見える場合があります。

iTunes サービスを無効にする場合

iTunes サービスを使用しない場合は、以下の手順に無効にできます。

①設定画面の  をクリックします。

② [iTunes] をクリックします。

③ [off] を選択します。

④ [設定する] をクリックします。

これで設定は完了です。



iTunes から再生する

本製品は出荷時すでに iTunes サービスを有効に設定されていますので、iTunes で再生したい音楽ファイルを [iTunes] フォルダに保存するだけで再生できます。

iTunes からアクセスする

ご注意

- iTunes で本製品が表示されない
 - iTunes に表示されない、あるいは、再生できないファイルがある
- 【iTunes に表示されない、あるいは、再生できないファイルがある】(14-100 ページ) をご覧ください。

1 本製品と同じネットワークに接続されたパソコンの iTunes を起動します。

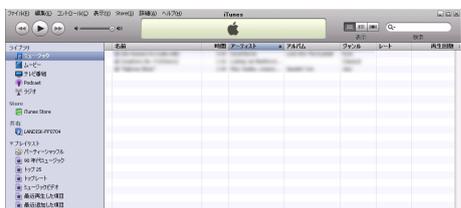
2 iTunes が起動し、自動的に本製品の LAN DISK の名前が iTunes の共有に表示されることを確認します。



ご注意

LAN DISK の名前を変更している場合は、変更した名前が表示されます。

3 iTunes に表示された LAN DISK の名前をクリックすると、本製品の iTunes サーバー機能で公開されている音楽ファイルが表示されます。



曲名をダブルクリックするとパソコンで音楽ファイルを再生します。

iTunes のライブラリを本製品にコピーする場合

- ① iTunes の [編集] → [設定] をクリックします。
- ② [詳細] タブ / アイコンをクリックします。
- ③ [iTunes Music フォルダ] の [変更] ボタンをクリックし、[ライブラリへの追加時にファイルを [iTunes Media] フォルダにコピーする] にチェックします。
- ④ [マイネットワーク] で本製品を選び、データ保存先に設定します。

これで iTunes のライブラリを本製品にコピーされました。今後は iTunes に追加された音楽ファイルが、自動的に本製品にも追加保存されます。

さらに、「ライブラリの統合」を行えば、設定変更前に保存されていたデータも LAN DISK 上にまとめることができます。

iTunes フォルダを更新する

iTunes フォルダに新しくファイルを追加した場合は、以下の手順にてフォルダの更新をしてください。

1 設定画面の  をクリックします。

2 [iTunes] をクリックします。

3 [更新] ボタンをクリックします。



これで更新は完了です。

USB 機器を共有する (net.USB)

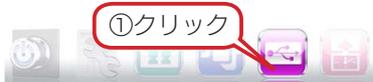
「net.USB」は本製品に接続したプリンターやスキャナーなどのUSB 機器をネットワークで共有することができるソフトウェアです。

net.USB を使えるようにする

● net.USB を有効にする

出荷時 USB[HOST] ポートの動作モードは、[無効] に設定されています。以下の手順でポートの設定を変更してください。

- 1 設定画面の  をクリックし、[USBポート] をクリックします。



- 2 「net.USB」を選択し、[設定する] ボタンをクリックします。



これで設定は完了です。

● net.USB をパソコンにインストールする

- 1 弊社ホームページ (<http://www.iodata.jp/lib/>) より「net.USB」を検索し、クライアントソフトをダウンロードします。
- 2 ダウンロードしたファイルを起動し、画面の指示にしたがってパソコンにインストールします。

これでインストールは完了です。

net.USB を利用する

ご注意

- ご利用になる USB 機器によっては、ドライバーのインストールが必要な場合があります。
USB 機器の取扱説明書をご確認の上、あらかじめパソコンと USB 機器を接続してから、ご利用ください。

1 USB[HOST] ポートに USB 機器を接続します。



2 インストールした [net.USB] を起動します。 [スタート] → [すべてのプログラム] (または [プログラム]) → [I-O DATA] → [net.USB] を順にクリックします。

※ net.USB の使い方は、画面で見るマニュアルをご覧ください。(ダウンロードファイル内 [MANUAL] → [net.USB] フォルダ内の [index.htm] をダブルクリックして表示します。)



ハードディスクをチェックする

チェックディスクでチェックする

チェックディスクは、ファイルシステムに論理的な障害が発生していないか検査し、修復を行います。
本製品のチェックディスクは LAN 接続モード時のみ行えます。

ご注意

- チェックディスク中は本製品をパソコンから取り外さないください。
- チェックディスクを中断することはできません。
- チェックディスク中はアクセスできません。スケジュールバックアップとチェックディスクを同時に実行しないようにご注意ください。

動作異常を感じる場合

- 万一に備えて、データのバックアップを取ってからチェックディスクを実行してください。

- 1 設定画面の  をクリックし、[ドライブ情報] をクリックします。



①クリック



- 2 [チェックディスク]の[開始]ボタンをクリックします。
→チェックを開始します。



- 3 チェックディスクが完了したら、画面右上にメッセージが表示されます。



以上でチェックディスクは完了しました。

システムを管理する

管理者パスワードを変更する

管理者は本製品の設定画面にアクセスできる権限を持っています。
ここでは、パスワードの変更手順について説明します。

ご注意

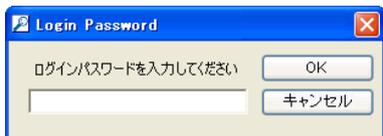
- パスワードは忘れないようしっかり管理しましょう。設定したパスワードを忘れた場合、確認する方法はありません。
設定したパスワードを忘れてしまった場合には、本製品側面の [RESET] ボタンでリセットしないと使用できなくなります。
【IP アドレス、管理者パスワードのみを出荷時設定に戻す】(10-61 ページ)
- 出荷時は、パスワード設定されていません。

管理者パスワードは以下の場合に使用します。

- ・本製品の設定画面を開く場合



- ・「Magical Finder」から「IP 設定」画面を開く場合



- 1 設定画面の  をクリックし、[一般設定] をクリックします。



- ①クリック



- 2 [パスワード]と[パスワード(確認)]にパスワードを入力し、[設定する] ボタンをクリックします。



ご注意

- パスワードで使用できる文字には、以下の制限があります。
【文字制限一覧】(12-68 ページ) をご覧ください。
- 入力するパスワードは、「●●●●●●」と表示され、確認できませんので、お間違えないようご注意ください。

これで管理者用パスワードの設定は完了です。

ファームウェアを更新する

ここでは、ファームウェアの更新手順について説明します。

ファームウェアの更新（アップデート）には、新しい機能の追加のほかにも装置の修正など、重要な更新が含まれます。

定期的に弊社サポート・ライブラリ (<http://www.iodata.jp/lib/>) を確認し、最新のファームウェアで本製品をご利用ください。

ご注意

- ファームウェアを更新する際は、内蔵ディスクの空き容量が100Mバイト以上であることを確認してください。
- ファームウェアを更新する際は、パソコンのファイアウォールの設定を解除してください。解除されていないと、正常に更新できない場合があります。
- 完全にファームウェアを更新するために、本製品にアクセスしているユーザーがいないことを確認するか、パソコンと本製品を1対1で接続して実行してください。
- ファームウェアの更新中は本製品の電源を切らないでください。更新中に電源を切ると、本製品を破損する恐れがあります。
- ファームウェアバージョンを以前のバージョンに戻すことはできません。

1 ファームウェアをダウンロードします。
ファームウェアは以下の弊社ホームページよりダウンロードできます。
<http://www.iodata.jp/product/hdd/lanhdd/hdl-coe/support.htm>

2 設定画面の  をクリックし、[ファームウェアの更新] をクリックします。

ファームウェアの更新



①クリック



3 [ブラウザ] ボタンをクリックして、ダウンロードしたファームウェアのファイル名を選択し、[ファームウェアの更新] ボタンをクリックします。
本製品のSTATUSランプが点滅を開始します。
更新後、本製品が再起動します。
※ファームウェアのファイルサイズおよび本製品の状態により変化しますが、5～6分程度かかります。

ファームウェアの更新



更新後の確認方法

1 STATUSランプが点灯状態に戻ったことを確認後、設定画面を開き直します。

2 設定画面の  をクリックし、[機器情報] をクリックします。



3 現在のファームウェアのバージョン表示が新しいバージョンであることを確認します。

これでファームウェアの更新は完了です。

ご注意

- ファームウェアの更新後、本製品は自動的に再起動します。再起動完了時、DHCPサーバーのあるネットワーク環境では、STATUSランプ（緑色）が点灯します。DHCPサーバーのないネットワーク環境や、DHCPサーバーからのIPアドレス取得に失敗すると、STATUSランプが赤く点滅します。DHCPサーバーがあるのに、STATUSランプが赤く点滅している場合には、【DHCPサーバーがあるのに、STATUSランプが赤点滅している】(14-86ページ)をご覧ください。
- ファームウェアを更新後、設定画面が変更される場合がありますので、ブラウザーのキャッシュ、およびcookieのクリアを行ってください。

システムログを確認する

本製品の動作履歴がログ情報として記録されています。

- 1 設定画面の  をクリックし、[ログ情報] をクリックします。



- 2 ログ情報を確認します。
ログ内容の詳細については、【[ログ一覧](#)】(12-69 ページ)をご覧ください。

ご注意

ログ情報は、ログのサイズが一定のサイズを超えた場合に削除されます。

省電力機能を使う

ハードディスクを省電力設定にすることにより、一定時間アクセスがなければ内蔵ハードディスクの回転を停止し、消費電力を抑えることができます。

- 1 設定画面の  をクリックし、[一般設定] をクリックします。



- 2 [省電力設定時間] の設定したい時間を選択して、[確認する] ボタンをクリックします。



▼省電力設定時間

時間選択	一定時間、本製品や外付ハードディスクにアクセスがない場合に、ハードディスクの動作を停止させる機能です。この停止までの時間を変更できます。(初期値は「10分」です。)
------	--

これで省電力機能の設定は完了です。

ご注意

本製品を DHCP クライアントモードでご使用の場合、アドレスを更新する際に、内蔵ディスクがスピニングアップします。

また、ネットワークの通信中やシステム処理のためにディスクアクセスすることがあります。

DHCP サーバーのリース時間を長く設定すると、アドレス更新によるスピニングアップ間隔も長くできます。

LAN DISK の名前を変更する

LAN DISK の名前をお好きな名前に変更することができます。本製品を複数台使用するときなどに、わかりやすい名前に変更すると便利です。

- 1 設定画面の  をクリックし、[ネットワーク設定] をクリックします。



- 2 [LAN DISK の名前] を入力し、[設定する] ボタンをクリックします。



これで LAN DISK の名前の変更は完了です。

日付と時刻を設定する

1 設定画面の  をクリックし、[日付と時刻] をクリックします。



3 お住まいの地域のタイムゾーンを選択します。



4 以下のどちらかの方法で時刻を設定し、[設定する] ボタンをクリックします。



タイムサーバーと同期する場合 ※出荷時設定	[タイムサーバーと同期する] にチェックをし、タイムサーバーと時刻をあわせるタイミングを選択します。
手動で設定する場合	[設定時刻] にチェックをし、日付と時刻を入力します。 ※ [PC の時刻を設定] ボタンをクリックするとパソコンに設定されている時刻が自動的に入力されます。 ※ AC アダプターを抜くとシステム時刻が保持されません。起動時には再度時刻設定してください。

これで日付と時刻の設定は完了です。

ネットワークを設定する

- 1 設定画面の  をクリックし、[ネットワーク設定] をクリックします。



- 2 各項目を設定し、[設定する] ボタンをクリックします。
※出荷時設定では「IP アドレスを自動的に設定する」に設定されています。手動で設定する場合は、「IP アドレスを手動で設定する」にチェックし、設定してください。



LAN DISK の名前	本製品のネットワーク上で表示される名前を入力します。
ワークグループ	本製品のワークグループを入力します。
IP アドレス	本製品の IP アドレスを入力します。
サブネットマスク	本製品のサブネットマスクを入力します。
デフォルトゲートウェイ	本製品のデフォルトゲートウェイを入力します。
DNS サーバー 1	本製品の DNS サーバー 1 を入力します。
DNS サーバー 2	本製品の DNS サーバー 2 を入力します。

これでネットワークの設定は完了です。

シャットダウン / 再起動する

- 1 設定画面の  をクリックし、[再起動 / シャットダウン] をクリックします。



- ①クリック



- 2 [シャットダウン]、[再起動]を選択し、[確認] ボタンをクリックします。



これで、シャットダウンまたは再起動されます。

ランプの明るさを設定する

- 1 設定画面の  をクリックし、[一般設定] をクリックします。



- 2 [ランプの明るさ] の [低] [中] [高] を選択し、[設定する] ボタンをクリックします。



これでランプの明るさの設定は完了です。

出荷時設定に戻す

出荷時設定への戻し方

次のような場合、設定を出荷時設定（初期設定）に戻してください。

- ・本製品の IP アドレスがわからなくなった場合
- ・管理者の情報（[管理者パスワード]）がわからなくなった場合

本製品の出荷時設定への戻し方には 2 通りの方法があります。

IP アドレス、管理者パスワードのみを出荷時設定に戻す

本製品背面の [RESET] ボタンで初期化します。

万一本製品に設定した IP アドレスを忘れた場合や本製品設定時の管理者パスワードを忘れてしまった場合に行います。

初期化される項目は下記の 2 つのみです。

IP アドレス	[IP アドレスを自動的に設定する] にします。 IP アドレスを手動で設定していた場合は、最初から設定し直す必要があります。
管理者パスワード	「なし」に設定します。 管理者パスワードを設定していた場合は、最初から設定し直す必要があります。

ご注意

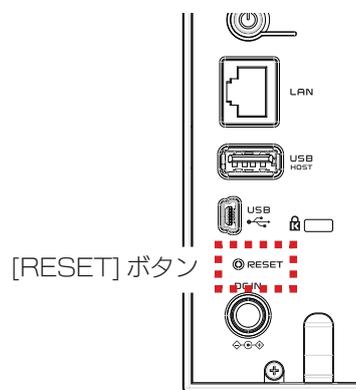
- 上記以外のすべての設定情報は変更されません。
- ハードディスク内のデータは残ります。(消去されません。)
- 初期化処理中は、本製品の電源を切らないでください。
- ネットワークに接続したまま行うことができます。

1	本製品の電源が入っていること（STATUS ランプが点灯していること）を確認します。 電源が入っていない場合は、電源を入れます。
---	---

ご注意

- 初期化は、本製品の電源が入っている状態で行います。
- STATUS ランプ点滅中には、初期化しないでください。

2	本製品背面の [RESET] ボタンを先の細いもので約 5 秒以上、STATUS ランプが点滅し、「ピッ」と音が鳴るまで押します。
---	---



3	STATUS ランプが緑点灯（DHCP サーバーがある場合）、または、赤色点滅（DHCP サーバーがない場合）すれば、初期化完了です。
---	---

IP アドレスと管理者パスワードが初期値となりますので、再度設定をやり直してください。

本製品のすべての設定を出荷時状態に戻す

設定画面の [システム初期化] で本製品のすべての設定の初期化、および、内蔵ハードディスクをフォーマットします。

※ HDL-CE2.0 の場合で約 7 分かかります。(時間は本製品の容量によって変化します。)

初期化される項目は下記のとおりです。

- すべての装置設定
- 内蔵ハードディスクの全データ

ご注意

事前にハードディスク内のデータをバックアップしてください。

※ USB 接続モード時に保存したデータも消去されます。

- 1 設定画面の  をクリックし、[システム初期化] をクリックします。



①クリック



- 2 [実行] ボタンをクリックします。
システム初期化が開始されます。
自動的に本製品の再起動を行いますので、Web ブラウザーを閉じ、本製品の STATUS ランプの点滅が終わるまでお待ちください。



ご注意

- [結果] 画面が表示された後、自動的に本製品が再起動しますが、再起動後もシステム初期化処理を続行しています。
STATUS ランプが青点灯または赤点滅状態になるまでそのまましばらくお待ちください。
- システム初期化処理中に電源を切ると、本製品が正常に起動しなくなります。
STATUS ランプが緑点灯または赤点滅状態になるまで、何も操作しないでください。

すべての設定が初期値となりますので、再度設定をやり直してください。

ランプ・ブザー別の対応

ランプやブザーによって、現在の状態や操作が正常か、あるいは、エラーが発生しているかを知ることができます。

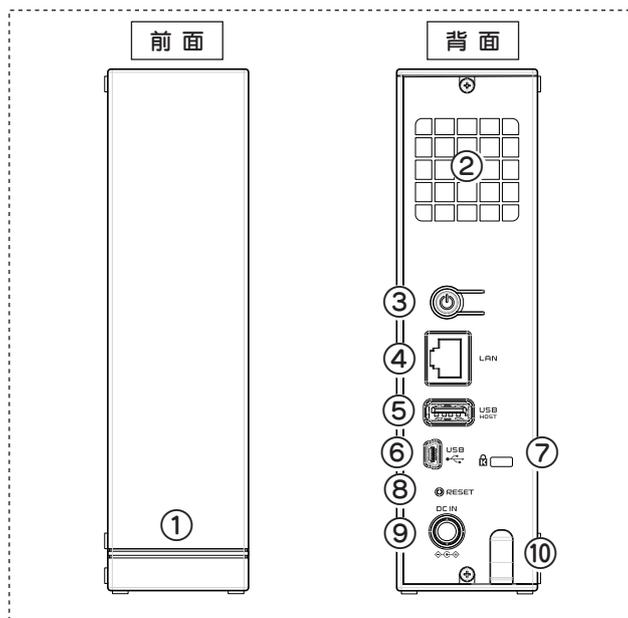
状態・操作	ブザー	LAN 接続時	USB 接続時	状態
電源コンセント接続	なし	消灯	消灯	本製品の電源が入っていない状態です。
電源投入後	なし	青点灯		電源ボタンを押した直後です。
システム起動時	なし	緑点滅	青点滅	システム起動を開始しました。
	なし	緑点滅	青点滅	システム起動中です。
	ピピピピ...	赤点滅	赤点滅	システム起動エラー状態です。 内蔵ディスクのシステムが読み取れない場合に発生します。いったん電源を切り、再度同じ状態の場合は、修理を依頼してください。
	ピー (3 回)	赤点滅	赤点滅	IP アドレス取得エラーが発生しています。手動で IP アドレスを設定してください。
	ピー	緑点灯	青点灯	正常に起動完了しました。
	ピー (3 回)	—	青点滅	高速モード (XFS) に設定されています。USB 接続ではご利用できません。
システム稼働中	なし	緑点灯	青点灯	正常に動作しています。
	なし	緑点滅	青点滅	本製品にアクセスしています。
	なし	緑点滅	—	設定変更しています。
	ピー	緑点灯	—	設定変更が正常に完了しました。
	ピー (3 回)	赤点滅	—	エラーが発生しています。設定画面「その他」→「ログ情報」をご確認ください。
	ピー (3 回)	緑点灯	—	バックアップ機能などの処理が正常に完了しました。
	ピー	緑点滅	—	リセットボタンにより、IP アドレス、パスワードを出荷時設定に戻します。
シャットダウン時	ピー	緑点滅	青点滅	シャットダウンを開始しました。
	なし	緑点滅	青点滅	シャットダウン中です。
	なし	消灯	消灯	シャットダウンが正常に完了しました。

仕様

ハードウェア仕様

LAN	転送規格	IEEE802.3ab、IEEE802.3u、IEEE 802.3 (1000BASE-T/100BASE-TX/10BASE-T)
	最大転送速度	1000/100/10Mbps
	コネクタ	RJ45 × 1
	アクセス方法	CSMA/CD
	MDI/MDI-X	自動切替
適合ケーブル	カテゴリ 5E 以上	
USB ホスト	転送規格	USB 2.0(1.1 含む)
	最大転送速度	480Mbps
	コネクタ	USB A コネクタ × 1
USB ポート	転送規格	USB2.0(1.1 含む)
	最大転送速度	480Mbps
	コネクタ	USB miniB コネクタ × 1
電源	AC 100V 50/60Hz	
消費電力	最大：32W、平均：16W	
使用温湿度範囲	5～35℃ / 20～85% (結露なきこと)	
外形寸法	45W×138D×168H ※ゴム足、突起物含まず	
質量	約 1.2kg	

各部の名称・機能



名称	機能・状態	
① STATUS ランプ	青点灯	USB 接続モードで動作中
	青点滅	USB 接続モードで処理中 (起動 / 終了 / アクセス中など)
	赤点滅	システムエラー状態 (IP アドレス取得エラー、iobb アクセスエラー、使用できない USB 機器の接続、バックアップ機能のエラー終了など)
	緑点灯	LAN 接続モードで動作中
	緑点滅	LAN 接続モードで処理中 (起動 / 終了 / 設定中など)
	消灯	電源が切れている状態
②ファン	本製品全体を冷却します。ふさがないでください。	
③電源ボタン	本製品の電源を入 / 切します。	
④ LAN ポート	添付の LAN ケーブルを接続します。	
⑤ USB [HOST] ポート	USB 機器を接続します。	
⑥ USB ポート	添付の USB ケーブルを接続します。	
⑦セキュリティスロット	盗難防止用のロックケーブルを取り付けることができます。	
⑧ [RESET] ボタン	本製品の LAN 接続モードの設定を初期化します。	
⑨ DC ジャック	添付の AC アダプターを接続します。	
⑩ケーブルフック	AC アダプターの抜け防止用フックです。引っ掛けて使用します。	

動作環境

サポート対象機種・OS

本製品は、「LAN インターフェイス及び USB ポートを搭載し、TCP/IP が正常に動作するパソコン」に対応しています。

また、以下の OS でご使用の場合のみ、サポート対象とさせていただきます。

※最新の対応機器は、弊社ホームページ (<http://www.iodata.jp/>) をご覧ください。

機種	OS
DOS/V マシン	・ Windows® 7 (32/64 ビット版) ・ Windows Vista® (32/64 ビット版) ・ Windows® XP (32 ビット版) ※ ¹
Apple Macintosh シリーズ	・ Mac OS 10.5 以降 ※ ² ※ ³

※¹ 本製品の 3.0T バイト以上の機種では、LAN 接続モードのみ対応

※² USB 接続モードは、非対応

※³ SMB 接続の共有フォルダーへのファイルの保存がサポートされないアプリケーションの場合、共有フォルダー上でのファイルの編集や保存できない場合があります。その場合にはいったんローカルにコピーし編集してください。

※ Windows 7、Vista、XP は、それぞれ Windows® 7、Windows Vista®、Windows® XP operating system の略称として表記しています。

携帯端末	OS
iPhone iPad iPod touch	iOS 4.2 以降
Android 搭載スマートフォン	Android 2.1 以降

※アプリ「Remote Link2」の使用が必要です。

設定に必要なソフトウェア

本製品を設定するには、以下のいずれかのバージョンの Web ブラウザーが必要です。

- ・ Internet Explorer バージョン 7.0 以上
- ・ Safari バージョン 3.0 以上

リモートリンク機能をご利用の場合は以下のソフトウェアが必要です。

<http://get.adobe.com/jp/flashplayer/> よりダウンロードしてください。

- ・ Adobe Flash Player

本製品の USB ポートにつながる機器

動作確認済み機種の最新情報については、弊社ホームページ (<http://www.iodata.jp/>) をご覧ください。

ご注意

- USB[HOST] ポートには、対応機器以外の機器は接続しないでください。
※ USB ハブも接続できません。
- スケジュールバックアップ機能やクイックコピー機能使用時の注意
 - ・ コピー開始、終了、エラーはブザーや STATUS ランプで確認してください。
コピー正常時： ピッピッピッというブザー音とともに STATUS ランプが緑点灯
コピー失敗時： ピーピーピーというブザー音とともに STATUS ランプが赤点滅
 - ・ 必ず、転送が完了した後、転送内容をパソコンなどによりご確認ください。写真などのデータが消失した場合でも、弊社では補償は一切いたしかねます。
- ファイルコピー中に、USB[HOST] ポートに接続した機器の接続や取り外しをしたり、本製品やハードディスクの電源を切らないでください。
コピーの処理が正常に行われません。本製品の STATUS ランプを確認の上、電源を切ってください。
- クイックコピーでは、マストレージに対応し、FAT または NTFS 形式のデジカメ、USB メモリーが使用可能です。
- バスパワーモードのハードディスクは接続できません。
ハードディスクを接続する場合は、セルフパワーモードでご利用ください。
- デジカメは USB マストレージクラスの転送に対応している必要があります。
- 省電力設定の対応機器は、弊社ホームページ (<http://www.iodata.jp/>) をご覧ください。(省電力設定の動作確認機種以外には省電力設定を有効にしないでください。)

出荷時設定一覧

項目		初期値		
システムバージョン		1.00 (出荷時期による)		
▼システム				
一般設定	管理者パスワード	なし		
	パスワード (確認)	なし		
	ランプの明るさ	中		
	省電力設定時間 (分)	10 分		
日時設定	コードページ	日本語		
	タイムゾーン	東京、大阪、札幌		
	タイムサーバーと同期	同期する		
	タイムサーバー 1	ntp.nict.jp		
	タイムサーバー 2	指定なし		
ネットワーク設定	同期するタイミング	毎日		
	LAN DISK の名前	LANDISK-xxxxxx (xxxxxx は MAC アドレスの下 6 桁)		
	ワークグループ	WORKGROUP		
	IP アドレス	自動的に設定する (DHCP)		
	自動取得失敗時	IP アドレス (AutoIP 自動割当)	169.254.xxx.xxx	
		サブネットマスク	255.255.0.0	
		ゲートウェイ	なし	
DNS サーバー		なし		
▼共有				
共有フォルダー	共有フォルダー一覧 (作成済み共有)	disk	全共有	
		itunes	全共有	
ユーザー	登録済みユーザー	なし		
▼サービス				
iTunes	iTunes 機能	on		
	設定公開フォルダー	iTunes		
リモートリンク 2 設定	リモートリンク 2 機能	off		
	接続名	なし		
	パスワード	なし		
	パスワード (確認)	なし		
	ポート番号	3000		
	UPnP 機能	使う		
▼USB				
	USB ポート	無効		
クイックコピー	コピー先共有フォルダー	disk		

文字制限一覧

●設定画面上で使用できる文字 / できない文字

本製品の設定画面で設定する下記項目は、半角英数字のみが有効となります。さらに各項目には、使用文字の制限があります。

次の文字はそれぞれの項目に対して使用できません。(パスワードに空白文字を使用しないでください。)

項目名	文字数	使用できる文字	使用できない文字	その他
ワークグループ	2 ~ 16 文字	使用できない文字以外の半角英数字記号	\\ / " \$: , ' ; * ? < > ` [] = + . 空白	- (ハイフン) で始まる文字列は不可
コメント	0 ~ 64 文字	半角英数字記号		
ユーザー名	2 ~ 16 文字	使用できない文字以外の半角英数字記号	\\ / ~ \$: , ' ; * ? " < > ` [] = + . @ () # % ^ 空白	数字のみの文字列は不可 - (ハイフン) で始まる文字列は不可
パスワード	0 ~ 20 文字	使用できない文字以外の半角英数字記号	\\ : , ; * < > ` [] = + . ` () ~ \$ " / ? 空白	- (ハイフン) で始まる文字列は不可
LAN DISK の名前	2 ~ 16 文字	0-9,A-Z,a-z,(アンダーバー)、-(ハイフン)	使用できる文字以外の半角英数字記号	数字で始まる文字列は不可 - (ハイフン) で始まる文字列は不可
共有フォルダー名	2 ~ 16 文字	0-9,A-Z,a-z,(アンダーバー)、-(ハイフン)	使用できる文字以外の半角英数字記号	数字で始まる文字列は不可 - (ハイフン) で始まる文字列は不可

●iobb.net 設定で使用できる文字 / できない文字

項目名	文字数	使用できる文字	使用できない文字	その他
ホスト名	6 ~ 16 文字	0-9,a-z,- (ハイフン)	使用できる文字以外の半角英数字記号	- (ハイフン) で始まる文字列は不可
パスワード	6 ~ 16 文字	0-9,A-Z,a-z,(アンダーバー)、-(ハイフン)	使用できる文字以外の半角英数字記号	"数字のみの文字列は不可 - (ハイフン) で始まる文字列は不可"

●ファイル名やフォルダー名の文字制限

本製品に保存できるファイルやフォルダー名は、OS により以下の文字数までとなっています。

【Windows の場合】半角 255 文字 (全角 85 文字) まで

※使用する文字種によっては上記の数値よりも少なくなる場合があります。

※ Windows 7、Vista では従来の Windows と比較し、扱える文字数が増えています。

よって Windows 7、Vista でのみ使用可能な文字を共有フォルダーに保存するファイル名やフォルダー名に使用した場合、従来の Windows で参照すると文字が正しく表示されない場合があります。

Windows 7、Vista と従来の Windows との間で文字表示について問題が発生しないようにするには Microsoft 社の公開情報 (http://www.microsoft.com/japan/windows/products/windowsvista/jp_font/default.mspx) にある、「JIS X 0213:2004 対応と新日本語フォント「メイリオ」について」に沿った対応をして頂く必要があります。

【Mac OS の場合】Mac OS X では半角 255 文字 (全角 85 文字) まで

ログ一覧

設定画面	ログ表示	内容
一般設定	Failed to update admin's password	管理者パスワードの変更が失敗した時に出力されます。
	Succeeded in updating admin's password	管理者パスワードの変更が成功した時に出力されます。
	Failed in updating client language to %code_page%	クライアント言語の変更に失敗した時に出力されます。
	Succeeded in updating client language to %code_page%	クライアント言語の変更に成功した時に出力されます。
	Failed to update power saving time to %minutes% minutes	省電力時間設定の変更に失敗したときに出力されます。
	Succeeded in updating power saving time to %minutes% minutes	省電力時間設定の変更に成功したときに出力されます。
	Failed to update LED brightness to %brightness%	ランプの明るさ設定の変更に失敗したときに出力されます。
	Succeeded in updating LED brightness to %brightness%	ランプの明るさ設定の変更に成功したときに出力されます。
	HDD's temperature is over 65C, system will be shutdown.	ハードディスク温度が 65 度に達したときに出力されます。
日時設定	Failed to update time zone setting	タイムゾーンの変更に失敗したときに出力されます。
	Succeeded in updating time zone setting	タイムゾーンの変更に成功したときに出力されます。
	Failed to update date setting	日時設定の変更に失敗したときに出力されます。
	Failed to update NTP server setting	タイムサーバーと同期設定に失敗したときに出力されます。
	Failed to update date via Internet	日時設定の設定時、タイムサーバーと同期に失敗したときに出力されます。
	Failed to calibrate by NTP	タイムサーバーと同期に失敗したときに出力されます。
	Failed to update Easysetup.ini	EasySetup.ini のアクセスに失敗したときに出力されます。
Succeeded in updating date setting	日時設定の変更に成功したときに出力されます。	
ネットワーク設定	Failed to update system name : %system_name%	LAN DISK の名前の変更に失敗したときに出力されます。
	Succeeded in updating system name : %system_name%	LAN DISK の名前の変更に成功したときに出力されます。
	Failed to update workgroup name : %workgroup_name%	ワークグループの変更に失敗したときに出力されます。
	Succeeded in updating workgroup name : %workgroup_name%	ワークグループの変更に成功したときに出力されます。
	Failed to set static ip setting : %IP_address%	I Pアドレスの自動取得に失敗したときに出力されます。
	Succeeded in setting static ip setting : %IP_address%	I Pアドレスの自動取得に成功したときに出力されます。
	Failed to set DHCP IP setting	DHCP サーバーからの IP アドレスの取得に失敗したときに出力されます。
	Succeeded in setting DHCP IP setting	DHCP サーバーからの IP アドレスの取得に成功したときに出力されます。
	Failed to update EasySetup.ini	EasySetup.ini の更新に失敗したときに出力されます。
	Succeeded in updating EasySetup.ini	EasySetup.ini の更新に成功したときに出力されます。
	Succeeded in updating LAN setting	ネットワーク設定の変更に成功したときに出力されます。
ドライブ情報	Rebuild HDD with %MBR/GPT% and %XFS/NTFS3%	内蔵ハードディスクのフォーマット形式・パーティション形式が変更されたときに出力されます。
	Succeeded in formatting USB HDD	USB ハードディスクのフォーマットに成功したときに出力されます。
	Failed to format USB HDD	USB ハードディスクのフォーマットに失敗したときに出力されます。
	Succeeded in mounting USB HDD	USB ハードディスクの接続に成功したときに出力されます。
	Succeeded in unmounting USB HDD	USB ハードディスクの取り外しに成功したときに出力されます。
	Failed to unmount USB HDD	USB ハードディスクの取り外しに失敗したときに出力されます。
	Complete format. The system is ready.	フォーマット形式の変更が完了したときに出力されます。
	Failed to check and repair hard disk	内蔵ハードディスクのチェックディスクに失敗したときに出力されます。
	Succeeded in checking and repairing hard disk	内蔵ハードディスクのチェックディスクに成功したときに出力されます。
ユーザー	Succeeded in updating current user's setting	ユーザーの設定変更に成功したときに出力されます。
	Succeeded in adding user : %user_name%	ユーザーの追加に成功したときに出力されます。
	Failed to delete user : %user_name%	ユーザーの削除に失敗したときに出力されます。
	The user has been removed : %user_name%	ユーザーの削除に成功したときに出力されます。
共有	Succeeded to rebuild default shared folders	デフォルト共有フォルダー (disk、iTunes) 復元に成功したときに出力されます。
	Succeeded in updating current folder's setting - %folder_name%	共有フォルダーの設定変更に成功したときに出力されます。
	Succeeded in adding new folder - %folder_name%	共有フォルダーの追加に成功したときに出力されます。
	The folder - %folder_name% has been removed	共有フォルダーの削除に成功したときに出力されます。
iTunes	Successfully start iTunes service	iTunes サービスの開始が成功したときに出力されます。
	Successfully stop iTunes service	iTunes サービスの停止が成功したときに出力されます。
	Failed to update iTunes service	iTunes サービスの変更が失敗したときに出力されます。
	Start to rescan iTunes server	iTunse サーバーデータベースの更新を開始したときに出力されます。
	Finished to rescan iTunes server	iTunse サーバーデータベースの更新が完了したときに出力されます。

Remote Link 2	Succeeded in stoping Remote Access	リモートリンク 2 サービスの停止に成功したときに出力されます。
	Failed to stop Remote Access	リモートリンク 2 サービスの停止に失敗したときに出力されます。
	Start Remote Access with - [x x x x x] portNo.	リモートリンク 2 設定の登録開始時に出力されます。
	Set Success	リモートリンク 2 設定の登録成功時に出力されます。
	Register Success	リモートリンク 2 設定の登録情報更新成功時に出力されます。
	Succeeded in updating register data	リモートリンク 2 設定の成功時に出力されます。
	The hostname already registered	接続名がすでに使用されている場合に出力されます。
	Incorrect Device	装置情報が異常なときに出力されます。
	System error occurred	DDNS サービスのシステムエラー発生時に出力されます。
	Server error occurred	DDNS サービスのサーバーエラー発生時に出力されます。
	Set Fail	DDNS サービスへの登録失敗時に出力されます。
	Succeeded in updating DDNS information	リモートリンク 2 設定の更新成功時に出力されます。
	It is already the newest DDNS information	リモートリンク 2 設定の更新成功時に出力されます。
	DNS server error	DDNS サービスの DNS エラー発生時に出力されます。
	System error	DDNS サービスのシステムエラー発生時に出力されます。
	Invalid host name or password	接続名、またはパスワードが異なる場合に出力されます。
	USB	UPnP Port set success
No UPnP IGD device in LAN area		UP n P 対応ルーターが見つからないときに出力されます。
UPnP Port already be used by other device		指定したポート番号がすでに使用されている場合に出力されます。
UPnP port set failed		UP n P ポート設定に失敗した場合に出力されます。
USB Setting Error		USB ポートの設定に失敗したときに出力されます。
Set USB port to be disabled		USB ポートの設定が無効に設定されたときに出力されます。
Set USB port to support net.USB		USB ポートの設定が net.USB に設定されたときに出力されます。
Set USB port to support quick copy		USB ポートの設定がクイックコピーに設定されたときに出力されます。
Set USB port to support backup scheduling		USB ポートの設定がスケジュールバックアップに設定されたときに出力されます。
Failed to update USB port setting		USB ポートの設定変更が失敗したときに出力されます。
Succeeded in updating USB port setting	USB ポートの設定変更が成功したときに出力されます。	
Quick Copy	"Failed to update path for quick copy with --- %path%."	クイックコピーの保存先の変更に失敗したときに出力されます。
	" S u c c e e d e d i n u p d a t i n g path for quick copy with --- %path%."	クイックコピーの保存先の変更に成功したときに出力されます。
	Start to copy data from %USBHDD_mounted_dir% to %copy_destination_in_NAS%	クイックコピーが開始されたときに出力されます。
	Failed to copy data from %USBHDD_mounted_dir% to %copy_destination_in_NAS%	クイックコピーが失敗したときに出力されます。
	Succeeded to copy data from %USBHDD_mounted_dir% to %copy_destination_in_NAS%	クイックコピーが成功したときに出力されます。
スケジュールバックアップ	Successfully add a backup schedule	バックアップ設定の追加が成功したときに出力されます。
	Successfully delete a backup schedule	バックアップ設定の削除が成功したときに出力されます。
	Failed to set backup schedule	バックアップ設定が失敗したときに出力されます。
	Duplicate backup setting!!!	バックアップ設定が失敗した (重複した設定を行った) ときに出力されます。
	Successfully update a backup schedule	バックアップ設定の変更が成功したときに出力されます。
	Start to backup	スケジュールバックアップが開始されたときに出力されます。
	from %backup_source% to %backup_destination%	バックアップ元とバックアップ先が出力されます。
	Succeeded in doing a backup schedule	スケジュールバックアップが成功したときに出力されます。
	Destinated device of a backup schedule is not existing	スケジュールバックアップのバックアップ先が見つからない場合に出力されます。
	Failed to copy files for a backup schedule	スケジュールバックアップに失敗したときに出力されます。
	Failed to move files for a backup schedule	スケジュールバックアップに失敗したときに出力されます。
	Cannot get ip address for a destinated device for a backup schedule	スケジュールバックアップのバックアップ先 IP アドレスが見つからない場合に出力されます。
	再起動 / シャットダウン	Reboot ...
Shutdown		シャットダウンを開始したときに出力されます。
ファームウェアの更新	Succeeded in updating firmware	ファームウェアのアップデートに成功したときに出力されます。
システム初期化	Reset to factory default setting ...	システム初期化を実行したときに出力されます。
	Failed to reset factory default setting	システム初期化に失敗したときに出力されます。
その他	---System_is_Booting---	システムが起動したときに出力されます。
	---System_is_DAS_Mode---	USB 接続モードに切り替わったときに出力されます。
	---System_is_NAS_Mode---	NAS 接続モードに切り替わったときに出力されます。

設定画面のリファレンス



機器情報・設定

機器情報

機器情報

機器情報	
LAN DISKの名前:	LANDISK-■■■■■
ワークグループ:	WORKGROUP
IPアドレス:	192.168.■■■■
サブネットマスク:	255.255.255.0
デフォルトゲートウェイ:	192.168.0.1
DNSサーバ1:	192.168.0.1
DNSサーバ2:	
MACアドレス:	00:A0:B0:C7:00:49
ファームウェアバージョン:	0.9991
現在時刻:	July 21, 2011 11:21:41 PM
容量:	■■■■ GB
空き容量:	■■■■ GB
iTunes:	on
リモートリンク2:	off
USBポート:	無効
省電力設定:	10分

項目	設定する内容	出荷時設定
LAN DISK の名前	ネットワーク上で表示される名前です。 出荷時設定では、製品個々に LANDISK-xxxxxx (xxxxxx は MAC アドレスの下 6 桁) が設定されています。	LANDISK- xxxxxx
ワークグループ名	本製品のワークグループ名です。	WORKGROUP
IP アドレス	本製品の IP アドレスです。	-
サブネットマスク	本製品のサブネットマスクです。	-
MAC アドレス	本製品の MAC アドレスです。	-
ファームウェアバージョン	本製品のファームウェアバージョンです。	-
現在時刻	本製品の設定時刻です。	-
容量	本製品の総容量です。	-
空き容量	本製品の空き容量です。	-
iTunes	iTunes サービスの有効・無効を表示します。	on
リモートリンク 2	リモートリンク 2 の有効・無効を表示します。	off
USB ポート	USB ポートのモードを表示します。	無効
省電力設定	省電力設定の設定時間を表示します。	10 分

一般設定

一般設定

管理者パスワードの設定
 パスワード:
 パスワード(確認):

ランプの明るさ: 低 中 高

省電力設定時間[分]:

コードページ:

項目	設定する内容	出荷時設定
パスワード パスワード (確認)	本製品の管理者パスワードを入力します。	-
ランプの明るさ	本製品のランプの明るさを設定します。	中
省電力設定時間 (分)	本製品の省電力モードが働く時間を設定します。	10分
コードページ	お使いのパソコンの言語を設定します。	日本語

日時設定

日時設定

21 Jul, 2011 23:19:54

タイムゾーン
 タイムゾーン設定: (GMT+09:00)

タイムサーバーと同期
 タイムサーバー1:
 タイムサーバー2:
 自動的に時刻合わせ

手動設定

 日付:
 時間: : :
 (* ACアダプタを抜くとシステム時刻が保持されません。)

項目	設定する内容	出荷時設定
タイムゾーン設定	お住まいの地域を選択します。	東京、大阪、札幌
タイムサーバーと同期	タイムサーバーから時刻を自動取得します。	タイムサーバーと同期する
	タイムサーバー1, 2 タイムサーバーを使用する場合に選択します。タイムサーバーの設定を実行すると、そのタイミングでいったんタイムサーバー時刻を本製品に設定します。	
自動的に時刻合わせ	タイムサーバー時刻をあわせるタイミングを設定します。(出荷時：毎日)	
設定時刻	日付と時刻入力して設定します。	
	PCの日付時刻を設定 パソコンと同じ時刻を設定します。	

ネットワーク設定

ネットワーク設定

項目	設定する内容	出荷時設定
LAN DISK の名前	ネットワーク上で表示される名前を入力します。 ネットワーク上に同じ名前が存在しないよう設定します。 出荷時設定では、製品個々に LANDISK-xxxxxx (xxxxxx は MAC アドレスの下 6 桁) が設定されています。	LANDISK- xxxxxx
ワークグループ名	本製品のワークグループ名を入力します。	WORKGROUP
IP アドレス	[IP アドレスを手動で設定する] を選択した場合に、IP アドレスを入力します。 (Auto IP 自動割当は、169.254.xxx.xxx)	-
サブネットマスク	[IP アドレスを手動で設定する] を選択した場合に、サブネットマスクを入力します。 (Auto IP アドレスは、255.255.0.0)	-
デフォルトゲートウェイ	[IP アドレスを手動で設定する] を選択した場合に、デフォルトゲートウェイを入力します。 本製品が接続されているネットワークのデフォルトゲートウェイを入力します。一般にインターネットと接続しているルータの IP アドレスを入力します。	-
DNS サーバー 1	[IP アドレスを手動で設定する] を選択した場合に、DNS サーバーを入力します。	-
DNS サーバー 2	本製品が所属しているネットワークの DNS サーバーアドレスを入力します。	-

ドライブ情報

ドライブ情報

▼内蔵ハードディスク

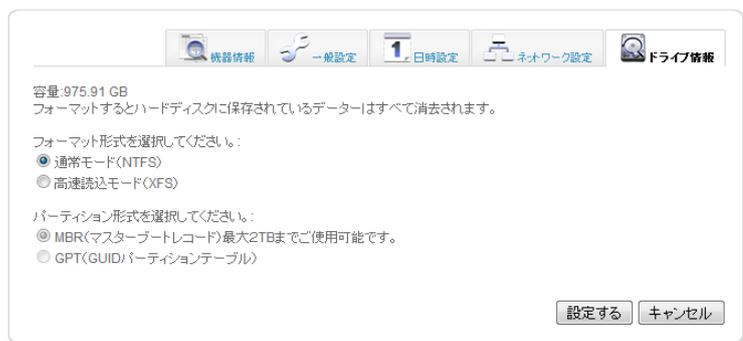
項目	設定する内容	出荷時設定
使用率	本製品の内蔵ハードディスクが使用している割合を表示します。	-
モデル名	内蔵ハードディスクのモデル名を表示します。	-
チェックディスク	チェックディスクを実行する場合に、「開始」ボタンをクリックします。	-
パーティション管理	本製品の内蔵ハードディスクのフォーマットを変更する画面に移動します。 [高速モード] に設定する場合もここをクリックします。	-

▼外付けディスク

項目	設定する内容	出荷時設定
メーカー	接続された USB デバイスのメーカー名を表示します。	-
デバイス	接続された USB デバイスの型番やデバイス名を表示します。	-
容量	接続された USB デバイスの総容量を表示します。	-
フォーマット形式	接続された USB デバイスのフォーマット形式を表示します。	-
接続	接続状態を「YES/NO」で表示します。	-
機能	USB デバイスの接続や取り外しを行います。	-

▼パーティション管理

ドライブ情報



項目	設定する内容		出荷時設定
フォーマット形式	通常モード (NTFS)	LAN 接続モード / USB 接続モードの両方で使用する場合は、こちらのフォーマットを選択してください。	通常モード
	高速読み込みモード (XFS)	LAN 接続モードで本製品をご利用の場合、読み込み時のスピードが通常モードより高速にアクセスすることができます。	
パーティションスタイル	上記で設定したフォーマット形式にあわせて自動で設定します。通常は選択する必要はありません。		-
	MBR	本製品の容量が 2.0TB 以下の場合	
	GPT	本製品の容量が 3.0TB 以上の場合	



ユーザーリスト

ユーザー情報

ユーザー名	説明	機能
user1		<input type="button" value="詳細"/> <input type="button" value="削除"/>
user2		<input type="button" value="詳細"/> <input type="button" value="削除"/>

項目	設定する内容	出荷時設定
ユーザー名	登録されているユーザー名を表示します。	—
説明	ユーザー登録時に記入した説明を表示します。	—
機能	変更	—
	削除	

ユーザー作成

ユーザー情報

ユーザー名:
 説明:
 パスワード:
 パスワード(確認):

項目	設定する内容	出荷時設定
ユーザー名	ユーザー名を入力します。	—
説明	ユーザーの説明を入力します。	—
パスワード	ユーザーのパスワードを入力します。	—
パスワード (確認)		

共有フォルダーリスト

共有フォルダーリスト

ステータス	共有フォルダー名	共有	機能
✔	disk	Yes	変更 削除
✔	iTunes	Yes	変更 削除

項目	設定する内容	出荷時設定	
ステータス	共有フォルダーの状態をアイコンで表示します。USB 接続モード時に共有フォルダーが削除された場合、「×」が表示されます。	—	
共有フォルダー名	disk、iTunes は、出荷時設定で作成されている共有フォルダーです。アクセス権の設定はできません。リモートリンク 2 機能や iTunes サーバー機能時にアクセスするフォルダーですので、機能を利用する場合は、削除しないでください。	—	
共有	Yes	誰でもアクセスできます。	—
	No	アクセス権の設定がされています。	
機能	変更	クリックすると、共有フォルダーの詳細情報を表示し、アクセス件など設定変更が可能です。	—
	削除	クリックすると、共有フォルダーを削除します。	

共有フォルダー作成

共有フォルダー作成

共有フォルダー名:	<input type="text"/>												
説明:	<input type="text"/>												
アクセス権設定:	<input type="radio"/> 共有 <input checked="" type="radio"/> 指定したユーザーのみ許可												
有効なユーザー	<table border="1"> <thead> <tr> <th>ユーザー名</th> <th>読み書き許可</th> <th>読み取り専用</th> <th>アクセス不可</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>user1</td> <td><input type="radio"/></td> <td><input type="radio"/></td> <td><input checked="" type="radio"/></td> </tr> <tr> <td>user2</td> <td><input type="radio"/></td> <td><input type="radio"/></td> <td><input checked="" type="radio"/></td> </tr> </tbody> </table>	ユーザー名	読み書き許可	読み取り専用	アクセス不可	user1	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>	user2	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>
ユーザー名	読み書き許可	読み取り専用	アクセス不可										
user1	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>										
user2	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>										

項目	設定する内容	出荷時設定	
共有フォルダー名	作成する共有フォルダー名を入力します。	—	
説明	作成する共有フォルダーの説明を入力します。	—	
アクセス権設定	共有	誰でもアクセス可能な状態に設定をする場合にチェックします。	共有
	指定したユーザーのみ許可	アクセス権の設定をする場合にチェックします。	

▼有効なユーザー

項目	設定する内容	出荷時設定
ユーザー名	登録されているユーザー名です。	—
読み書き許可	読み書きを可能にする設定です。	—
読み取り許可	読み取りのみを可能にする設定です。	—
アクセス不可	読み書きを不可にする設定です。	—



USB

USB ポート設定

USBポート

項目	設定する内容		出荷時設定
USB ポート	無効	USB ポートは使用できません。	無効
	net.USB	net.USB を利用した USB 機器の共有ができます。	
	クイックコピー	クイックコピー機能を有効にします。	
	スケジュールバックアップ	自動バックアップ機能を有効にします。	

クイックコピー

クイックコピー(USB->NAS)

項目	設定する内容	出荷時設定
コピー先の共有フォルダを設定	クイックコピー使用時の保存フォルダを設定します。	disk

iTunes


iTunes: on off

設定する 更新

項目	設定する内容	出荷時設定
iTunes サービス	iTunes サービスの on (有効)、off (無効) を設定します。	on

リモートリンク 2 設定
リモートリンク2設定


リモートリンク2: on off

接続名: .iobb.net

パスワード:

パスワード(確認):

Port:

UPnP機能: 使う 使わない

設定する

項目	設定する内容	出荷時設定
リモートリンク 2	リモートリンク 2 機能の on (有効)、off (無効) を設定します。	off
接続名	接続名を設定します。リモートリンク 2 で本製品に接続する際に必要になります。	-
パスワード パスワード確認	パスワードを入力します。	-
UPnP 機能	使う	UPnP 機能を使用してポート設定をします。 UPnP 機能を使用してポート設定ができない場合、「使わない」に設定しお使いのルーターから手動でポートを開放の設定をしてください。
	使わない	

バックアップ設定

項目	設定する内容	出荷時設定	
LAN DISK の共有フォルダー	バックアップ元の共有フォルダーを選択します。	iTunes	
USB ハードディスクへのバックアップ	本製品に接続されたUSBハードディスクへバックアップする場合にチェックします。 あらかじめUSBポートの設定を「スケジュールバックアップ」に設定し、USBハードディスクを本製品に接続してから設定してください。	-	
NAS へのバックアップ	本製品と同じネットワーク上の別の HDL-CE にバックアップする際にチェックします。	-	
	バックアップ先を指定		「NASを探す」ボタンをクリックすると、本製品と同じネットワーク上の別の HDL-CE を検索することができます。 ※ HDL-CE 以外にもパソコンなども表示されますが、HDL-CE 以外はサポートしていません。
	ユーザー名		指定したフォルダーがアクセス権の設定をしている場合、ユーザー名を入力します。
ユーザーパスワード	指定したフォルダーがアクセス権の設定をしている場合、ユーザーパスワードを入力します。		
スケジュール設定	バックアップをおこなうスケジュールを設定します。	-	

バックアップ設定一覧

バックアップ設定一覧

バックアップ元	バックアップ先	曜日	時	分	機能	説明
disk	USBハードディスク	月	19	0	変更 削除	
disk	USBハードディスク	水	19	0	変更 削除	
iTunes	LANDISK- /share1	日	10	0	変更 削除	

項目	設定する内容	出荷時設定
バックアップ元	バックアップ元の共有フォルダーが表示されます。	-
バックアップ先	設定したバックアップ先の LAN DISK の名前と共有フォルダー名が表示されます。 USBハードディスクの場合は、「USBハードディスク」と表示されます。	-
曜日、時、分	設定した曜日と時刻が表示されます。	-
機能	詳細	バックアップジョブの詳細画面が表示されます。スケジュールの変更が可能です。
	削除	バックアップジョブを削除します。
説明	設定時に「説明」に記載があった場合に、表示されます。	-



その他

再起動・シャットダウン

再起動/シャットダウン

再起動/シャットダウン

再起動 シャットダウン

再起動
 再起動
 シャットダウン

確認

項目	設定する内容	出荷時設定
再起動	本製品を再起動します。	—
シャットダウン	本製品をシャットダウンします。	—

ファームウェアの更新

ファームウェアの更新

再起動 シャットダウン

再起動 シャットダウン

ファームウェアの更新

システム初期化

ログ情報

ブラウズ

ファームウェアの更新

項目	設定する内容	出荷時設定
ブラウズ	ファームウェアの更新ファイルを選択します。	—

システム初期化

システム初期化

再起動 シャットダウン

再起動 シャットダウン

ファームウェアの更新

システム初期化

ログ情報

システム初期化

【注意】システム初期化を実行すると、全ての設定、及び内蔵ハードディスクの全てのデータが消去されます。

実行

項目	設定する内容	出荷時設定
システム初期化	[実行] ボタンをクリックすると、すべての項目を本製品の出荷時設定値に戻し、内蔵ハードディスクもフォーマットします。	—

ログ情報

ログ情報

再起動 シャットダウン

再起動 シャットダウン

ファームウェアの更新

システム初期化

ログ情報

```

2011-05-19 11:17:17 Set USB port to support backup scheduling
2011-05-19 11:17:17 Succeeded in updating USB port setting
2011-05-19 11:18:48 Add a backup schedule successfully
2011-05-19 11:19:58 Add a backup schedule successfully
2011-05-19 11:25:49 Failed to start Remote Access
2011-05-19 11:26:53 Succeeded in starting Remote Access with config --
***** Host name = takayo1125
***** Port No. = 9000
***** UPnP support = 9000
2011-05-19 15:55:15 Failed to mount USB HDD
2011-05-19 15:55:53 Failed to mount USB HDD
2011-05-19 16:37:04 Add a backup schedule successfully
2011-05-19 16:38:39 Add a backup schedule successfully
2011-05-19 16:45:54 Set USB port to support net.USB
2011-05-19 16:45:55 Succeeded in updating USB port setting
2011-05-19 17:12:19 Succeeded in updating system name : LANDISK-C70049
2011-05-19 17:12:20 Succeeded in updating workgroup name : WORKGROUP
2011-05-19 17:12:20 Succeeded in setting static ip setting : 192.168.193.26
2011-05-19 17:12:23 Succeeded in updating EasySetup.ini
2011-05-19 17:12:23 Succeeded in updating LAN setting

```

ログを削除

<<先頭 戻る 次へ 最終>>

困ったときには

アイ・オー・データホームページをご覧ください

<http://www.iodata.jp/support/>

製品型番などで検索してください。

サポートページには、最新の情報や過去にサポートセンターに寄せられた事例なども紹介されています。

本製品起動時のトラブル

本製品の電源を入れると、STATUS ランプが赤点滅し、フザーがピーピーピーと鳴った..... 14-83

セットアップ時のトラブル

Mac と Windows が混在している環境の場合どのパソコンで設定したらよいですか? 14-84
EasySetup を実行したら選択画面が表示された 14-84
現在のネットワーク環境に DHCP サーバーがあるかわからない..... 14-84
Magical Finder で本製品が検索されない..... 14-86
DHCP サーバーがあるのに、STATUS ランプが赤点滅している..... 14-86
(Mac OS) パソコンに直接接続した後、本製品の設定画面が表示されない..... 14-87
パソコンと本製品を直接接続すると、STATUS ランプが赤点滅する..... 14-88
LAN DISK の名前を変更したい..... 14-88
ファイアウォールソフトで、LAN DISK に対してアクセスを許可させたい場合、どのポート番号で設定すればよいかわからない..... 14-88
パソコンの IP アドレスがわからない..... 14-89
TimeMachine 機能を有効にしてしまった 14-89

本製品へアクセス時のトラブル

「LANDISK」のアイコンを開いたり、共有フォルダーを開こうとすると、「アクセス権限が無い」とエラーが表示されたり、ユーザー名とパスワードを入力する画面が表示される..... 14-90
Mac OS から書き込んだファイルを Windows から削除すると、本製品の共有へ Mac OS からファイル保存ができなくなる..... 14-90
本製品にネットワーク経由で接続するパソコンの台数に制限はありますか? 14-90
LAN DISK にアクセスできないパソコンがある (他のパソコンからはすでに LAN DISK にアクセスできている場合) 14-91
[disk]、[iTunes] フォルダを削除した後に、リモートリンク 2 機能や iTunes 機能が使いたい..... 14-91

Windows の場合

[コンピューターの検索] で [landisk-xxxxxx] が見つからない..... 14-91
Windows 上から本製品を参照した場合に、見覚えのないフォルダーやファイルがある 14-92
ユーザー権限共有フォルダーにログオンしようとすると、エラーメッセージが出てきてログオンができない..... 14-92

Mac OS の場合

[landisk-xxxxxx] が見つからない、もしくは、接続できない..... 14-93

設定画面に関するトラブル

(Windows) ネットワークに導入後、本製品の設定画面が表示されない..... 14-94
(Mac OS) ネットワークに導入後、本製品の設定画面が表示されない..... 14-94
設定画面で一部表示されない項目がある 14-95
設定画面で文字が入力できない..... 14-95
設定画面上から入力できる文字制限について 14-95
パスワード認証に失敗し設定画面を表示できない..... 14-96
設定画面にログオンするためのパスワードがわからない..... 14-96
「現在処理中です。」とメッセージが表示された..... 14-96
設定画面上のハードディスク使用領域が、ドライブのプロパティと異なる..... 14-96
設定画面の動作が遅い..... 14-96

本製品の IP アドレスについて

本製品に設定した IP アドレスを忘れた、本製品に設定されている IP アドレスを調べたい..... 14-97

ファイルの保存について

ファイル名やフォルダー名の制限について..... 14-98

共有フォルダーにファイルをコピーする際のサイズの制限はありますか?..... 14-98

USB 接続モードで作成したフォルダーは LAN 接続モード時に使用できますか?..... 14-98

ランプやブザーについて

STATUS ランプが赤く点滅している..... 14-99

パソコンと本製品を直接接続すると、STATUS ランプが赤点灯する..... 14-99

ランプとブザーの動作について知りたい..... 14-99

iTunes サーバー機能使用時のトラブル

iTunes に本製品が表示されない..... 14-100

iTunes に表示されない、あるいは、再生できないファイルがある..... 14-100

iTunes から本製品のファイルやフォルダーを見ることができない..... 14-100

iTunes サーバー機能で公開したファイルが iTunes に正しく表示されない、あるいは再生できないファイルがある..... 14-101

リモートリンク 2 機能使用時のトラブル

リモートリンク 2 が接続できなくなった..... 14-102

リモートリンク 2 を使用中に「通信エラーが発生しました。」と表示される..... 14-102

コンテンツの再生ができない..... 14-102

内蔵・外付ハードディスクについて

外付ハードディスクを接続するとブザーが「ピーピーピー」と鳴り、STATUS ランプが赤点滅したままとなる..... 14-103

外付ハードディスクのパソコンでのフォーマット方法について..... 14-103

ハードディスクの不良で内蔵 HDD 交換が必要な場合は?..... 14-103

本製品に接続可能なハードディスクについて..... 14-103

デフラグ機能はありますか?..... 14-103

省電力機能が働かない..... 14-103

タイムサーバー使用時のトラブル

タイムサーバーとの同期が行われない..... 14-104

パソコンのネットワーク設定について

パソコンのネットワーク設定について..... 14-105

Windows パソコンの [ワークグループ名] がわからない..... 14-105

(Windows) ネットワークドライブの割り当て方法がわからない..... 14-105

(Windows) [ローカルエリア接続] アイコンに×マークが付いている..... 14-105

パソコンに固定の IP アドレスを設定するには..... 14-105

本製品起動時のトラブル

本製品の電源を入ると、STATUS ランプが赤点滅し、ブザーがピーピーピーと鳴った

原因	DHCP サーバーから本製品の IP アドレスを取得できていない。 ※本製品の IP アドレスの設定が、自動取得 (出荷時設定) に設定されている場合で、接続したネットワークに DHCP サーバーが見つからない場合は、STATUS ランプが赤点滅します。
対処	接続したネットワーク内の DHCP サーバーが正常に起動していることをご確認ください。 ※ DHCP サーバーから正常に IP アドレスなどの割り当てが受けられない場合、本製品は自動的に AutoIP アドレス：169.254.xxx.xxx に設定されます。
原因	DHCP サーバーのない環境で使用している、あるいは、DHCP サーバーと本製品の組み合わせにより IP アドレスが割り当てられない。
対処	本製品の IP アドレスを手動で固定の IP アドレスに設定してください。
原因	本製品が取り扱えない USB 機器が USB[HOST] ポートに接続された。
対処	本製品で取り扱えない USB 機器あるいはフォーマット形式の装置が USB[HOST] ポートに接続された場合、接続に失敗したことを STATUS ランプの赤点滅で表示します。この場合は該当する USB 機器を本製品から取り外してください。しばらくすると緑点灯に変わります。
原因	LAN 接続モードで使用する共有フォルダーを、USB 接続モードから削除やリネームした。
対処	USB 接続モードでリネームした場合は、USB 接続モードから元の名前に戻すと再び共有フォルダーとして使用可能になります。USB 接続モードでフォルダーを削除した場合は、設定画面の [共有] タブにて不要な共有フォルダーを削除してください。

セットアップ時のトラブル

Mac と Windows が混在している環境の場合どのパソコンで設定したらよいですか？

対処 本製品は、本製品と同一ネットワーク内の1台のパソコンからすべての設定を行うことができます。
ご利用環境に、Windows と Mac OS のどちらもある場合は、一方のパソコンからすべての設定を行うことができますが、Windows パソコンから設定することをおすすめします。
Windows 環境では、「EasySetup」を使用できますので、本製品の IP アドレスの設定などを簡単に行うことができます。

EasySetup を実行したら選択画面が表示された

原因 複数のネットワークを使用しているため、インターフェイスの設定画面が表示された。
対処 本製品を接続する予定のネットワークにつながっているインターフェイスを選択するか、本製品を接続予定のネットワークのみにパソコンをつなげてください。

現在のネットワーク環境に DHCP サーバーがあるかわからない

対処 ご使用のネットワーク環境に、「ブロードバンドルーター」「ルーター機能付きの ADSL モデム」「Windows NT 系のサーバー」などがある場合は、これらの DHCP サーバー機能を使用している可能性があります。
以下の【方法1】あるいは【方法2】などの手順で確認できます。

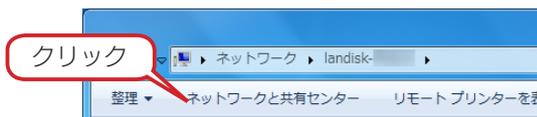
【方法1】パソコンの IP アドレスの設定で確認

すでにネットワーク内にあるインターネットなどに正常にアクセスできるパソコンの IP アドレスの設定で確認できます。
(IP アドレスの設定が” DHCP サーバーから取得する”設定になっていて正常に LAN 内で使用できている場合は、ネットワーク内に DHCP サーバーがあります。)

● Windows 7、Vista の場合

1 Windows 7 の場合は、[スタート] → [コンピューター] → [ネットワーク] をクリックします。
Windows Vista の場合は、[スタート] → [ネットワーク] をクリックします。

2 [ネットワークと共有センター] をクリックします。

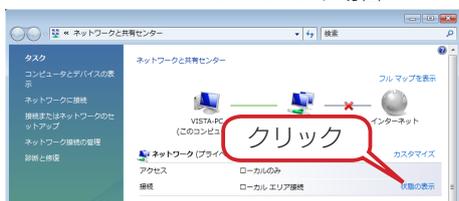


3 Windows 7 の場合は、[ローカル エリア接続] をクリックします。
Windows Vista の場合は、[状態の表示] をクリックします。

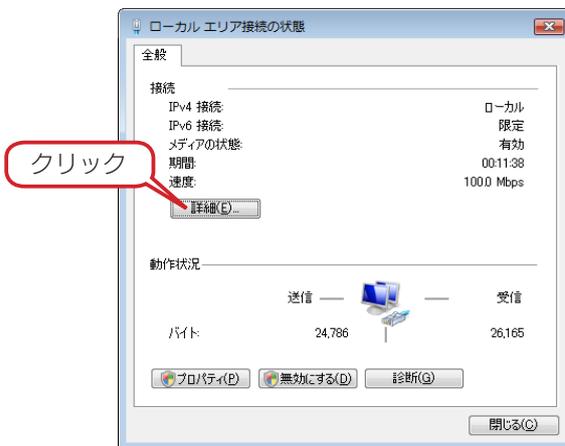
▼ Windows 7 の場合



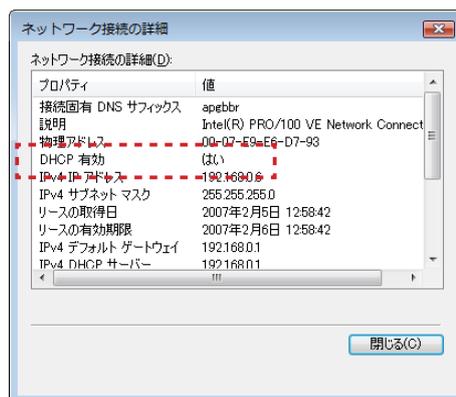
▼ Windows Vista の場合



4 [詳細] をクリックします。



5 [DHCP 有効] 欄に [はい] と表示されていれば、DHCP サーバーがあります。

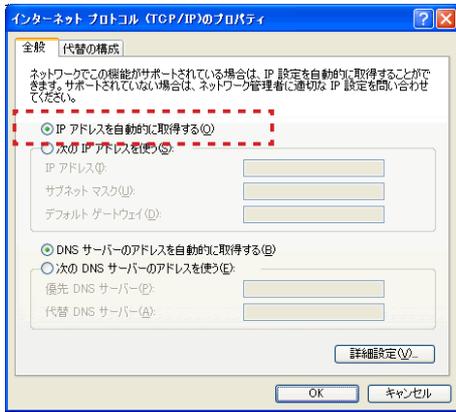


● Windows 7、Vista 以外の場合

1 パソコンの IP アドレスを確認できる画面を開きます。

2 パソコンの IP アドレスの設定が、[IP アドレスを自動的に取得 (する)] や [DHCP サーバーを参照] となっている場合は、ネットワーク内に DHCP サーバーがあると考えられます。

▼例) Windows XP で DHCP サーバーを使用している場合



【方法 2】 Windows 標準添付のツールを使って確認する (Windows のみ)
Windows 標準添付のツールで DHCP サーバーを利用しているかを確認できます。

● Windows 7、Vista の場合

1 [スタート] → [すべてのプログラム] → [アクセサリ] → [コマンドプロンプト] を開きます。

2 ipconfig /all (g と / の間にスペースが入ります。) と入力して、[Enter] キーを押します。

3 [DHCP サーバー] 欄にアドレス (DHCP サーバーのアドレス) が表示されていれば、DHCP サーバーがあります。



● Windows XP の場合

1 [スタート] → [(すべての) プログラム] → [アクセサリ] → [コマンドプロンプト] を開きます。

2 ipconfig /all (g と / の間にスペースが入ります。) と入力して、[Enter] キーを押します。

3 [DHCP Server] 欄にアドレス (DHCP サーバーのアドレス) が表示されていれば、DHCP サーバーがあります。



Magical Finder で本製品が検索されない

原因	接続が正しく行われていない。
対処	以下をご確認ください。 <ul style="list-style-type: none">・本製品の電源が入っている (STATUS ランプが緑色に点灯している)・接続ケーブルが正しく LAN に接続されている・本製品を接続したブロードバンドルーター、ハブ、パソコン側の LAN ポートのランプが点灯または点滅している

原因	本製品が再起動中である。
対処	本製品が起動するまで (STATUS ランプが緑色に点灯*するまで) お待ちください。 ※ DHCP サーバーの無いネットワークにはじめて接続した場合は、赤く点滅します。

原因	セキュリティー関連のソフトウェアが制限している。
対処	セキュリティー関連のソフトウェア (ファイアウォールソフト) の動作を一時的に停止していただき、本製品が検索されるかどうかをお試しください。 また、一時的に停止した場合に検索されるようになった場合には、ファイアウォールソフトの除外設定を行うと、ファイアウォールソフトを動作させたまま、本製品を検索することが可能となります。 (詳しいソフトウェアの操作方法については、ソフトウェアメーカーにお問い合わせください)。 <参考: Windows XP Service Pack 2 以降の Windows ファイアウォール機能の除外設定> ① [Magical Finder] をパソコンにインストールします。(【Windows から Magical Finder でセットアップする】(2-9 ページ) 参照) ② [スタート] → [コントロールパネル] → [セキュリティセンター] を開きます。 ③ 一番下の [Windows ファイアウォール] をクリックします。 ④ [例外] タブをクリックし、[プログラムの追加] ボタンをクリックします。 ⑤ 一覧から [MagicalFinder] を選択し、[OK] ボタンをクリックします。 ⑥ 「プログラムおよびサービス」の一覧に Magical Finder が追加されることを確認し、[OK] ボタンをクリックします。 以上で Windows XP Service Pack 2 以降のファイアウォール機能を有効にした状態で、本製品の動作は制限されず検索が行えます。 [スタート] → [すべてのプログラム] → [I-O DATA]-[Magical Finder] をクリックすると、Magical Finder が起動し、本製品が検索されます。 設定変更や設定画面を開く際にご利用ください。Magical Finder は本製品が LAN 接続モードの場合に使用可能です。

DHCP サーバーがあるのに、STATUS ランプが赤点滅している

原因	接続が正しく行われていない。
対処	いったん本製品の電源ボタンを押して電源を切り、LAN ケーブルが正しく接続されていることを確認してから、再度電源を入れてください。

原因	DHCP サーバーから本製品の IP アドレスが取得できていない。 ※本製品の DHCP クライアント設定が on (出荷時設定) に設定されている場合で、接続したネットワークに DHCP サーバーが見つからない場合は、STATUS ランプが赤く点滅します。
対処	接続したネットワーク内の DHCP サーバーが正常に起動していることをご確認ください。 ※ DHCP サーバーから正常に IP アドレスなどの割り当てが受けられない場合、本製品は自動的に AutoIP アドレス：169.254.xxx.xxx に設定されます。

原因	DHCP サーバーがない環境で使用している、あるいは、DHCP サーバーと本製品の組み合わせにより IP アドレスが割り当てられない。
対処	本製品の IP アドレスを手動で固定の IP アドレスに設定してください。

原因	本製品が取り扱えない USB 機器が USB [HOST] ポートに接続された。
対処	本製品で取り扱えない USB 機器あるいはフォーマット形式の装置が USB [HOST] ポートに接続された場合、接続に失敗したことを [STATUS] ランプの赤点滅で表示します。この場合は該当する USB 機器を本製品から取り外してください。しばらくすると青点灯に変わります。

(Mac OS) パソコンに直接接続した後、本製品の設定画面が表示されない

原因	接続が正しく行われていない。
対処	以下をご確認ください。 <ul style="list-style-type: none">・本製品の電源が入っている (STATUS ランプが緑色に点灯している)・接続ケーブルが正しく LAN に接続されている・本製品を接続したブロードバンドルーター、ハブ、パソコン側の LAN ポートのランプが点灯または点滅している

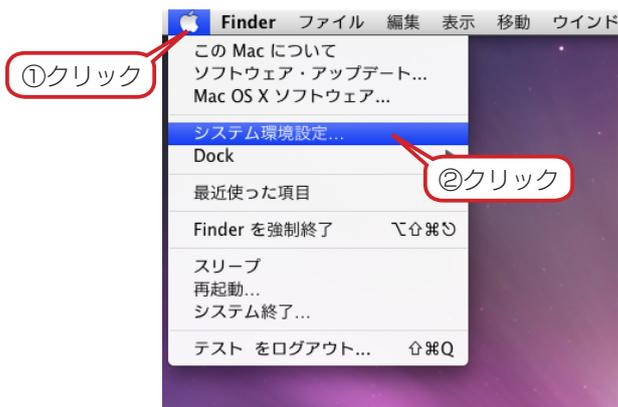
原因	セキュリティ関連のソフトウェアが制限している。
対処	セキュリティ関連のソフトウェアのファイアウォール機能により制限されている場合があります。 ファイアウォール機能を本製品設定時のみ解除していただくか、本製品のソフトウェアはファイアウォールの制限を受けないように設定を変更してお試しください。 なお、ファイアウォール機能に関する設定については、セキュリティ関連のソフトウェアメーカーにお問合せください。

原因	以前に設定した本製品の IP アドレスが間違っている、あるいは、正しく設定していなかった。
対処	RESET ボタンで、本製品の LAN ポートの IP アドレスを出荷時設定 (192.168.0.200) に戻してください。 【IP アドレス、管理者パスワードのみを出荷時設定に戻す】 (10-61 ページ) 出荷時設定に戻した後、再度、最初から本製品の IP アドレスの設定をやり直してください。

原因	Web ブラウザーが、プロキシ経由でインターネット接続するようになっている。
対処	Web ブラウザーがプロキシサーバーを使用する設定になっている場合、本製品の設定画面を呼び出すことができません。 Web ブラウザーの設定でプロキシサーバーを使わない設定にしてください。 本製品の設定終了後は、プロキシ設定を元に戻してください。 Mac OS をお使いの場合は次ページの 【Mac OS でプロキシサーバー設定を無効にする設定】 をご覧ください。

Mac OS でプロキシサーバー設定を無効にする設定

1 [アップルメニュー]→[システム環境設定]をクリックします。



2 [ネットワーク]を開きます。



3 [詳細]をクリックします。



4 [プロキシ]タブをクリックし、以下の設定を行います。



以上で設定は完了です。

パソコンと本製品を直接接続すると、STATUS ランプが赤点滅する

原因	はじめて本製品をパソコンに直接接続した。
対処	設定画面で本製品の IP アドレスを固定に設定し、電源ボタンを押して本製品の電源を切り (シャットダウン) 後、再度本製品の電源を入れると STATUS ランプが緑色に点灯します。

LAN DISK の名前を変更したい

対処 [【LAN DISK の名前を変更する】](#) (9-56 ページ) をご覧ください。

ファイアウォールソフトで、LAN DISK に対してアクセスを許可させたい場合、どのポート番号で設定すればよいかわからない

対処 137 ~ 139 番、445 番のポートに対してアクセスを許可する設定を行ってください。
詳しい設定方法については、アプリケーションメーカーにご確認ください。

パソコンの IP アドレスがわからない

対処 添付ユーティリティ「Magical Finder」で確認することができます。
以下をご覧ください。

Magical Finder でパソコンの IP アドレスを確認する

- 1 「Magical Finder」を起動します。
- 2 「IP 設定」ボタンをクリックします。
- 3 管理者パスワードを入力後（出荷時はパスワードは設定されていません）、[OK] ボタンをクリックします。
- 4 表示された「IP アドレス設定」画面の「このコンピューターの IP アドレス」で確認できます。



TimeMachine 機能を有効にしてしまった

対処 USB 接続時にフォーマットしてしまった場合、あるいは Mac OS X に接続して TimeMachine 機能を有効にした場合、そのままでは LAN 接続で使用できなくなります。
LAN 接続で使用したい場合は、LAN 接続の上で設定画面を開き [ディスク] 項目からフォーマットを行ってください。
※フォーマットを行った場合記録されていたデータは失われます。必要なデータが含まれている場合は別の媒体等へデータの退避を行ってください。

本製品へのアクセス時のトラブル

「LANDISK」のアイコンを開いたり、共有フォルダーを開こうとすると、「アクセス権限が無い」とエラーが表示されたり、ユーザー名とパスワードを入力する画面が表示される

原因	共有フォルダーにアクセス権限の設定を行っていて、本製品に登録したユーザー名、パスワードと、パソコンからログオンしたユーザー名とパスワードが一致していない。
対処	ネットワークログオン時に入力する [ユーザー名]、[パスワード] と本製品に登録したユーザーの [ユーザー名]、[パスワード] が一致するように、本製品とパソコンの設定をご確認ください。 パソコンの設定については、次を確認してください。 ▼ Windows の場合 OS 側にユーザー登録しなおします。 ユーザー登録されていない場合には、本製品に登録した [ユーザー名] [パスワード] と同じユーザーアカウントを作成してください。 ▼ Mac OS の場合 [移動] → [サーバへ接続...] で本製品の IP アドレスを設定後、[接続] ボタンをクリックした際に表示される画面で、[登録ユーザー] を選択し、[名前] と [パスワード] に本製品に登録した [ユーザー名] と [パスワード] を入力してください。

Mac OS から書き込んだファイルを Windows から削除すると、本製品の共有へ Mac OS からファイル保存ができなくなる

原因	本製品のシステムに採用されている Windows サービスと Macintosh サービス間のファイル保存情報に不整合が生じるため。
対処	Mac OS のデスクトップ上にマウントした共有を一度、ゴミ箱へ捨て再度、Finder から本製品の共有へアクセスしてください。

本製品にネットワーク経由で接続するパソコンの台数に制限はありますか？

対処	本製品にネットワーク経由で接続可能な端末数について、Windows では制限は設けておりませんが、同時接続台数が増加するとパフォーマンスが低下します。 ・ Windows パソコンの場合：推奨する同時接続台数は 8 台まで（ネットワークドライブの割り当ても同様です。） ・ Mac OS パソコンの場合：推奨する同時接続台数は 8 台まで（最大 16 台まで）
----	--

LAN DISK にアクセスできないパソコンがある（他のパソコンからはすでに LAN DISK にアクセスできている場合）

対処	<p>すでに別のパソコンが LAN DISK にアクセスできている場合、LAN DISK 自体の動作、設定には問題がないため、LAN DISK 自体の設定変更を行う必要はありません。</p> <p>LAN DISK に接続できないパソコンで以下の点をご確認ください。</p> <p>▼ Windows の場合</p> <p>「コンピューターの検索」にて LAN DISK の名前ではなく、本製品に設定されている IP アドレスで検索を行ってみてください。</p> <p>● IP アドレスの検索で見つかる場合</p> <p>TCP/IP で正しく通信できていますので、IP アドレス設定は正常です。</p> <p>また、検索の結果表示された共有フォルダーへのアクセスをお試しください。</p> <p>● IP アドレスの検索で見つからない場合</p> <p>検索した IP アドレスが LAN DISK に設定されたものではない、または IP アドレスが正しく設定されていない可能性があります。以下の点をご確認ください。</p> <p><本製品の IP アドレスに PING を実行する></p> <p>① [スタート] → [プログラム (すべてのプログラム)] → [アクセサリ] → [コマンドプロンプト] をクリックします。</p> <p>② 「ping」と入力し、スペースを 1 文字あけてから、本製品の IP アドレスを入力し Enter キーを押します。</p> <p>入力例) C:\xxxxx>ping 192.168.0.200 [Enter]</p> <p>③ 応答メッセージが表示されますので、メッセージ内容によりそれぞれの対処をご確認ください。</p> <p><「Reply from・・・」と応答があった場合></p> <p>OS のファイル共有サービスが正しく動作していない可能性があります。</p> <p>お使いの LAN アダプターのドライバーを再インストールしてみてください。</p> <p><「Request time out」と応答があった場合></p> <ul style="list-style-type: none">・本製品の IP アドレスが、パソコンの IP アドレスと同じセグメントの IP アドレスになっているかを確認してください。 [MagicalFinder] より確認することができます。・ファイアウォールソフトがインストールされている場合には、一時的に機能を無効にしてみてください。 <p>▼ Mac OS の場合</p> <p>[[landisk-xxxxxx]が見つからない、もしくは、接続できない] (14-93 ページ) をご確認ください。</p>
----	---

[disk]、[iTunes] フォルダを削除した後に、リモートリンク 2 機能や iTunes 機能が使いたい

対処	新規で [disk]、[iTunes] の名前で共有フォルダを作成してください。アクセス権限は必ず「全共有」で設定してください。
----	--

Windows の場合

[コンピューターの検索] で [landisk-xxxxxx] が見つからない

原因	ネットワークの参照に時間がかかっている。
対処	[表示] メニュー → [最新の情報に更新] をクリックしてください。

原因	本製品がネットワークに正しく接続されていない。
対処	本製品の電源が入っているか (STATUS ランプが点灯しているか)、接続ケーブルが LAN に接続されているか確認してください。 (本製品を接続したブロードバンドルーターやハブあるいはパソコン側の LAN ポートのランプが点灯または点滅していることも確認してください。)

原因	ファイアウォール系のソフトウェアを使用している。
対処	ファイアウォール系のソフトウェアで、本製品のコンピュータ名（初期値は「Landisk-xxxxxx」※）や本製品の IP アドレス（DHCP から IP 自動取得）を使用できるように設定してください。 ※ xxxxxx は MAC アドレスの下 6 桁 詳しくは、お使いのソフトウェアの取扱説明書をご覧ください。

原因	本製品の IP アドレスを変更後、検索しようとしている。
対処	パソコンを一度再起動する必要があります。 Windows が以前の情報を保持しているため、再起動で保持している情報を一度クリアする必要があるからです。

原因	Windows のネットワーク機能が不安定なため、ネットワーク参照が正しく行えない。
対処	<ul style="list-style-type: none"> 設定画面が開けることをご確認ください。 LAN アダプターが正常に認識されていることをご確認ください。（詳しくは、各 LAN アダプターの取扱説明書をご覧ください。）

原因	パソコン側の名前解決がうまくいっておらず、[landisk-xxxxxx](LAN DISK の名前)の文字での検索では検索されない。
対処	本製品の IP アドレスは、Magical Finder で確認できます。（表示されている [IP アドレス] が本製品の IP アドレスです。）

原因	お使いのネットワークの IP アドレスのセグメントが本製品の IP アドレスと異なっている。
対処	<ul style="list-style-type: none"> ●ブロードバンドルーターなどの DHCP サーバーをお使いの環境の場合 いったん本製品の電源を入れ直して、再度検索できるかどうかお試しください。 ●DHCP サーバーがない場合 本製品の IP アドレスをお使いのネットワークに合った IP アドレスに変更してください。

原因	本製品とお使いのパソコンのワークグループ名が異なる。
対処	<p>本製品とパソコンのワークグループ名を一致するように設定してください。</p> <ul style="list-style-type: none"> 本製品のワークグループ名 【機器情報・設定】（13-71 ページ）をご覧ください。 パソコンのワークグループ名 【Windows パソコンの [ワークグループ名] がわからない】（14-105 ページ）をご覧ください。

Windows 上から本製品を参照した場合に、見覚えのないフォルダーやファイルがある

原因	Mac OS で、フォルダーを作成したり、ファイルをコピーした。
対処	<p>Mac OS で、フォルダーを作成したり、ファイルをコピーした際は、作成したファイル（フォルダー）の他に、別のファイル（フォルダー）が作成されます。（例:「.AppleDouble、.AppleDB」など、Windows 上から見ると、見覚えの無いファイル、フォルダーになります。）</p> <p>このファイル（フォルダー）には、Mac OS ユーザー用の必要な情報が書き込まれていますので、削除しないでください。</p>

原因	アプリケーションが作業中に作成・削除した。
対処	<p>アプリケーションによっては、作業ファイルを作成・削除するものがあります。</p> <p>そのため、[ごみ箱] フォルダーにファイルやフォルダーがある場合があります。</p>

ユーザー権限共有フォルダーにログオンしようすると、エラーメッセージが出てきてログオンができない

原因	LAN DISK に登録したユーザー名・パスワードと、Windows に登録したユーザー名とパスワードが一致していない可能性が考えられます。
対処	LAN DISK に登録したユーザー名・パスワードを、Windows でも作成し、OS ログオン時にそのユーザー名・パスワードを使ってログオンしてください。

Mac OS の場合

[landisk-xxxxxx] が見つからない、もしくは、接続できない

原因	本製品がネットワークへ正しく接続されていない。
対処	本製品の電源が入っているか (STATUS ランプが点灯しているか)、接続ケーブルが LAN に接続されているか確認してください。 (本製品を接続したブロードバンドルーターやハブあるいはパソコン側の LAN ポートのランプが点灯または点滅していることも確認してください。)
原因	ファイアウォール系のソフトウェアを使用している。
対処	ファイアウォール系のソフトウェアで、本製品のコンピューター名 (初期値は「Landisk-xxxxxx」) や本製品の IP アドレスを使用できるように設定してください。 詳しくは、お使いのソフトウェアの取扱説明書をご覧ください。
原因	LAN DISK の名前で検索できない。
対処 1	[サーバへ接続] 画面で、本製品の IP アドレスを使用して接続してください。 入力する IP アドレスは、本製品に設定されている IP アドレスを入力します。 ※本製品の IP アドレスは、Magical Finder で確認できます。(表示されている [IP アドレス] が本製品の IP アドレスです。) 例) IP アドレス (192.168.0.200) を指定して接続する場合 : smb://192.168.0.200/
対処 2	Web ブラウザー「Safari」を起動し、ブックマークの [Bonjour] (または、[Rendezvous]) に LANDISK-xxxxxx ※が表示されていることを確認します。 ※ xxxxxx は MAC アドレスの下 6 桁 ※本製品の [LANDISK の名前] を変更している場合は、変更後の名前

設定画面に関するトラブル

(Windows) ネットワークに導入後、本製品の設定画面が表示されない

対処 1 デスクトップ上にある、[LANDISK-xxxxxxWEB 設定画面] ショートカットから開いてみてください。

対処 1 [Magical Finder] を起動し、本製品を検索してください。
詳しくは、【[セットアップする](#)】(2-9 ページ) をご覧ください。

対処 2 セキュリティー関連のソフトウェア (ファイアウォールソフト) の動作を一時的に停止していただき、本製品が検索されるかどうかをお試しく下さい。

また、一時的に停止した場合に検索されるようになった場合には、ファイアウォールソフトの除外設定を行うと、ファイアウォールソフトを動作させたまま、本製品を検索することが可能となります。

(詳しいソフトウェアの操作方法については、ソフトウェアメーカーにお問い合わせください)。

<参考 : WindowsXP Service Pack 2 以降の Windows ファイアウォール機能の除外設定>

- ① [Magical Finder] をパソコンにインストールします。
- ② [スタート] → [コントロールパネル] → [セキュリティセンター] を開きます。
- ③ 一番下の [Windows ファイアウォール] をクリックします。
- ④ [例外] タブをクリックし、[プログラムの追加] ボタンをクリックします。
- ⑤ 一覧から [MagicalFinder] を選択し、[OK] ボタンをクリックします。
- ⑥ 「プログラムおよびサービス」の一覧に Magical Finder が追加されることを確認し、[OK] ボタンをクリックします。

以上で Windows XP Service Pack 2 以降のファイアウォール機能を有効にした状態で、本製品の動作は制限されず検索が行えます。
[スタート] → [すべてのプログラム] → [I-O DATA]-[Magical Finder] をクリックすると、Magical Finder が起動し、本製品が検索されます。

設定変更や設定画面を開く際にご利用ください。

(Mac OS) ネットワークに導入後、本製品の設定画面が表示されない

原因 接続が正しく行われていない。

対処 以下をご確認ください。

- ・本製品の電源が入っている (STATUS ランプが緑色に点灯している)
- ・接続ケーブルが正しく LAN に接続されている
- ・本製品を接続したブロードバンドルーター、ハブ、パソコン側の LAN ポートのランプが点灯または点滅している

原因 セキュリティー関連のソフトウェアが制限している。

対処 セキュリティー関連のソフトウェアのファイアウォール機能により制限されている場合があります。
ファイアウォール機能を本製品設定時のみ解除していただくか、本製品のソフトウェアはファイアウォールの制限を受けないように設定を変更してお試しく下さい。
なお、ファイアウォール機能に関する設定については、セキュリティ関連のソフトウェアメーカーにお問い合わせください。

原因 (本製品に固定の IP アドレスを設定した場合)

本製品と設定用パソコンの IP アドレスのネットワークアドレス部が合っていない。
対処 お使いのパソコンの IP アドレスが例えば「192.168.1.xxx」に設定されている環境で、本製品の IP アドレスが「192.168.0.200」に設定されているなど、ネットワークアドレスが合っていないことが考えられます。
本製品の IP アドレスの設定を、お使いのネットワーク環境にあわせて設定し直してください。

原因 本製品が DHCP クライアントに設定されているため、IP アドレスがわからない。

対処 本製品の IP アドレスは、Magical Finder で確認することができます。表示されている [IP アドレス] が本製品の IP アドレスです。

原因	設定画面を開こうとしているパソコンの IP アドレス設定が間違っている。
対処	設定画面を開こうとしている以外のパソコンで、設定画面が開けないかお試しください。 開ける場合は、開けなかったパソコン側の IP アドレスの設定が本製品にアクセスできる設定になっていない可能性があります。本製品を設定時にパソコンの IP アドレスやサブネットマスクを一時的に変更していた場合などは、本製品設定前の IP アドレスやサブネットマスクに戻してください。

原因	以前に設定した本製品の IP アドレスが間違っている、あるいは、正しく設定していなかった。
対処	[RESET] ボタンで、本製品の IP アドレスを出荷時設定に戻してください。 【IP アドレス、管理者パスワードのみを出荷時設定に戻す】 (10-61 ページ) 出荷時設定に戻した後、再度最初から本製品の IP アドレスの設定をやり直してください。

原因	Web ブラウザーが、プロキシ経由でインターネット接続するようになっている。
対処	Web ブラウザーがプロキシサーバーを使用する設定になっている場合、本製品の設定画面を呼び出すことができません。 次のページをご覧ください、Web ブラウザーの設定でプロキシサーバーを使わない設定にしてください。 本製品の設定終了後は、プロキシ設定を元に戻してください。 【Mac OS でプロキシサーバー設定を無効にする設定】 (14-88 ページ)

設定画面で一部表示されない項目がある

原因	セキュリティ関連のソフトウェアの影響により表示されない。
対処	セキュリティ関連のソフトウェアのファイアウォール機能により制限されている場合があります。 ファイアウォール機能を本製品設定時のみ解除していただくか、本製品のソフトウェアはファイアウォールの制限を受けないように設定を変更してお試しください。 なお、ファイアウォール機能に関する設定については、ソフトウェアメーカーにお問合せください。

原因	Web ブラウザーのセキュリティレベルが高く設定されている。
対処	本製品の設定時のみセキュリティレベルを「中」に設定してください。 設定後は、元の「高」設定に戻してください。 ■ Internet Explorer 6 (Windows) をご利用の場合 ①デスクトップにある「Internet Explorer」のアイコンを右クリックし、メニューの中の「プロパティ」をクリックし、「インターネットオプション」もしくは「インターネットのプロパティ」を開いてください。 ②「セキュリティ」タブをクリックし、「このゾーンのセキュリティレベル」を「中」に合わせます。 ③「OK」ボタンをクリックします。

設定画面で文字が入力できない

原因	入力箇所をクリックしていない。
対処	一度入力したい箇所をクリックしてから入力してください。

原因	入力できない文字を入力しようとしている。
対処	入力できる文字かを確認してから入力してください。 本製品の設定画面上で入力できる文字には制限があります。 【文字制限一覧】 (12-68 ページ) をご覧ください。

設定画面上から入力できる文字制限について

対処	【文字制限一覧】 (12-68 ページ) をご覧ください。
----	--------------------------------------

パスワード認証に失敗し設定画面を表示できない

原因	パスワードが間違っている。
対処	出荷時設定では、「パスワード：(なし)」に設定されています。 出荷時設定の場合は、パスワード入力欄には何も入力せずに [OK] ボタンをクリックすれば設定画面が表示されます。 設定画面の [管理者パスワードの変更] でパスワードを設定した場合は、そのパスワードをパスワード入力欄に入力する必要があります。 再度パスワードをご確認いただき入力しなおしてみてください。 パスワードを忘れてしまった場合は、 【IP アドレス、管理者パスワードのみを出荷時設定に戻す】 (10-61 ページ) をご覧になり、出荷時状態に戻してください。

原因	空白 (スペース) のみのパスワードになっている。
対処	パスワード無しに設定したつもりで、空白 (スペース) で設定されていることがありますので、空白 (スペース) を入力してみてください。ログオンできない場合は、上の対処をご覧ください。

設定画面にログオンするためのパスワードがわからない

対処	出荷時設定では、「パスワード：(なし)」に設定されています。 出荷時設定の場合は、パスワード入力欄には何も入力せずに [OK] ボタンをクリックすれば設定画面が表示されます。 設定画面の [管理者パスワードの変更] でパスワードを設定した場合は、そのパスワードをパスワード入力欄に入力する必要があります。 再度パスワードをご確認いただき入力しなおしてみてください。 パスワードを忘れてしまった場合は、 【IP アドレス、管理者パスワードのみを出荷時設定に戻す】 (10-61 ページ) をご覧になり、出荷時状態に戻してください。
----	---

「現在処理中です。」とメッセージが表示された

原因	設定処理実行中に他の設定をしようとした。 設定処理の途中で別の設定を行おうとすると上記メッセージが表示されることがあります。
対処	他の設定処理が実行中でないかご確認ください。

原因	ファームウェアが正常に動作していない。
対処	①いったん、本製品の電源を入れ直して、同様の操作をしてみてください。 ②本製品の初期化を行ってください。詳しくは、 【出荷時設定に戻す】 (10-61 ページ) をご覧ください。

設定画面上のハードディスク使用領域が、ドライブのプロパティと異なる

対処	ハードディスクに問題はありません。本製品が使用するファームウェアの制限です。
----	--

設定画面の動作が遅い

原因	ファイル転送中など、本製品の処理動作中である。 以下の動作中は、本製品の操作・動作が遅くなる場合があります。 ・ファイル共有サービス転送中 / 再生中 ・iTunes データベース更新中 ・スピンアップ中
対処	処理が終了するまでお待ちください。

本製品の IP アドレスについて

本製品に設定した IP アドレスを忘れた、本製品に設定されている IP アドレスを調べたい

ご注意

DHCP サーバーのあるネットワークで確認する場合は、毎回以下の手順を行うことをおすすめします。

DHCP サーバーは常に固定の IP アドレスを割り当てるわけではありません。

下記手順でいったん確認できた IP アドレスも、本製品の電源を入れなおした後や DHCP サーバーを再起動した場合などには、本製品やパソコンに割り当てられた IP アドレスが変更されている場合もあります。

対処 1 添付ユーティリティ **Magical Finder** を起動してください。
表示されている [IP アドレス] が本製品の IP アドレスです。

対処 2 (DHCP サーバーのあるネットワークの場合)
DHCP サーバー内の情報から確認します。
ご使用のブロードバンドルーターなどの DHCP サーバーが、本製品に割り当てた IP アドレスの情報を記録している場合があります。詳しくは、DHCP サーバーとなっている機器の取扱説明書などをご覧ください。

ファイルの保存について

ファイル名やフォルダー名の制限について

対処 本製品に保存できるファイルやフォルダー名は、文字制限があります。以下をご覧ください。
【文字制限一覧】(12-68 ページ) をご覧ください。

共有フォルダーにファイルをコピーする際のサイズの制限はありますか？

対処 特に制限はありません。

USB 接続モードで作成したフォルダーは LAN 接続モード時に使用できますか？

対処 USB 接続モード、LAN 接続モードの両方で同じフォルダーを使用したい場合は、LAN 接続モードで作成した「共有フォルダ」をご使用ください。
USB 接続モードで「共有フォルダ」外に作成したフォルダーは、LAN 接続モードでは使用できません。

ランプやブザーについて

STATUS ランプが赤く点滅している

原因	正しく接続されていない。
対処	いったん本製品の電源ボタンを押して電源を切り、LAN ケーブルが正しく接続されていることを確認してから、再度電源を入れてください。

原因	DHCP サーバーから本製品の IP アドレスが取得できていない。 ※本製品の DHCP クライアント設定が on(出荷時設定)に設定されている場合で、接続したネットワークに DHCP サーバーが見つからない場合は、STATUS ランプが赤く点滅します。
対処	接続したネットワーク内の DHCP サーバーが正常に起動していることをご確認ください。 ※ DHCP サーバーから正常に IP アドレスなどの割り当てが受けられない場合、本製品は自動的に、AutoIP アドレス：169.254.xxx.xxx に設定されます。

原因	DHCP サーバーがない環境で使用している、あるいは、DHCP サーバーと本製品の組み合わせにより IP アドレスが割り当てられない。
対処	本製品の IP アドレスを手動で固定の IP アドレスに設定してください。 【セットアップする】 (2-9 ページ)

原因	本製品が取り扱えない USB 機器が USB[HOST] ポートに接続された。
対処	本製品で取り扱えない USB 機器あるいはフォーマット形式の装置が USB[HOST] ポートに接続された場合、接続に失敗したことを STATUS ランプの赤点滅で表示します。この場合は該当する USB 機器を本製品から取り外してください。しばらくして緑点灯に変わります。

パソコンと本製品を直接接続すると、STATUS ランプが赤点灯する

対処	【パソコンと本製品を直接接続すると、STATUS ランプが赤点滅する】 (14-88 ページ) をご覧ください。
----	---

ランプとブザーの動作について知りたい

対処	以下をご覧ください。 【ランプ・ブザー別の対応】 (11-63 ページ)
----	--

iTunes サーバー機能使用時のトラブル

iTunes に本製品が表示されない

原因	接続が正しく行われていない。
対処	本製品の電源が入っているか (STATUS ランプが点灯しているか)、接続ケーブルが LAN に接続されているか確認してください。 (本製品を接続したブロードバンドルーターやハブの LAN ポートのランプが点灯または点滅していることも確認してください。)

原因	iTunes を実行するパソコンと本製品が通信できない設定になっている。
対処	iTunes を実行するパソコンより、本製品の設定画面を開けることを確認してください。 【Windows から Magical Finder で設定画面を開く】(2-17 ページ)

原因	本製品の「iTunes Server」設定が有効になっていない。
対処	設定画面の [サービス] → [iTunes] をクリックし、[iTunes] が ON に設定されていることをご確認ください。

原因	本製品が再起動中である。
対処	本製品が起動するまで (STATUS ランプが緑色に点灯するまで) お待ちください。

iTunes に表示されない、あるいは、再生できないファイルがある

原因	本製品が対応していないファイルフォーマットである。
対処	本製品は以下のファイル拡張子のファイルにのみ対応しています。 ※最新の対応情報は弊社ホームページ (http://www.iodata.jp/) をご覧ください。
種類	ファイル拡張子
音楽	mp3 m4a
※ファイルによっては、上記ファイル拡張子でも再生できない場合もあります。	

原因	iTunes Server 機能にて公開している共有に非常に多くのファイルが入っている。
対処	iTunes Server 機能にて公開している共有に非常に多くのファイルが入っている場合には、表示されるまでに待たされることがあります。 この場合、iTunes 用データベースの更新が行われている場合がありますので、しばらくお待ちください。 ※1万ファイル以内でご利用ください。

iTunes から本製品のファイルやフォルダーを見ることができない

原因	本製品側で「iTunes Server 機能」の設定が有効になっていないことが考えられます。
対処	以下の手順を行います。 ①設定画面から [iTunes 設定] ボタンをクリックし、表示される公開フォルダー一覧に公開したいフォルダーのフォルダー名が表示されていることを確認します。 ②表示されていなかった場合、[公開フォルダーを追加する] をクリックし、表示される [新しい公開フォルダーの作成] 画面で公開したいフォルダーを選択します。 この設定で、iTunes 画面に本製品のログインアイコンが自動的に表示されます。 表示されたら、アイコンをクリックし、本製品上のファイルの再生をお試しください。

iTunes サーバー機能で公開したファイルが iTunes に正しく表示されない、あるいは再生できないファイルがある

原因	iTunesServer 機能で公開する共有フォルダーに、音楽ファイルを追加、削除した後、iTunes Server のデータベースの更新を行ってない。
対処	iTunesServer 機能で公開する共有フォルダーに、音楽ファイルを追加、削除した後、本製品の設定画面上の [iTunes 更新] ボタンをクリックしてデータベースの更新を行う必要があります。

原因	MP3 の ID3 タグ情報の文字は UTF-16 のエンコーディングに対応しています。 UTF-16 以外の形式でエンコードされた ID3 タグ情報は、iTunes 上で曲名、アーティスト名、アルバム名などの情報が文字化けして見える場合があります。
対処	曲名、アーティスト名、アルバム名などの情報が文字化けするファイルをいったん本製品の共有フォルダーから、iTunes を実行するパソコンに移動し、iTunes にて「ID3 タグを変換」を行ってください。

リモートリンク 2 機能使用時のトラブル

リモートリンク 2 が接続できなくなった

原因	インターネットサービスプロバイダがメンテナンスなどでインターネット接続が不通になっている。
対処	インターネットアクセスを確認し、[リモートリンク 2 設定] を再度設定してください。

原因	ブロードバンドルーターを設定変更、または再起動したため、UPnP ポート設定が初期化され、アクセスできなくなった。
対処	本製品の再起動を行ってください。それでも接続できない場合は、[リモートリンク 2 設定] を再度設定してください。

リモートリンク 2 を使用中に「通信エラーが発生しました。」と表示される

原因	インターネット回線の状態が一時的に悪化し、操作中の処理が失敗した。
対処	いったんログアウトし、しばらく待ってからログインしてから操作を行ってください。 それでも同様のエラーメッセージが表示される場合は、本製品の設定を確認してください。

原因	自宅のルーターのグローバル IP アドレスが更新された。
対処	いったんログアウトし、10 分以上待ってから再度ログインし操作を行ってください。 それでも同様のエラーメッセージが表示される場合は、本製品の設定を確認してください。

コンテンツの再生ができない

原因	インターネット回線の状態によってはスループット不足によりコンテンツの再生が正常に行えない場合があります。
対処	本製品および、ホームメディアリンククライアントを動作させるインターネット環境は光回線（10Mbps 以上の通信速度を維持できること）を推奨します。

内蔵および外付ハードディスクについて

外付ハードディスクを接続するとブザーが「ピーピーピー」と鳴り、STATUS ランプが赤点滅したままとなる

原因	FAT/NTFS 以外のフォーマット形式の外付ハードディスクを接続した。 FAT/NTFS 以外のフォーマット形式としては以下のような場合があります。 <ul style="list-style-type: none">・ Mac OS で使用していたハードディスク・ 未フォーマット状態のハードディスク・ 他の LAN DISK 製品で専用フォーマットにした外付ハードディスク
対処	いったんケーブルを抜いて FAT/NTFS 形式にパソコンなどでフォーマットしてから再度接続する必要があります。

外付ハードディスクのパソコンでのフォーマット方法について

対処	FAT32 や NTFS 形式のハードディスクはそのまま Windows パソコンではご利用になれます。 再度フォーマットする場合などのフォーマット方法の詳細については、お使いの外付ハードディスクの取扱説明書を参照してください。 ※フォーマットするとデータはすべて消去されます。 ※本製品をパソコンに直接接続して、フォーマットすることはできません。
----	---

ハードディスクの不良で内蔵 HDD 交換が必要な場合は？

対処	以下の場合が考えられます。 内蔵ハードディスクの状態については、本製品の設定画面左側 [ディスク状況] でご確認ください。 <ul style="list-style-type: none">① 「S.M.A.R.T 自己診断機能」で異常と判断されたハードディスク システムログには、[ディスクに故障があります] と表示されています。② アクティブリペアで修復不能の場合と判断されたハードディスク③ エラーが多数発生しているハードディスク システムログには、[エラーが多発しています] と表示されています。
----	--

本製品に接続可能なハードディスクについて

対処	【動作環境】 (12-66 ページ) をご覧ください。
----	------------------------------------

デフラグ機能はありますか？

対処	本製品にデフラグ機能はありません。
----	-------------------

省電力機能が働かない

原因	本製品のシステムがアクセスしている。
対処	本製品のシステムが必要なファイルにアクセスする場合があります。

タイムサーバー機能使用時のトラブル

タイムサーバーとの同期が行われない

原因	[ネットワーク設定] で正しく設定されていない。
対処	<p>[ネットワーク設定]で「デフォルトゲートウェイ」と「DNS サーバー」を DHCP サーバーから自動で取得していない場合は、以下を確認してください。</p> <p>設定画面の [ネットワーク設定] で、「デフォルトゲートウェイ」と「DNS サーバー」を正しく設定してください。</p> <p>入力するデフォルトゲートウェイと DNS サーバーの IP アドレスは、パソコンで設定されているものと同じ値に設定してください。</p> <p>以下の手順で確認した IP アドレスを、本製品の「ネットワーク設定」画面に入力してタイムサーバーとの同期とメール通知テストで送信ができるかどうかご確認ください。</p> <p>【デフォルトゲートウェイと DNS サーバーの確認方法】</p> <ul style="list-style-type: none">● Windows 7、Vista の場合 <ol style="list-style-type: none">① [スタート] → [すべてのプログラム] → [アクセサリ] → [コマンドプロンプト] をクリックします。② ipconfig /all と入力して Enter キーを押します。③ [デフォルトゲートウェイ] と「DNS サーバー」の IP アドレスを確認します。 <ul style="list-style-type: none">● Windows XP の場合 <ol style="list-style-type: none">① [スタート] → [(すべての) プログラム] → [アクセサリ] → [コマンドプロンプト] を開きます。② ipconfig /all と入力して Enter キーを押します。③ [Default Gateway] と [DNS Servers] の IP アドレスを確認します。 <ul style="list-style-type: none">● Mac OS X の場合 <ol style="list-style-type: none">① [アップルメニュー] → [システム環境設定] で [ネットワーク] を開きます。② [Ethernet] を選択し、表示された [ルーター] [DNS サーバ] の IP アドレスを確認します。

パソコンのネットワーク設定について

パソコンの IP アドレスがわからない

対処 以下をご覧ください。

【パソコンの IP アドレスがわからない】(14-89 ページ)

Windows パソコンの [ワークグループ名] がわからない

対処 ● Windows 7 の場合

- ① [スタート] をクリック後、[コンピューター] を右クリックし、[プロパティ] をクリックします。
- ② 「コンピューター名、ドメインおよびワークグループの設定」のワークグループの欄で確認できます。

● Windows Vista の場合

- ① [スタート] をクリック後、[コンピュータ] を右クリックし、[プロパティ] をクリックします。
- ② 「コンピュータ名、ドメインおよびワークグループの設定」のワークグループの欄で確認できます。

● Windows XP の場合

- ① [スタート] をクリック後、[マイコンピュータ] を右クリックし、[プロパティ] をクリックします。
- ② [システムのプロパティ] 画面で [コンピュータ名] タブをクリックすれば確認できます。

(Windows) ネットワークドライブの割り当て方法がわからない

対処 ①本製品の共有フォルダーの一覧を開きます。

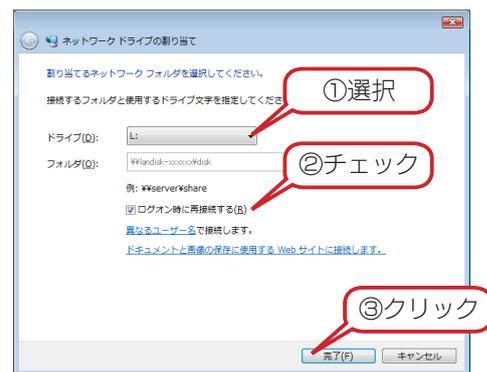
② [disk] フォルダーを右クリックし、表示されたメニューの [ネットワークドライブの割り当て] をクリックします。

③ネットワークドライブを割り当てます。

1. [ドライブ] で本製品に割り当てる文字を選びます。
2. [ログオン時に再接続する] にチェックを付けます。
3. [完了] (または [OK]) ボタンをクリックします。

※ドライブの割り当てが完了すると、割り当てられたドライブのウィンドウが表示されます。

④ [マイコンピュータ] を開いて、割り当てられたドライブが認識されていることをご確認ください。ネットワークドライブは、パソコンのハードディスクと同様にアクセスできます。



(Windows) [ローカルエリア接続] アイコンに×マークが付いている

原因 LAN ケーブルが正しく接続されていない。

対処 パソコンに LAN ケーブルが接続されているか、また、パソコン接続先のネットワーク機器 (ルーターやハブなど) に LAN ケーブルが接続されているかご確認ください。

原因 LAN ケーブルに問題がある。

対処 LAN ケーブルを交換してお試しください。

パソコンに固定の IP アドレスを設定するには

対処 以下をご覧ください。

パソコンに固定の IP アドレスを設定する方法

以下は、パソコンに固定の IP アドレス (例は 192.168.0.3) を設定する場合の例です。

一時的に変更する場合などは、必ず以前の [IP アドレス] [サブネットマスク] [デフォルトゲートウェイ] などのアドレスはメモしてください。

ネットワーク内に DHCP サーバーがなく、本製品を固定 IP アドレス設定を行った (192.168.0.200 の IP アドレスを設定した場合) などに、パソコンから設定画面を開く際には、パソコン側は同じネットワークアドレスで別の IP アドレスを設定する必要があります。

Windows 7 の場合

1 [スタート]→[コンピューター]→[ネットワーク]をクリックします。

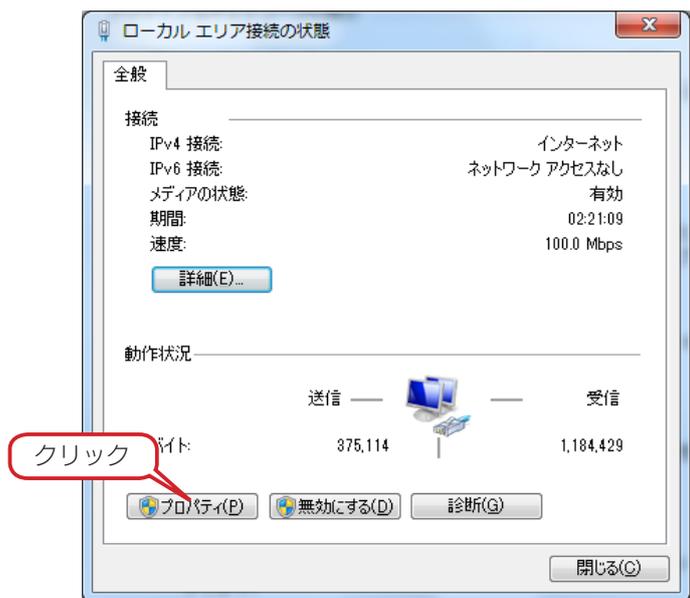
2 [ネットワークと共有センター]をクリックします。



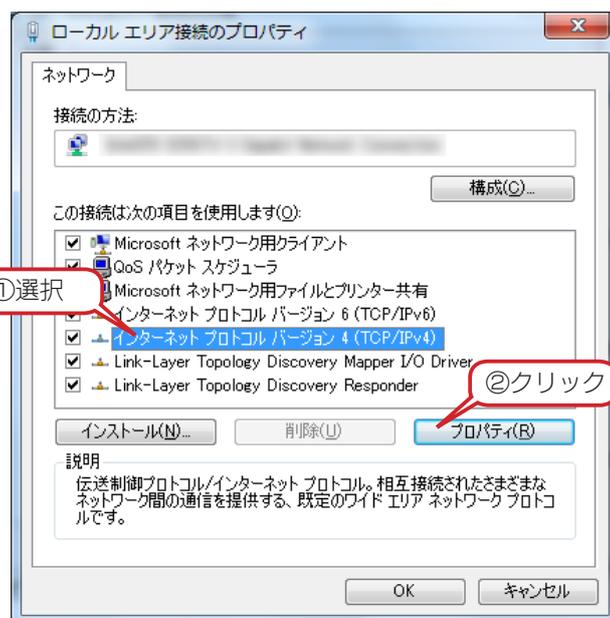
3 [ローカルエリア接続]をクリックします。



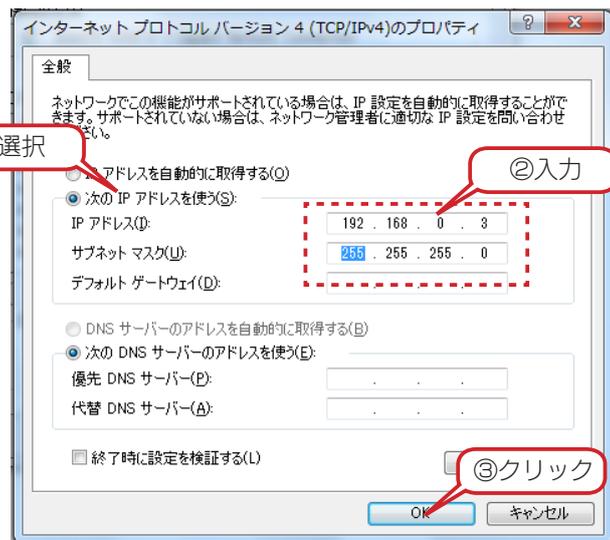
4 [プロパティ]をクリックします。



5 [インターネットプロトコルバージョン 4 (TCP/IPv4)] を選択し、[プロパティ] をクリックします。



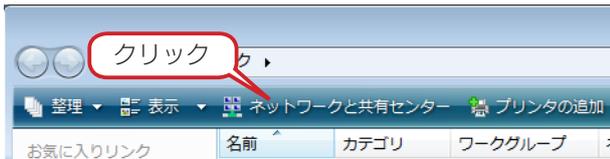
6 [次の IP アドレスを使う] をチェック後、[IP アドレス] [サブネットマスク] を設定後、[OK] ボタンをクリックします。



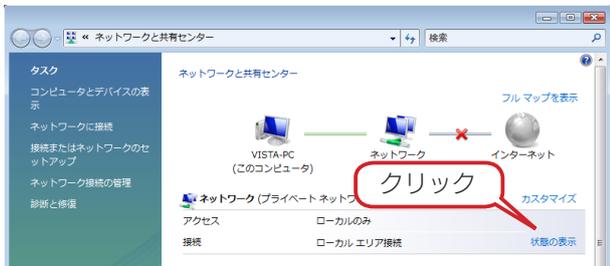
以上で設定終了です。開いた画面を閉じてください。

Windows Vista の場合

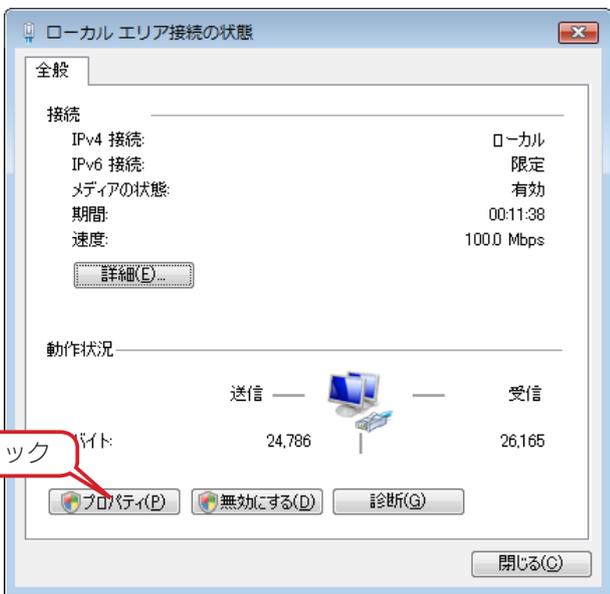
1 [スタート] → [ネットワーク] をクリックし、[ネットワークと共有センター] をクリックします。



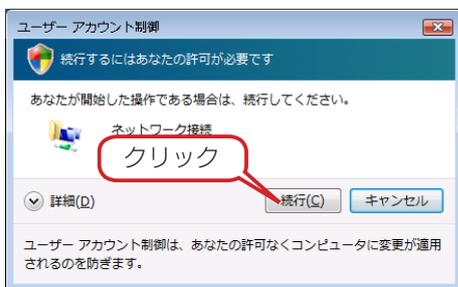
2 [状態の表示] をクリックします。



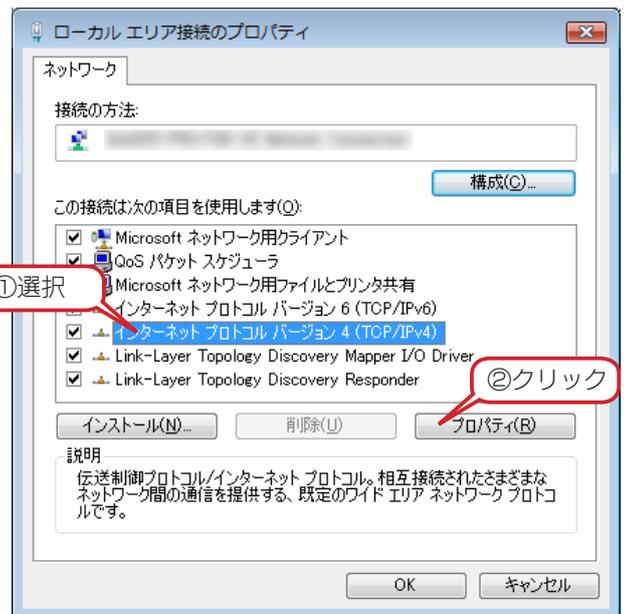
3 [プロパティ] をクリックします。



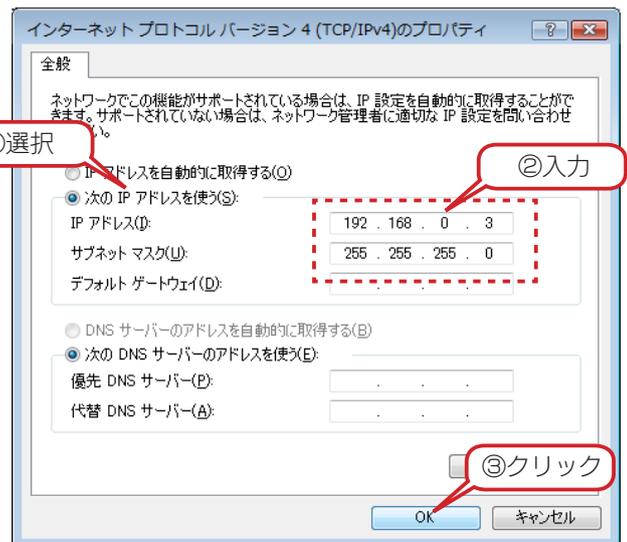
4 以下の確認画面が表示された場合は、[続行] をクリックします。



5 [インターネットプロトコルバージョン 4 (TCP/IPv4)] を選択し、[プロパティ] をクリックします。



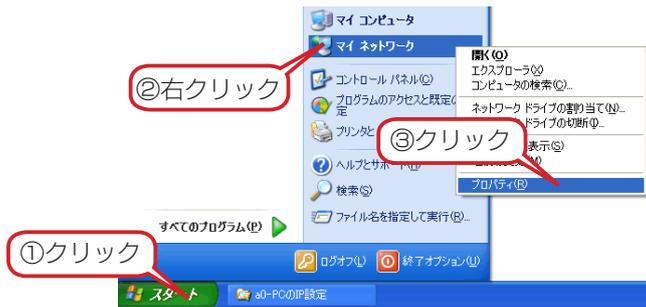
6 [次の IP アドレスを使う] を選択後、[IP アドレス] [サブネットマスク] を設定後、[OK] ボタンをクリックします。



以上で設定終了です。開いた画面を閉じてください。

Windows XP の場合

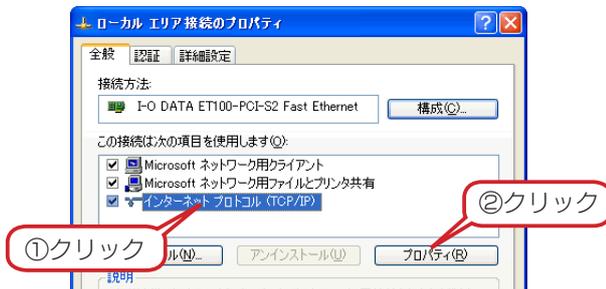
1 [スタート] → [マイネットワーク] を右クリック後、[プロパティ] をクリックします。



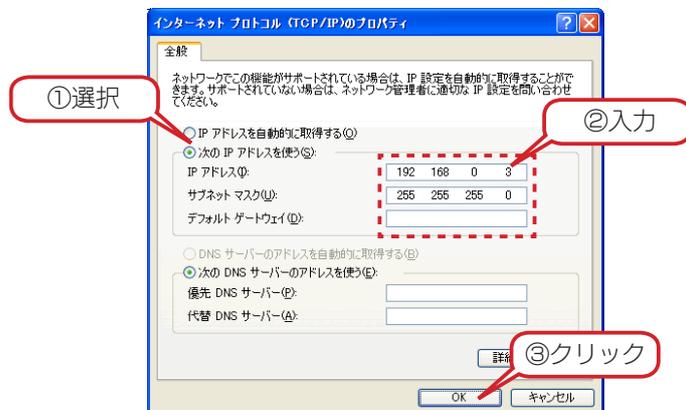
2 [ローカルエリア接続] アイコンを右クリック後、[プロパティ] をクリックします。



3 [インターネットプロトコル (TCP/IP)] を選択後、[プロパティ] ボタンをクリックします。



4 [次の IP アドレスを使う] を選択後、[IP アドレス] [サブネットマスク] を設定後、[OK] ボタンをクリックします。



以上で設定終了です。開いた画面を閉じてください。

Mac OS X の場合

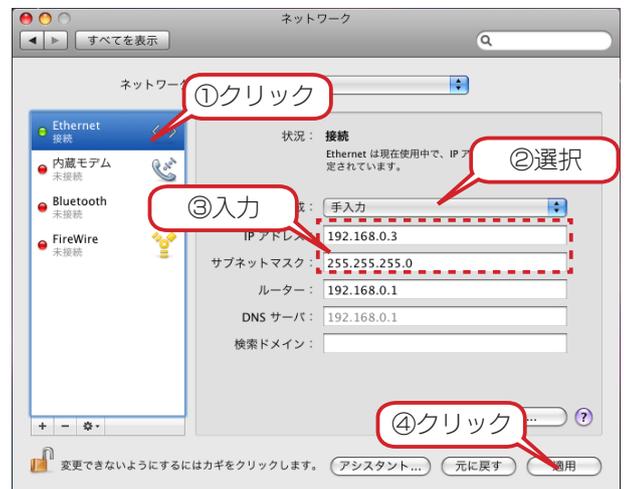
1 [アップルメニュー] → [システム環境設定] をクリックし、[ネットワーク] を選択します。



2 [ネットワーク] を開きます。



3 ①左の欄で [Ethernet] を選択します。
② [構成] を [手入力] に変更します
③以下を設定します。
IP アドレス : 192.168.0.3
サブネットマスク : 255.255.255.0
④ [適用] ボタンをクリックします。



4 画面を閉じて、パソコンを再起動します。

以上で設定終了です。開いた画面を閉じてください。

アフターサービス

※ご提供いただいた個人情報は、製品のお問合せなどアフターサービス及び顧客満足度向上のアンケート以外の目的には利用いたしません。また、これらの利用目的の達成に必要な範囲内で業務を委託する場合を除き、お客様の同意なく第三者へ提供、または第三者と共同して利用いたしません。

お問い合わせについて

必ず以下の内容をご確認ください



本書の「困ったときには」を参照



弊社サポートページの Q&A を参照

→ <http://www.iodata.jp/support/>



最新のドライバソフト等をダウンロード

→ <http://www.iodata.jp/lib/>



それでも解決できない場合は、サポートセンターへ

電話：050-3116-3025

※受付時間 9：00～17：00 月～金曜日（祝祭日をのぞく）

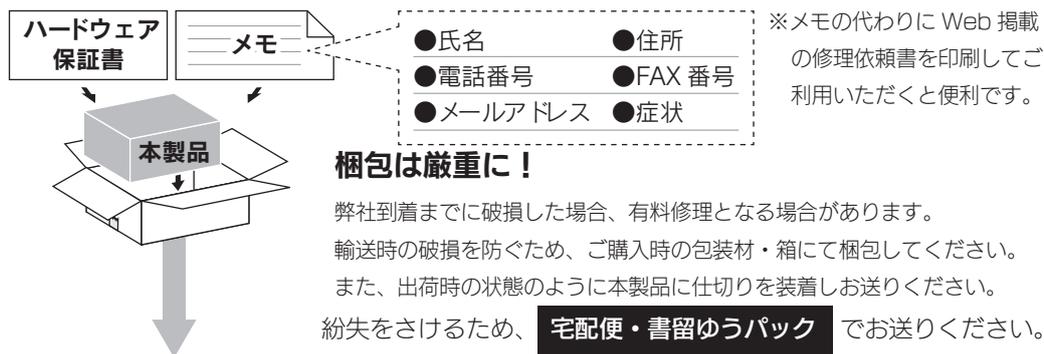
FAX：076-260-3360

インターネット：<http://www.iodata.jp/support/>

<ご用意いただく情報> 製品名 / パソコンの型番 / OS

修理について

修理をご依頼される場合は、以下の要領でお送りください。



〒 920-8513
石川県金沢市桜田町 2 丁目 84 番地
株式会社 アイ・オー・データ機器 修理センター 宛

- 送料は、発送時はおお客様ご負担、返送時は弊社負担とさせていただきます。
- 有料修理となった場合は先に見積をご案内いたします。(見積無料) 金額のご了承をいただいてから、修理をおこないます。
- 内部データは厳密な検査のため、消去されます。何卒、ご了承ください。バックアップ可能な場合は、お送りいただく前にバックアップをおこなってください。弊社修理センターではデータの修復はおこなっておりません。
- お客様が貼られたシール等は、修理時に失われる場合があります。
- 保証内容については、保証規定に記載されています。
- 修理をお送りになる前に製品名とシリアル番号 (S/N) を控えておいてください。

修理について詳しくは… <http://www.iodata.jp/support/after/>

【ご注意】

- 1) 本製品及び本書は株式会社アイ・オー・データ機器の著作物です。
したがって、本製品及び本書の一部または全部を無断で複製、複写、転載、改変することは法律で禁じられています。
- 2) 本製品は、医療機器、原子力設備や機器、航空宇宙機器、輸送設備や機器、兵器システムなどの人命に関する設備や機器、及び海底中継器、宇宙衛星などの高度な信頼性を必要とする設備や機器としての使用またはこれらに組み込んだ使用は意図されておりません。これら、設備や機器、制御システムなどに本製品を使用され、本製品の故障により、人身事故、火災事故、社会的な損害などが生じても、弊社ではいかなる責任も負いかねます。設備や機器、制御システムなどにおいて、冗長設計、火災延焼対策設計、誤動作防止設計など、安全設計に万全を期されるようご注意願います。
- 3) 本製品は日本国内仕様です。本製品を日本国外で使用された場合、弊社は一切の責任を負いかねます。
また、弊社は本製品に関し、日本国外への技術サポート、及びアフターサービス等を行っておりませんので、予めご了承ください。(This product is for use only in Japan. We bear no responsibility for any damages or losses arising from use of, or inability to use, this product outside Japan and provide no technical support or after-service for this product outside Japan.)
- 4) 本製品は「外国為替及び外国貿易法」の規定により輸出規制製品に該当する場合があります。
国外に持ち出す際には、日本国政府の輸出許可申請などの手続きが必要になる場合があります。
- 5) お客様が録画・録音したものは、個人として楽しむなどのほかは、著作権法上、権利者に無断で使用できません。
- 6) 著作権を侵害するデータを受信して行うデジタル方式の録画・録音を、その事実を知りながら行うことは著作権法違反となります。
- 7) 本製品を運用した結果の他への影響については、上記にかかわらず責任は負いかねますのでご了承ください。

※本製品には、GNU General Public License Version3 (GPL v 3) に基づいた、ソフトウェアが含まれています。

変更済み GPL 対象モジュール、GNU General Public License、及びその配布に関する条項については、弊社のホームページにてご確認ください。
これらのソースコードで配布されるソフトウェアについては、弊社ならびにソフトウェアの著作者は一切のサポートの責を負いませんのでご了承ください。

※本製品には、OpenSSL Project が、OpenSSL Toolkit (<http://www.openssl.org>) での使用のために開発したソフトウェアが含まれています。

本製品には Eric Young (eay@cryptsoft.com) により作成された暗号化ソフトウェアが含まれています。

本製品には Tim Hudson (tjh@cryptsoft.com) により作成されたソフトウェアが含まれています。

This product includes software developed by the OpenSSL Project for use in the OpenSSL Toolkit. (<http://www.openssl.org/>)

This product includes cryptographic software written by Eric Young (eay@cryptsoft.com).

This product includes software written by Tim Hudson (tjh@cryptsoft.com).

- Windows® は、Microsoft® Windows® operating system の略称として表記しています。
- Windows Vista® は、Microsoft® Windows Vista® operating system の略称として表記しています。
- Microsoft®、Windows®、Windows Vista® は、米国 Microsoft Corporation の米国及びその他の国における登録商標です。
- 一般に会社名、製品名は各社の商標または登録商標です。